

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更									
フリガナ設置者	ガツコウホウジン チハケイアイガクエン 学校法人 千葉敬愛学園									
フリガナ大学の名称	ケイアイダイガク 敬愛大学 (Keiai University)									
大学本部の位置	千葉県千葉市稲毛区穴川1丁目5番21号									
大学の目的	敬愛大学は建学の精神「敬天愛人」に基づき、教育基本法及び学校教育法に則り広く知識を授け、深く専門の学芸を教授・研究し、知的道徳的及び応用的能力を展開する大学教育を施すことで文化の進展に寄与する有為の社会人を養成することを目的とする。									
新設学部等の目的	令和7年4月より、デジタル分野をけん引する人材の育成・輩出の機能強化に向けて、情報マネジメント学部（入学定員50名）を届出により設置するため。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
	情報マネジメント学部	年	人	年次人	人	学士 (情報マネジメント学)	経済学関係	令和7年4月 第1年次	千葉県千葉市 稲毛区穴川 1丁目5番21号	※令和6年 4月設置届出 予定
	情報マネジメント学科	4	50 (0)	—	200 (0)	学士 (情報マネジメント学)	経済学関係		同上	
	経済学部									
	経済学科	4	130	2年次 1 3年次 1	525	学士 (経済学)	経済学関係	昭和41年4月 第1年次 平成18年4月 第2年次 平成18年4月 第3年次	同上	令和6年度 入学定員増(15人)
	経営学科	4	130	2年次 1 3年次 1	525	学士 (経営学)	経済学関係	平成25年 第1年次 平成26年 第2年次 平成27年 第3年次	同上	令和6年度 入学定員増(20人)
	国際学部									
	国際学科	4	98	2年次 1 3年次 1	397	学士 (国際学)	文学関係、社会 学・社会福祉学関 係、 教育学・保育学関 係	平成9年 第1年次 平成10年 第2年次 平成11年 第3年次	同上	
教育学部										
こども教育学科		72	2年次 1 3年次 1	293	学士 (教育学)	教育学・保育学関 係	令和3年4月 第1年次 令和4年4月 第2年次 令和5年4月 第3年次	同上		
計		480 (430)	2年次 4 3年次 4	1940 (1740)						
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	情報マネジメント学部情報マネジメント学科〔定員増〕（50）（令和6年4月 届出予定）									

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
		— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位			
新	学部等の名称	基幹教員				助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)		
	教授	准教授	講師	助教	計				
新	情報マネジメント学部 情報マネジメント学科	8人 (7)	4人 (4)	0人 (0)	0人 (0)	12人 (11)	0人 (0)	47人 (36)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8人 (7)	4人 (4)	0人 (0)	0人 (0)	12人 (11)	/	/	
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	8人 (7)	4人 (4)	0人 (0)	0人 (0)	12人 (11)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	8 (7)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (11)				
経済学部 経済学科	12 (12)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	16 (16)	0 (0)			93 (93)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	12 (12)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	15 (15)	/			/
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)				
小計（a～b）	12 (12)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	16 (16)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	12 (12)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	16 (16)				
経済学部 経営学科	10 (10)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	16 (16)		0 (0)	91 (91)	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	9 (9)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	15 (15)		/	/	
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)				
小計（a～b）	10 (10)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	16 (16)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	10 (10)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	16 (16)				
国際学部 国際学科	12 (12)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	16 (16)	0 (0)			74 (74)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	5 (5)	/			/
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	8 (8)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	11 (11)				
小計（a～b）	12 (12)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	16 (16)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	12 (12)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	16 (16)				

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 8人

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 8人

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人

分	教育学部 子ども教育学科		7	6	0	0	13	0	43	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 6人
	a.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6	6	0	0	12			
	b.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1	0	0	0	1			
	小計（a～b）		7	6	0	0	13			
	c.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0	0	0	0	0			
	d.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0	0	0	0	0			
	計（a～d）		7	6	0	0	13			
計		49	17	7	0	73	0	348		
		(48)	(17)	(7)	(0)	(72)	(0)	(337)		
既	なし		—	—	—	—	—	—	—	
	a.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	—	—	—	—	—			
	b.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	—	—	—	—	—			
	小計（a～b）		—	—	—	—	—			
	c.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	—	—	—	—	—			
	d.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	—	—	—	—	—			
	計（a～d）		—	—	—	—	—			
計		—	—	—	—	—	—	—		
		(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
合 計		49	17	7	0	73	—	348		
		(48)	(17)	(7)	(0)	(72)	(—)	(337)		
職 種		専 属		そ の 他		計				
事 務 職 員		65人 (64)		10人 (10)		75人 (74)				
技 術 職 員		0 (0)		0 (0)		0 (0)				
図 書 館 職 員		5 (5)		0 (0)		5 (5)				
そ の 他 の 職 員		0 (0)		0 (0)		0 (0)				
指 導 補 助 者		0 (0)		0 (0)		0 (0)				
計		70 (69)		10 (10)		80 (79)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計			・校舎敷地 千葉敬愛短期大学 (必要面積3,000㎡) 敬愛学園高等学校 (必要面積8,400㎡) と共用	
	校 舎 敷 地	0㎡	85,432.51㎡	0㎡		85,432.51㎡				
	そ の 他	2,990.44㎡	0㎡	0㎡		2,990.44㎡				
	合 計	2,990.44㎡	85,432.51㎡	0㎡		88,422.95㎡				
校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計			・校舎面積 千葉敬愛短期大学 (必要面積3,000㎡) と共用		
	7,772.85㎡ (7,772.85㎡)	12,159.68㎡ (12,159.68 ㎡)	2,043.49㎡ (2,043.49㎡)		21,976.02㎡ (21,976.02㎡)					
教 室 ・ 教 員 研 究 室		教 室	68室	教 員 研 究 室		75室		大学全体		
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機械・器具 点	標本 点			
		冊	電子図書 〔うち外国書〕	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
	大学全体	77,000 [3,800] (75,176 [3,545])	2,000 [250] (1,837 [221])	27,300 [27,120] (28,029 [27,341])	27,176 [27,115] (27,176 [27,115])	32 (32)	0 (0)			
	計	77,000 [3,800] (75,176 [3,545])	2,000 [250] (1,837 [221])	27,300 [27,120] (28,029 [27,341])	27,176 [27,115] (27,176 [27,115])	32 (32)	0 (0)			

スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂				厚生補導施設		大学全体
		48.31㎡		0㎡				3,931.11㎡		
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体	
	教員1人当り研究費等		350千円	350千円	350千円	350千円	—千円	—千円	図書購入費には電子ジャーナル・データベース整備費用(運用コスト含む)含む	
	共同研究費等		13,480千円	13,570千円	13,570千円	13,570千円	—千円	—千円		
	図書購入費	13,000千円	13,000千円	13,000千円	13,000千円	13,000千円	—千円	—千円		
	設備購入費	38,144千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	—千円	—千円		
	学生1人当り納付金	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		情報マネジメント学部	1,330千円	1,080千円	1,080千円	1,080千円	—千円	—千円		
		経済学部	1,310千円	1,060千円	1,060千円	1,060千円	—千円	—千円		
		国際学部	1,310千円	1,060千円	1,060千円	1,060千円	—千円	—千円		
		教育学部	1,330千円	1,080千円	1,080千円	1,080千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、付随事業収入、手数料収入他								
大学等の名称		敬愛大学								
学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
経済学部		年	人	年次人	人		倍		千葉県稲毛区穴川1丁目5番21号	令和6年度入学定員増(15人)
経済学科		4	130	2年次1 3年次1	480	学士(経済学)	1.11 1.09	昭和41年度		
経営学科		4	130	2年次1 3年次1	465	学士(経営学)	1.13	平成25年度		令和6年度入学定員増(20人)
国際学部									同上	
国際学科		4	98	2年次1 3年次1	397	学士(国際学)	1.06	平成9年度		
こども教育学科		4	「—」	2年次「—」 3年次「—」	「—」	学士(こども教育学)	「—」	平成23年度	同上	令和3年度より学生募集停止1年次 令和4年度より学生募集停止2年次 令和5年度より学生募集停止3年次
教育学部									同上	
こども教育学科		4	72	2年次1 3年次1	293	学士(教育学)	0.92	令和3年度		
大学等の名称		敬愛短期大学								
学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
現代こども学科		2	150	—	300	短期大学士(教育学)	0.90	昭和25年度	千葉県稲毛区穴川1丁目5番21号	
附属施設の概要		該当なし								

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一」については、専門職大学にあつては「専門職大学設置基準別表第一」、短期大学にあつては「短期大学設置基準別表第一」、専門職短期大学にあつては「専門職短期大学設置基準別表第一」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積り及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

教 育 課 程 等 の 概 要

(情報マネジメント学部 情報マネジメント学科)

科 区 目 分	授 業 科 目 の 名 称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単 位 数			授 業 形 態			基 幹 教 員 等 の 配 置					基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 を 除 く)	備 考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 礎 科 目	文章表現	1前		2			○								1	オムニバス
	口頭表現	1後		2			○								1	
	基礎数学	1前・1後		2			○								1	
	AI・DSへのいざない	1前・1後		2			○			1					4	
	健康科学	1前・1後		2			○								1	
	情報基礎Ⅰ	1前		1								○			1	
	情報基礎Ⅱ	1後		1								○			1	
	基礎演習Ⅰ	1前		1				○		8	4					
	基礎演習Ⅱ	1後		1				○		8	4					
小計(9科目)				14	0	0	—			8	4	0	0	0	8	
言 語 科 目	英語ⅠA	1前		1			○								1	留学生科目
	英語ⅠB	1前		1			○								1	
	英語ⅡA	1後		1			○								1	
	英語ⅡB	1後		1			○								1	
	日本語Ⅰ	1前		2			○								1	
	日本語Ⅱ	1後		2			○								1	
小計(6科目)				4	0	0	—			0	0	0	0	0	3	
教 養 科 目	フランス語Ⅰ	1前			1		○								1	オムニバス
	フランス語Ⅱ	1後			1		○								1	
	ドイツ語Ⅰ	1前			1		○								1	
	ドイツ語Ⅱ	1後			1		○								1	
	中国語Ⅰ	1前			1		○								1	
	中国語Ⅱ	1後			1		○								1	
	時事英語Ⅰ	2前			1		○								1	
	時事英語Ⅱ	2後			1		○								1	
	ビジネス英語Ⅰ	2前			1		○								1	
	ビジネス英語Ⅱ	2後			1		○								1	
	Basic GrammarⅠ	1前			1		○								1	
	Basic GrammarⅡ	1後			1		○								1	
	TOEIC®向上講座Ⅰ	2前			2		○				1				1	
	TOEIC®向上講座Ⅱ	2後			2		○								1	
	SpeakingⅠ	2前			1		○								2	
	SpeakingⅡ	2後			1		○								2	
	WritingⅠ	2前			1		○								3	
	WritingⅡ	2後			1		○								3	
	ListeningⅠ	2前			1		○								3	
	ListeningⅡ	2後			1		○								3	
	DebateⅠ	2前			1		○								1	
	DebateⅡ	2後			1		○								1	
	敬天愛人講座	1前・1後			2		○			1					11	
敬愛プログラム	1後			2			○							1		
スポーツ教育Ⅰ	1前			1				○						1		
スポーツ教育Ⅱ	1後			1				○						1		

科区	目分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外の教員	
		哲学	1後			2		○									1	
		心理学	1前			2		○									1	
		社会心理学	1後			2		○									1	
		歴史学	1後			2		○									1	
		文学	1前			2		○									1	
		法学	1前・1後			2		○									1	
		憲法	1前・1後			2		○									1	
		政治学	1前			2		○									1	
		社会学	1後			2		○									1	
		数学Ⅰ	1前			2		○									1	
		数学Ⅱ	1後			2		○									1	
		統計学Ⅰ	1前			2		○									1	
		統計学Ⅱ	1後			2		○									1	
		英語で学ぶPython	1後			2		○			1							
		環境科学	1前			2		○									1	
		ボランティア活動	1前			2		○									1	
		小計（42科目）	—			0	62	0	—		1	1	0	0	0		32	
	キャリア科目	キャリアデザインを学ぶ	1前			2		○									1	
		キャリアプランニング	1後			2		○									1	
		キャリアディベロップメント	2前			2		○									1	
		企業の魅力発見	2後			2		○									1	
		実践的キャリア演習Ⅰ	3前			2		○									1	
		実践的キャリア演習Ⅱ	3後			2		○									1	
		ブレインターンシップ	3前			2		○									1	
		インターンシップ	3後			1				○							1	
		ポストインターンシップ	3後			2		○									1	
		小計（9科目）	—			4	13	0	—		0	0	0	0	0		4	
専門科目	導入科目	経営学概論	1前	○		2		○			1							
		経済学概論	1後	○		2		○			1	1						
		情報概論	1前	○		2		○			1							
		経営情報論	1後	○		2		○			1							
		ビッグデータマネジメント	1後	○		2		○			1							
		小計（5科目）	—			10	0	0	—		3	1	0	0	0		0	
	基礎科目	経営戦略論	2前			2		○			1							
		マーケティング論	2前	○		2		○			1	1						
		地域経済論	2前			2		○			1							
		AI概論	2前			2		○			1							
		DS概論	2後	○		2		○			1						1	
		プログラミング (Python)	2前			2		○										
		生成系AI入門	2後			2		○			1							
		小計（7科目）	—			0	14	0	—		4	1	0	0	0		1	
	展開科目	流通経営論	2前			2		○			1							
		観光概論	2前	○		2		○			1							
		消費者行動論	2後			2		○				1						
		地域資源論	2後			2		○			1							
		ロジスティクス（物流管理）論	2後			2		○				1						
		サービスマーケティング論	2前			2		○				1						
		デジタルマーケティング論	2後			2		○				1						
		観光マーケティング	2後			2		○			1							
		地方創生論	2前	○		2		○			1							

科 目 区 分	授業科目の名称	配当 年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助手を除く)	備考		
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
	千葉県産業と行政	2前			2		○					1						
	千葉の観光研究	2後			2		○					1						
	観光政策論	2前			2		○					1						
	地域分析論	2前			2		○					1						
	交通経済学	2後			2		○					1						
	観光事業論Ⅰ	2前			2		○					1						
	観光事業論Ⅱ	2後			2		○					1						
	旅行産業論	2前			2		○					1						
	宿泊産業論	2後			2		○					1						
	航空産業論	2前			2		○					1						
	地域観光論	2前			2		○					1						
	国際観光論	2後			2		○					1						
	情報マネジメント特別講義A	3前			2		○					1						
	情報マネジメント特別講義B	3後			2		○					1						
	経済市場分析A	3前			2		○									1		
	経済市場分析B	3後			2		○									1		
	観光市場分析	3前			2		○					1						
	ビジネスデータ解析	3後			2		○					1						
	GIS(地理空間情報システム)分析	2前			2		○					1						
	不動産市場分析	2後			2		○					1						
	会計情報と経営分析	2後			2		○				1							
	ビジネスデータ分析手法A	2後			2		○				1							
	ビジネスデータ分析手法B	2後			2		○									1		
	ビジネスデータ分析手法C	2前			2		○									1		
	AI・データサイエンス経営実践	2前			2		○				1							
	観光地経営実践	3前			2		○				1							
	アルゴリズム論	2前			2		○				1							
	情報セキュリティ論	2後			2		○				1							
	AI特講	2前			2		○				1							
	プログラミング(R)	2前			2		○									1		
	自然言語処理	3後			2		○				1							
	情報ガバナンス	3後			2		○									1		
	情報英語Ⅰ	3前			2		○					1						
	情報英語Ⅱ	3後			2		○					1						
	小計(43科目)	—			0	86	0	—				8	4	0	0	0	3	
演習科目	専門導入演習Ⅰ	2前	○		1				○			8	4					
	専門導入演習Ⅱ	2後	○		1				○			8	4					
	専門演習Ⅰ	3前	○		1				○			8	4					
	専門演習Ⅱ	3後	○		1				○			8	4					
	卒業演習Ⅰ	4前	○		1				○			8	4					
	卒業演習Ⅱ	4後	○		1				○			8	4					
	卒業論文・卒業研究	4後	○		2				○			8	4					
	小計(7科目)	—	—		8	0	0	—				8	4	0	0	0	0	
	合計(128科目)	—	—		40	175	0	—				8	4	0	0	0	47	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学位又は称号		学士(情報マネジメント学)		学位又は学科の分野			経済学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
必修科目40単位、基礎科目の教養科目の選択科目から16単位、 キャリア科目の選択科目から2単位、専門科目の基礎科目の選択科目 から8単位、専門科目の展開科目の選択科目から48単位以上を修得し、 合計124単位以上修得すること。 履修科目の登録の上限：1年～4年 42単位(年間)							1学年の学期区分			2期					
							1学期の授業期間			15週					
							1時限の授業時間			90分					

学校法人千葉敬愛学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由			
敬愛大学				敬愛大学							
経済学部				経済学部							
		(2年次) (3年次)			(2年次) (3年次)						
経済学科	130	1	1	525	経済学科	130	1	1	525		
経営学科	130	1	1	525	経営学科	130	1	1	525		
計	260	2	2	1050	計	260	2	2	1050		
国際学部				国際学部							
		(2年次) (3年次)			(2年次) (3年次)						
国際学科	98	1	1	397	国際学科	98	1	1	397		
計	98	1	1	397	計	98	1	1	397		
教育学部				教育学部							
		(2年次) (3年次)			(2年次) (3年次)						
こども教育学科	72	1	1	293	こども教育学科	72	1	1	293		
計	72	1	1	293	計	72	1	1	293		
大学 合計				大学 合計							
		(2年次) (3年次)			(2年次) (3年次)						
大学 合計	430	4	4	1740	大学 合計	480	4	4	1940		
敬愛短期大学				敬愛短期大学							
現代子ども学科	150	—	—	300	現代子ども学科	150	—	—	300		
計	150	—	—	300	計	150	—	—	300		
				情報マネジメント学部				学部の設置 (届出)			
								(2年次) (3年次)			
				情報マネジメント学科				50	—	—	200
				計				50	—	—	200

(1) 県内における位置関係の図面



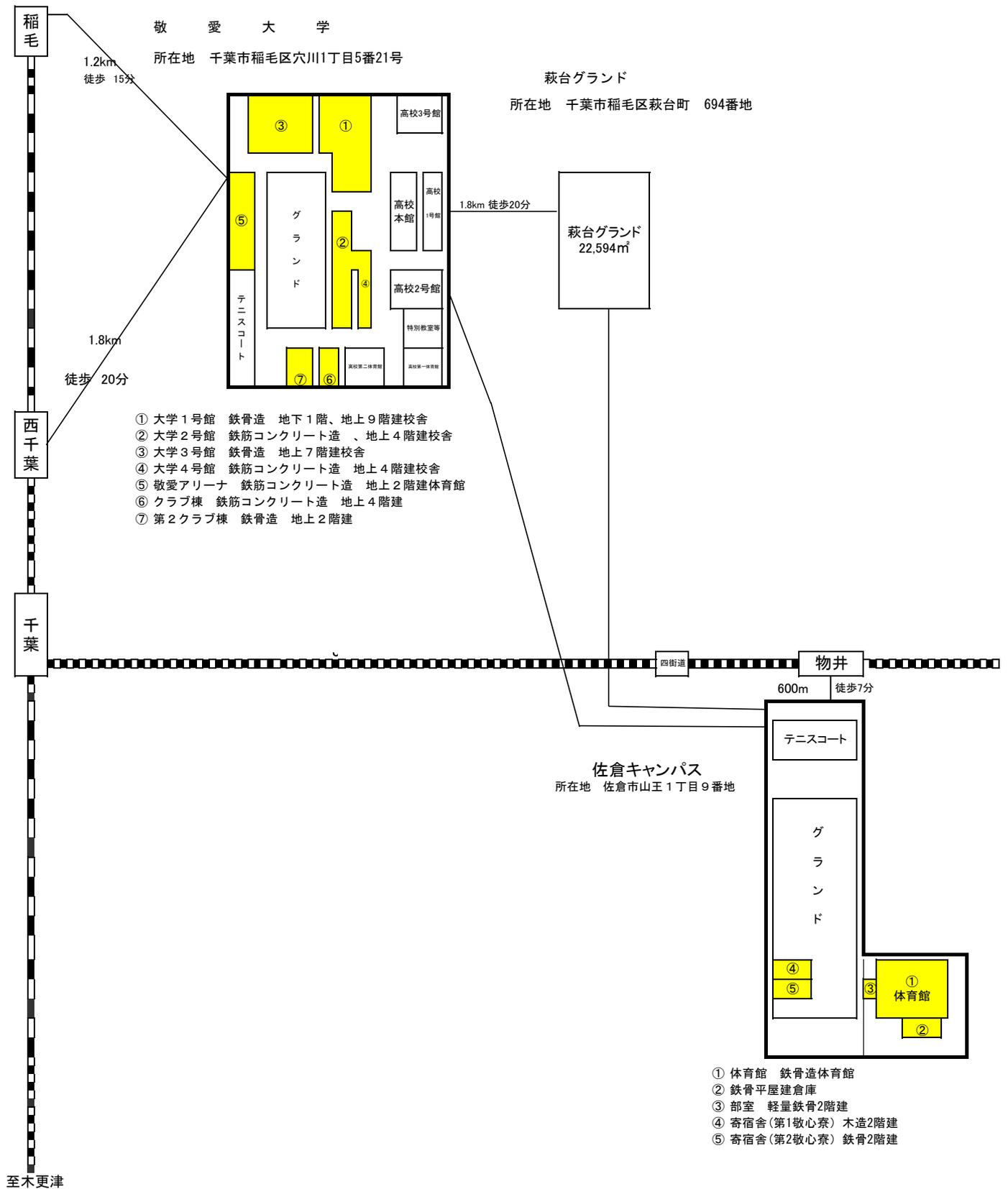
稲毛区内における位置関係の図面



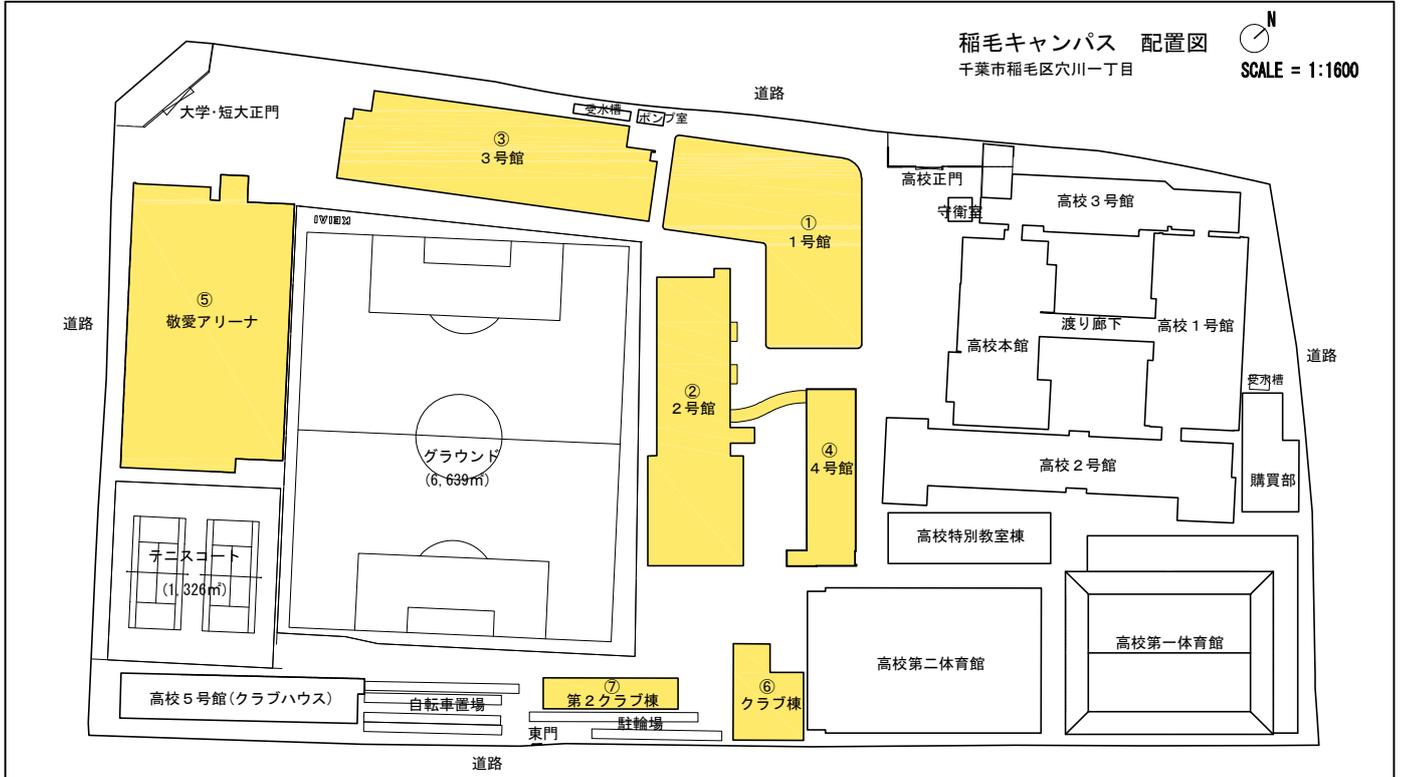
大学の位置



(2) 最寄り駅からの距離、交通機関及び所用時間がわかる図面



(3) 校舎、運動場等の配置図 (その1)



土地

稲毛キャンパス土地合計面積 33,952㎡

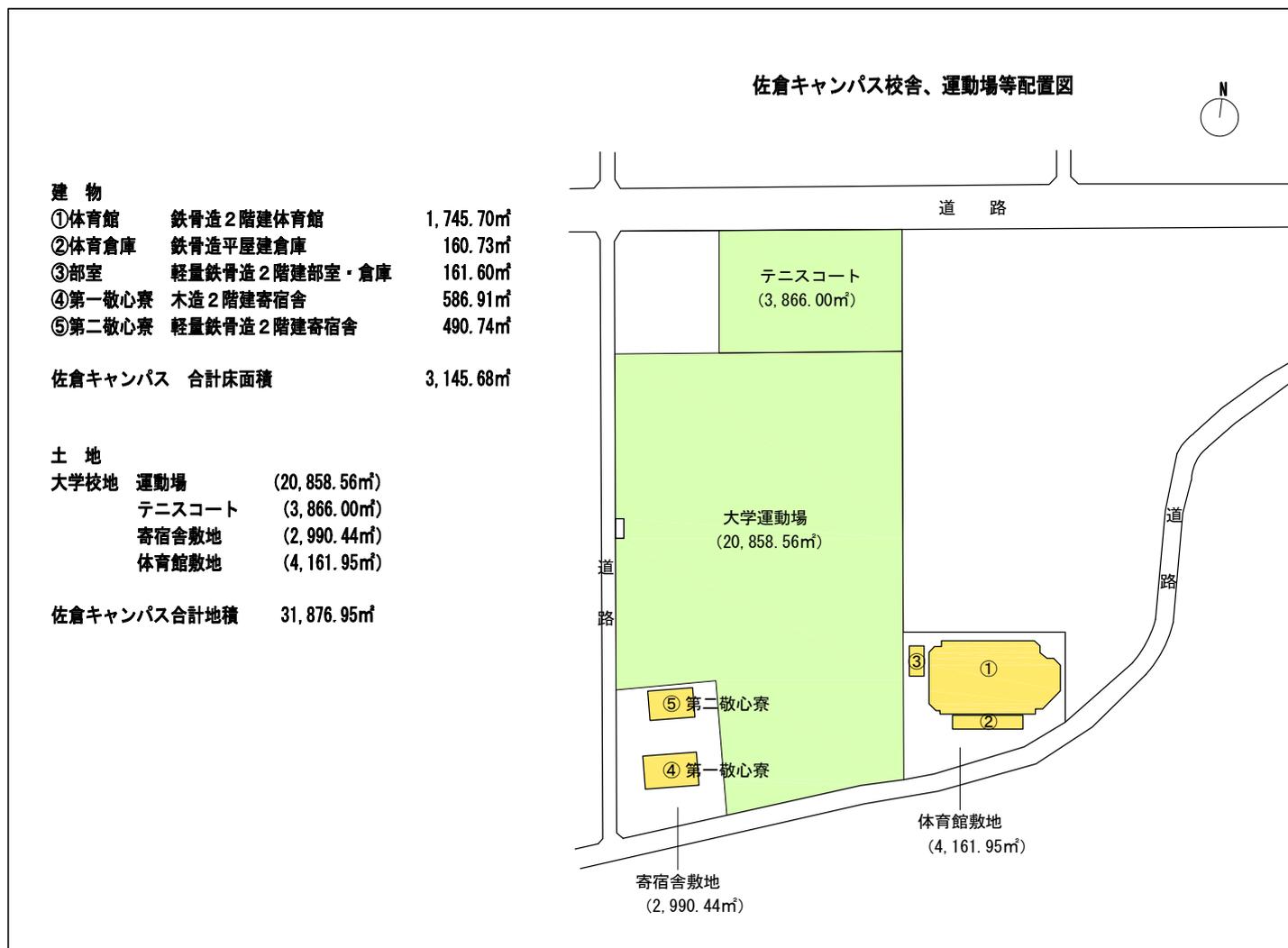
建物

①1号館	鉄骨造 地下1階、地上9階建校舎	9,932.82㎡ (法人 464.10㎡を除く)
②2号館	鉄筋コンクリート造 地上4階建校舎	3,498.57㎡ (トレーニング室 48.31㎡、法人 35.55㎡を除く)
③3号館	鉄骨造 地上7階建校舎	7,215.90㎡
④4号館	鉄筋コンクリート造 地上4階建校舎	1,328.73㎡
⑤敬愛アリーナ	鉄筋コンクリート造 地上2階建校舎	2,185.41㎡ (学園高校 799.72㎡を除く)
⑥クラブ棟	鉄筋コンクリート造校舎 地上4階建校舎	920.19㎡
⑦第2クラブ棟	鉄骨造 地上2階建部室	364.58㎡

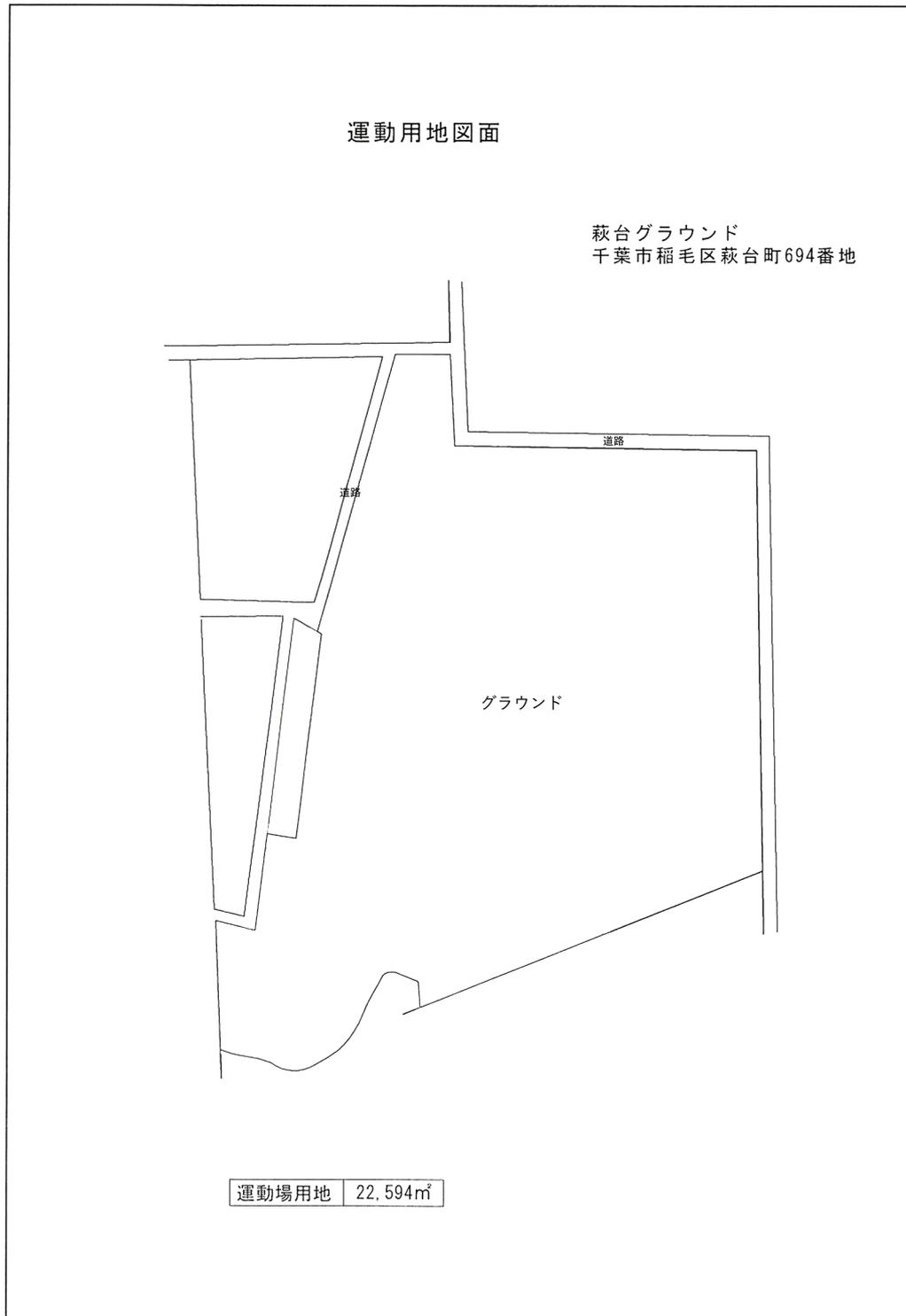
凡例

- 大学・短大建物
- 学園高校建物

(3) 校舎、運動場等の配置図 (その2)



(3) 校舎、運動場等の配置図 (その3)



敬愛大学学則

令和7年4月1日 改正(予定)

敬愛大学学則

第1章 総則

(目的)

第1条 敬愛大学(以下「本学」という。)は建学の精神「敬天愛人」に基づき、教育基本法及び学校教育法に則り広く知識を授け、深く専門の学芸を教授・研究し、知的・道徳的及び応用的能力を展開する大学教育を施し、もって文化の進展に寄与する有為の社会人を養成することを目的とする。

(自己点検・評価等)

第2条 本学は教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行いその結果を公表するものとする。

2 自己点検・評価の実施体制及び方法については別に定める。

第2章 学部学科・学生定員及び修業年限等

(学部学科)

第3条 本学に次の学部学科を置く。

- (1) 経済学部 経済学科 経営学科
- (2) 国際学部 国際学科
- (3) 教育学部 こども教育学科
- (4) 情報マネジメント学部 情報マネジメント学科

(育成する人材)

第3条の2 学部学科ごとの人材育成に関する目的は、次のとおりとする。

- (1) 経済学部経済学科は、経済学に関する幅広い知識を修得し、実社会で応用できる表現力、コミュニケーション能力、情報収集能力及び経済学的思考力をもって、広く社会に貢献できる人材を育成する。
- (2) 経済学部経営学科は、経営学に関する幅広い知識を修得し、実践的なマネジメント能力及びグローバルな視野を身につけ、広く社会に貢献できる人材を育成する。
- (3) 国際学部国際学科は、国際社会を多角的に理解し、変化する現代を生き抜く力を身につけ、高いコミュニケーション能力を培い、グローバル化する地域社会に貢献できる人材を育成する。
- (4) 教育学部こども教育学科は、幅広く深い教養と豊かな人間性及び子供の教育に関する知識と技能の修得を基盤として、それを活用することができる実践能力に加えて、教育事象を科学的・実証的に考察し、その成果を子供の健全な育成に活かすことのできる人材を育成する。
- (5) 情報マネジメント学部情報マネジメント学科は、経営情報学分野に関する教育研究

を通して、現代社会に関する幅広い知識の理解と自己表現や情報活用に関する能力及び社会の一員として望ましい心構えや生涯学習力の修得とともに、事業体の運営や管理に関する知識に加えて、情報処理の原理を科学的に理解し、情報システムの利用による経営内外の関連データを経営戦略の策定や実現のために活用することができる能力を有した人材を育成する。

(学生定員)

第4条 本学の学部学科の定員は次のとおりとする。

(1) 経済学部	経済学科	入学定員	130名
		編入学定員 (2年次)	1名
		編入学定員 (3年次)	1名
	経営学科	入学定員	130名
		編入学定員 (2年次)	1名
		編入学定員 (3年次)	1名
		収容定員	1050名
(2) 国際学部	国際学科	入学定員	98名
		編入学定員 (2年次)	1名
		編入学定員 (3年次)	1名
		収容定員	397名
(3) 教育学部	こども教育学科	入学定員	72名
		編入学定員 (2年次)	1名
		編入学定員 (3年次)	1名
		収容定員	293名
(4) 情報マネジメント学部	情報マネジメント学科	入学定員	50名
		収容定員	200名

(修業年限及び在学年限)

第5条 本学の修業年限は4年とする。

- 2 8年を超えて在学することはできない。又、編入学、再入学及び転入学の場合は、第13条に定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えることはできない。
- 3 大学の学生以外の者(科目等履修生として大学入学資格を有する者)が、本学において一定の単位を修得した後に、本学に入学する場合で、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認められるときは、その単位数に応じて、相当期間を本学の修業年限の2分の1を超えない範囲で修業年限に通算することができる。

(長期履修制度)

第5条の2 前条第1項の規定にかかわらず、職業を有している等の事情により、修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し学位の取得を希望する者(以下「長期履修学生」という。)が、本制度の申請を申し出たとき、学長は、審査のうえ長期履修学生として履修を認めることができる。

ただし、前条第2項に定める在学年限を超えることはできない。

2 長期履修制度に関する必要な事項は別に定める。

第3章 学年・学期及び休業日

(学年及び学期)

第6条 学年は4月1日に始まり翌年の3月31日に終わる。

2 学年を分けて次の2期とする。

前期 4月1日より9月25日まで

後期 9月26日より翌年3月31日まで

3 学長が教育上必要と認める場合は、前項の期日を変更することができる。

(休業日)

第7条 学年中の休業日は次のとおりとする。

(1) 土曜日及び日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

(3) 本学創立記念日 5月4日

(4) 敬愛の日 6月3日

(5) 春季休業 3月24日より3月31日まで

(6) 夏季休業 8月1日より9月25日まで

(7) 冬季休業 12月21日より翌年1月10日まで

2 学長が教育上必要と認める場合は、休業日を変更し、若しくは臨時に休業し、又は休業日に授業を行うことができる。

第4章 入学・退学・休学・復学及び除籍

(入学の時期)

第8条 入学の時期は学年又は後期の始めとする。

(入学資格)

第9条 第1学年に入学できる者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校を修了した者を含む。)

- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定試験に合格した者を含む。）
- (6) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (7) その他本学において、相当年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者

（入学の出願及び検定料）

第10条 入学志願者は所定の入学願書を提出しなければならない。

- 2 提出の時期、提出する書類、方法については別に定める。
- 3 入学検定料については第32条第1項の定めるところによる。

（入学者の選考）

第11条 前条の入学志願者に対しては選考試験を行う。

（入学の手續及び入学許可）

第12条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに本学所定の書類を提出するとともに、第32条第1項に定める入学金を納入しなければならない。

- 2 学長は前項の入学手續を完了した者に入学を許可する。

（編入学・再入学・転入学）

第13条 本学に編入学、再入学又は転入学を志願する者があるときは、選考のうえ、相当年次に学長が入学を許可することができる。

- 2 前項の規定により編入学できる者は、次の各号の一に該当する者とし、入学許可人数については学則第4条の規定に定めるところによる。
 - (1) 他の大学を卒業又は退学した者
 - (2) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
 - (3) 専修学校の専門課程で文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- 3 第1項の規定により再入学又は転入学できる者は、本学を中途退学した者又は、他の大学に在学中の者で転入学により当該大学を退学する者とする。

4 第1項の規定により入学を許可された者についての履修方法は、教授会の議を経て学長が決定する。

(転部及び転科)

第14条 本学学生で他の学部転部又は他の学科に転科を志願する者は、当該学部教授会の議を経て学長の許可を得なければならない。

2 転部及び転科の規程は別に定める。

(退学)

第15条 退学しようとする者は、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならない。

(休学)

第16条 病気及びその他の事由により引き続き3ヶ月以上修学することができないときはその事由を具し、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならない。

2 休学の期間は、その学年の終わり、又は学期の終わりまでとし、特別の事情のある場合は、引き続き1年に限り休学を許可することができる。

3 休学の期間は、通算して4年を超えることができない。

4 休学の期間は、在学年数に算入しない。

(転学)

第17条 他の大学へ転学を希望する者は、学長の許可を得なければならない。

(海外留学)

第18条 外国の大学又は短期大学に留学を希望する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、1年に限り第30条第1項に定める期間に算入する。

(復学)

第19条 休学期間中にその事由が消滅したときは、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならない。

2 復学の時期は、学年の始め又は学期の始めとする。

(除籍)

第20条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

- (1) 第5条第2項に定める在学年限を超えた者
- (2) 第16条第3項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
- (3) 授業料その他の学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (4) 死亡又は長期間にわたり行方不明の者

第5章 教育課程・授業科目・単位・授業の方法・期間及び履修登録等 (教育課程)

第21条 本学の授業科目は学科目制とし、教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開講し、体系的な教育課程を編成する。

- 2 経済学部経済学科の教育課程は、学部共通科目(基礎科目、言語科目、教養科目、情報科目、キャリア科目)、経済学科専門科目(基本科目A、基本科目B、公共経済コース科目、金融経済コース科目、現代経済コース科目、展開科目、演習科目)、自由選択科目、教職及び教科に関する科目を置く。
- 3 経済学部経営学科の教育課程は、学部共通科目(基礎科目、言語科目、教養科目、情報科目、キャリア科目)、経営学科専門科目(基本科目A、基本科目B、企業経営コース科目、商業・会計コース科目、スポーツビジネスコース科目、地域・起業コース科目、展開科目、演習科目)、自由選択科目、教職及び教科に関する科目を置く。
- 4 国際学部国際学科の教育課程は、基礎科目(教養科目、演習)、外国語科目(英語、英語以外の外国語、日本語)、情報基礎科目、専門科目(共通、英米語専攻、地域デザイン専攻、国際ビジネス専攻、観光マネジメント専攻、専門研究)、キャリア・インターンシップ科目、自由選択科目、教職及び教科に関する科目を置く。
- 5 教育学部こども教育学科の教育課程は、教養教育科目(教養科目、外国語科目、キャリア科目)、専門教育科目(専門基礎科目、専門基幹科目、専門展開科目、専門研究)を置く。
- 6 情報マネジメント学部情報マネジメント学科の教育課程は、基礎科目(基本科目、言語語科、教養科目、キャリア科目)、専門科目(導入科目、基礎科目、展開科目、演習科目)を置く。

(授業科目・単位数及び卒業に必要な単位数)

第21条の2 本学の授業科目、卒業に必要な単位数は、別表1～5のとおりとする。
(授業の方法)

第21条の3 授業科目は、講義、演習、実験、実習、実技のいずれかにより又はこれらのうち二以上の併用により行うものとする。

- 2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項に規定する授業を多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 前項の規定により履修することのできる単位数は、第27条第1項、第28条第1項及び第29条第1項に定める認定単位と併せて60単位を超えないものとする。

(単位の計算方法)

第22条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の各号の基準により計算するものとする。

- (1) 講義については15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については30時間の授業をもって1単位とする。

- (3) 実験、実習、実技等についての学修は、30時間から45時間までの範囲で大学が定める授業をもって1単位とする。
 - (4) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の併用により行う場合については、前3号の組合せに応じ、別に定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず卒業論文、卒業研究及び校外学修等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して適切な単位を授与することができる。

(授業期間)

第23条 1年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。

- 2 各授業科目の授業は10週又は15週にわたる期間を単位として行う。ただし教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

(履修登録及び履修制限)

第24条 授業科目の履修方法については、前期開講科目は前期の指定された期日までに履修登録をして許可を得なければならない。また、後期開講科目も同様に後期の指定された期日までに履修登録をして許可を得なければならない。

- 2 履修登録の取扱いについては別に定める。
- 3 各学部の年次別の履修登録上限単位数は、次のとおりとする。

(1) 経済学部

- 1年次 42単位
- 2年次 42単位
- 3年次 42単位
- 4年次 46単位

ただし、第21条第2項及び同条第3項に規定する教職及び教科に関する科目の履修単位は上記の単位数に含めない。

(2) 国際学部

- 1年次 42単位
- 2年次 42単位
- 3年次 42単位
- 4年次 46単位

ただし、第21条第4項に規定する教職及び教科に関する科目の履修単位は上記の単位数に含めない。

(3) 教育学部

- 1年次 42単位
- 2年次 42単位
- 3年次 42単位
- 4年次 42単位

(4) 情報マネジメント学部

1年次 42単位

2年次 42単位

3年次 42単位

4年次 42単位

- 4 他学部等の授業科目を履修する場合は、学長の許可を得て履修し、単位を修得したときは、相当する科目群の科目として、学長が単位を認定することができる。

第6章 単位の認定等

(試験の評定)

第25条 試験の評定は100点を満点とし、60点以上を合格とする。

- 2 試験は、筆記試験、論文レポート、試問、その他の方法により行う。

(単位の授与)

第26条 授業科目を履修した者に対しては、試験に合格した場合に単位を与える。

(単位の互換)

第27条 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学及び学部間の協議に基づき、当該大学又は短期大学及び学部間の授業科目の履修を認めることができる。

- 2 前項の規定により学生が修得した単位は、60単位を超えない範囲で第30条第1項に定める単位として認定することができる。

- 3 前2項の規定は、第18条に定める留学の場合に準用する。

(既修得単位の認定)

第28条 大学・短期大学又は専修学校の専門課程を卒業し又は中途退学した後、本学第1年次に入学した者の既修得単位については、教育上有益と認めるときは、第30条第1項に定める単位として認定することができる。

- 2 前項により認定することができる単位は、前条第1項により認定する単位と併せて60単位を超えないものとする。

(大学以外の教育施設等における学修)

第29条 教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を本学における授業科目の履修とみなし第30条第1項に定める単位として認定することができる。

- 2 前項により認定できる単位は、第27条第1項及び第28条第1項により認定する単位と併せて60単位を超えないものとする。

第7章 卒業等

(卒業の要件及び学士の学位)

- 第30条** 本学を卒業するためには、第21条の2に定める各学部学科の教育課程から
- 1 2 4単位以上を修得した者について、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。
 - 2 前項による卒業認定は学年末、又は前期末にこれを行うことができる。
 - 3 卒業を認定された者には学士の学位を授与する。
 - 4 学位の授与に関する規定は別に定める。

(免許状の種類)

第31条 本学において次の教育職員免許状を取得することができる。

- (1) 経済学部 経済学科
 - 中学校教諭一種免許状(社会)
 - 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
 - 高等学校教諭一種免許状(公民)
 - (2) 経済学部 経営学科
 - 高等学校教諭一種免許状(商業)
 - (3) 国際学部 国際学科
 - 中学校教諭一種免許状(英語)
 - 高等学校教諭一種免許状(英語)
 - (4) 教育学部 こども教育学科
 - 小学校教諭一種免許状
- 2 教育職員の免許状取得の要件については別に定める。

第8章 入学検定料・入学金及び授業料等

(学費等)

- 第32条** 本学の入学検定料、学費及び教職課程履修費の金額は別表6～8のとおりとする。
- 2 入学検定料、学費及び教職課程履修費等に関する必要な事項は、別に定める。

第9章 教職員組織

(教職員)

第33条 本学に学長、学部長、教授、准教授及び事務職員を置く。

- 2 副学長を置くことができる。
- 3 前項のほか、講師、助教、助手、技術職員その他必要な職員を置くことができる。

(学長・副学長・学部長の職務)

- 第34条** 学長は、校務をつかさどり、所属教職員を統督する。
- 2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

- 3 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。

第10章 大学運営会議・教授会及び各種委員会

(大学運営会議)

第35条 本学の重要事項を審議するために大学運営会議を置く。

- 2 大学運営会議に関する必要な事項は別に定める。

(教授会)

第36条 本学各学部の教育研究に関する重要事項を審議するためにそれぞれに教授会を置く。

- 2 教授会は、学長が次に掲げる事項について、決定を行うに当たり意見を述べることができる。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

- 3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

- 4 教授会の組織には、准教授、講師及びその他の教職員を加えることができる。

- 5 教授会に関する必要な事項は別に定める。

(合同教授会)

第37条 学長が必要と認めたとき又は各学部長から特に要請があったときは、学長は合同教授会を招集することができる。

- 2 合同教授会は、学長が特に必要と認めた大学の重要事項を審議する。

(各種委員会)

第38条 学長が必要と認めたとき、各種委員会等を組織し、それぞれの専門分野について審議研究し、その運営を図ることができる。

- 2 各種委員会に関する事項は別に定める。

第11章 科目等履修生及び外国人留学生等

(科目等履修生)

第39条 本学において特定の授業科目を履修しようとする者については、教育研究に支障のない範囲内において教授会の議を経て科目等履修生として、学長が入学を許可することができる。

- 2 科目等履修生が履修した授業科目を試験に合格したときは、第25条及び第26条の規定を準用して当該科目の単位を付与することができる。

- 3 科目等履修生に関する事項は別に定める。

(特別聴講生)

第40条 他の大学、短期大学との協議に基づき、当該大学又は短期大学の学生を特別聴講生として、学長が入学を許可することができる。

2 特別聴講生に関する事項は別に定める。

(聴講生)

第41条 本学において特定の授業科目を聴講することを志願する者があるときは、各学部の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、学長が聴講を許可することができる。

2 聴講生に関する事項は別に定める。

(外国人留学生)

第42条 外国籍を有し第9条第3号に該当する者が、本学に入学を希望した場合は、選考のうえ、学長が入学を許可することができる。

2 外国人留学生については、第45条(育英・奨学)に関する規定を除き、正規の学生についての規定を準用する。

3 外国人留学生に関する事項は別に定める。

(委託生)

第43条 公共機関その他から委託生としての入学の申し出のある時は本学の教育、研究に支障のない限り、選考のうえ、学長が入学を許可することができる。

2 委託生に関する事項は別に定める。

(公開講座)

第44条 学術文化の普及のため、本学において公開講座及び課外講座を開講することができる。

2 公開講座及び課外講座に関する事項は別に定める。

第12章 育英及び奨学に関する事項

(育英・奨学)

第45条 本学に育英及び奨学に関する制度を置く。

2 育英及び奨学に関する事項は別に定める。

第13章 賞罰

(褒賞)

第46条 品行方正、学術優秀又は善行のあった学生に対しては、賞状又は商品を授与し褒賞することができる。

2 褒賞に関する事項は別に定める。

(懲戒)

第47条 本学の規定に違反し、又は学生の本分に反する行為があった学生に対しては懲戒する。懲戒は、戒告、停学及び退学とする。

- 2 退学処分は次の各号の一に該当する者に対して行う。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められた者
 - (2) 成績不良で学業継続の見込みがないと認められた者
 - (3) 正当な理由なくして出席不良の者
 - (4) 大学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者
- 3 懲戒に関する事項は別に定める。

第14章 附属施設・寄宿舍・厚生施設

(附属施設)

第48条 本学にメディアセンター及び総合地域研究所を置く。

- 2 各附属施設に関する事項は別に定める。

(寄宿舍)

第49条 本学に寄宿舍を置く。

- 2 寄宿舍に関する事項は別に定める。

(厚生施設)

第50条 本学に厚生施設を置く。

- 2 厚生施設に関する事項は別に定める。

第15章 改正

(改正)

第51条 本学則の改正は、各学部教授会及び大学運営会議の意見を聴いた後、理事会の承認を得て、学長がこれを行う。

附 則

この学則は、昭和41年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和55年4月1日から施行する。
- 2 昭和54年度以前に入学した学生については、なお従前の例による。ただし、第24条、第26条については、この限りにあらず。

附 則

- 1 この学則は、昭和56年4月1日から施行する。
- 2 昭和55年度以前に入学した学生については、なお従前の例による。ただし、入学検定料は、昭和56年度入学志願者から、授業料は昭和55年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、昭和57年4月1日から施行する。
- 2 昭和54年度以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和58年4月1日から施行する。
- 2 昭和54年度以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和60年4月1日から施行する。ただし、第28条の改正は昭和55年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、昭和61年4月1日から施行する。
- 2 昭和60年度以前に入学した学生については、なお従前の例による。ただし、第28条の改正については、昭和55年度以降の入学者に適用する。

附 則

- 1 この学則は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、入学検定料については昭和62年度入学者から適用する。
- 2 第27条の規定にかかわらず、当分の間総定員は次のとおりとする。

昭和62年度	総定員	500名
昭和63年度	総定員	600名
昭和64年度	総定員	700名

附 則

この学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、第28条の改正は昭和56年度以降の入学者から適用する。

附 則

この学則は、平成元年4月1日から施行する。ただし、第28条の改正は昭和58年度以降の入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成2年4月1日から施行する。ただし、第28条の改正は昭和60年度以降の入学者から適用する。
- 2 第21条第3項および第26条第1項の改正は、平成2年度以降の入学者から適用し、平成元年度以前に入学した者は、なお従前の例による。
- 3 平成元年度以前に入学して教育職員免許状を取得しようとする者については、なお従前の例による。
- 4 第28条の規定にかかわらず平成2年度から平成10年度までの間入学定員は次のとおりとする。

経済学部経済学科 260名

附 則

- 1 この学則は、平成3年4月1日から施行する。
- 2 第21条第3項及び第26条第1項の改正は、平成3年度入学者から適用し、平成2年度以前に入学した者はなお従前の例による。
- 3 第27条第1項第2号及び第3号の改正は、平成2年度入学者から適用し、平成元年度以前に入学した者はなお従前の例による。
- 4 第28条第1項の改正は、昭和60年度以降の入学者から適用する。ただし入学検定料については、平成3年度入学志願者から適用する。
- 5 第29条の規定にかかわらず平成3年度から平成11年度までの間、入学定員は次のとおりとする。

年 度	平成3年度～平成10年度	平成11年度
経済学部経済学科	320名	260名

附 則

- 1 この学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 第26条第3項の改正は、平成3年度卒業生から適用する。
- 3 第28条第1項の改正は、昭和62年度以降の入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 第28条第1項の改正は、昭和63年度以降の入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 第29条第1項の改正は、昭和63年度以降の入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。
- 2 第29条第1項の改正は、平成元年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 第29条第1項の改正は、平成2年度入学者から適用する。ただし、検定料については、平成8年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 第30条第1項の改正は、平成2年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 第30条第1項の改正は、平成3年度入学者から適用する。
- 3 第31条第の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間、入学定員は次のとおりとする。

年 度	平成3年度～平成10年度	平成11年度
経済学部経済学科	320名	260名

附 則

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 第30条第1項の改正は、平成4年度入学者から適用する。ただし、平成10年度以前の入学者の施設費については、180,000円とする。
- 3 第31条第の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間、入学定員は次のとおりとする。

年 度	平成3年度～平成10年度	平成11年度
経済学部経済学科	320名	260名

附 則

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 第30条第1項の改正は、平成5年度入学者から適用する。ただし、平成10年度以前の入学者の施設費については、190,000円とする。
- 3 第31条第の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの間、入学定員は次のとおりとする。

年 度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
経済学部経済学科	308名	296名	284名	272名	260名

附 則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 第30条第1項に定める別表の改正は、平成17年度入学者から適用する(220,000円)。ただし、平成16年度以前の入学者の施設費については、210,000円とする。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 国際学部国際協力量科は、改正後の学則第3条第1項第2号の規定にかかわらず、平成19年3月31日に当該学科に在学する学生が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 2 第33条第1項第6号に規定する施行前における助教授としての在職は、施行後の准教授としての在職とみなす。

附 則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、第7条第5号の改正は平成17年度入学生から適用する。
- 3 附則第1項の規定にかかわらず、第30条第1項に定める別表の改正は、平成18年度入学者から適用する(240,000円)。ただし、平成17年度以前の入学者の施設費については、220,000円とする。

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 国際学部国際学科の地域こども教育専攻をこども学科に改める。なお、国際学科の国際学専攻及び地域こども教育専攻は、改正後の学則第3条第1項第2号の規定にかかわらず、当該専攻に在籍する学生がいなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

- 1 この学則は、平成23年7月1日から施行する。
- 2 第11条、第14条、第17条並びに第18条第2項の改正は、平成20年度入学者より適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 第31条の改正は、平成24年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成24年12月11日から施行する。
- 2 第12条の改正は、平成23年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 経済学部経済学科の現代マネジメント専攻を経営学科に改める。なお、経済学科の経済専攻及び現代マネジメント専攻は、改正後の学則第3条第1項第1号の規定にかかわらず、在籍する学生がいなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 第29条第1項の規定は、平成25年度入学者から適用し、平成24年度以前の入学者は(「高等学校教諭一種免許状(情報)」)なお従前のおりとする。
- 4 第30条第1項に定める別表の施設費の分割納入については、平成25年度入学者から適用し、平成24年度までの入学者についてはなお従前のおりとする。
- 5 第31条の規定にかかわらず平成25年度から平成28年度までの間、収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
経済学部	経済学科	920名	773名	624名	475名
	経営学科	110名	223名	339名	455名
国際学部	国際学科	580名	474名	419名	386名
	こども学科	190名	262名	284名	284名
	合 計	1,800名	1,732名	1,666名	1,600名

附 則

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 第29条第2項の規定は、平成26年度入学者から適用し、平成25年度以前の入学者はなお従前のおりとする。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成27年10月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第32条第1項に定める別表の入学金、授業料等の改正は、平成28年度入学者(編入学者、転入学者を含む)から適用し、平成27年度以前の入学者はなお従前のおりとする。

附 則

この学則は、平成28年12月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 第5条の2の規定は、平成29年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 第32条第1項に定める別表の入学検定料の改正は、平成31年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず平成31年度から平成34年度までの間、収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
経済学部	経済学科	471名	467名	465名	465名
	経営学科	451名	447名	445名	445名
国際学部	国際学科	386名	386名	389名	397名
	こども教育学科	286名	288名	291名	293名
	合 計	1,594名	1,588名	1,590名	1,600名

- 3 第31条第1項第1号の規定は、平成31年度入学者から適用し、平成30年度以前の入学者の経済学部経済学科における高等学校教諭一種免許状(商業)の取得については、なお従前のおりとする。
- 4 第32条第1項に定める別表の入学検定料の改正は、平成32年度入学志願者から適用する。
- 5 第42条第2項の規定は、平成31年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 第32条第1項に定める別表の入学試験項目の改正は、令和3年度入学志願者から適用する。
- 3 第32条第1項に定める別表の学費(入学金、授業料、施設費)の改正は、令和3年度入学者(編入学者、転入学者を含む)から適用し、令和2年度以前の入学者はなお従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 この学則による改正前の学則に定める国際学部こども教育学科は、改正後の学則第3条第1項の規定にかかわらず、令和3年3月31日に国際学部こども教育学科に在籍する学生がいなくなるまでの間、存続するものとする。

- 3 第4条の規定にかかわらず令和3年度から令和6年度までの間、収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経済学部	経済学科	465名	465名	465名	465名
	経営学科	445名	445名	445名	445名
国際学部	国際学科	389名	397名	397名	397名
	こども教育学科	219名	148名	74名	—
教育学部	こども教育学科	72名	145名	219名	293名
	合 計	1,590名	1,600名	1,600名	1,600名

- 4 第21条の2に定める教育課程表(別表1~4)は、令和3年度入学者(編入学者、転入学者を除く)から適用し、令和2年度以前の入学者の教育課程表については、なお従前のとおりとする。
- 5 第31条第1項第3号の規定は、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前の入学者の国際学部国際学科における中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(地理歴史)及び高等学校教諭一種免許状(公民)の取得については、なお従前のとおりとする。
- 6 第31条第1項第4号の規定は、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前の入学者の国際学部こども教育学科における小学校教諭一種免許状の取得については、なお従前のとおりとする。
- 7 第32条第1項に定める別表5の入学検定料の改正は、令和3年度入学志願者から適用する。
- 8 第32条第1項に定める別表6の学費(入学金、授業料、施設費)及び別表7の教職課程履修費の改正は、令和3年度入学者(編入学者、転入学者を含む)から適用し、令和2年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。

附 則

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 第21条第2項、第3項、第4項及び第5項に定める各学部、学科の教育課程の改正は、令和4年度入学者(編入学者、転入学者を除く)から適用し、令和3年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。
- 3 第21条の2に定める教育課程表(別表1~4)は、令和4年度入学者(編入学者、転入学者を除く)から適用し、令和3年度以前の入学者の教育課程表については、なお従前のとおりとする。
- 4 第32条第1項に定める別表5の入学検定料の改正は、令和4年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 第21条第2項、第3項、第4項に定める各学部、学科の教育課程の改正及び第21条の2に定める教育課程表(別表1～3)は、令和5年度入学者(編入学者、転入学者を除く)から適用し、令和4年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず令和6年度から令和9年度までの間、収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
経済学部	経済学科	480名	495名	510名	525名
	経営学科	465名	485名	505名	525名
国際学部	国際学科	397名	397名	397名	397名
教育学部	こども教育学科	293名	293名	293名	293名
	合 計	1,635名	1,670名	1,705名	1,740名

- 3 第21条第4項及び第21条の2に定める教育課程表(別表4)の国際学部国際学科の教育課程表は、令和6年度入学者(編入学者、転入学者を除く)から適用し、令和5年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。
- 4 第32条第1項に定める学費(別表6)の施設費の改正は、令和6年度入学者から適用し、令和5年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、令和7年4月1日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず令和7年度から令和10年度までの間、収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
経済学部	経済学科	495名	510名	525名	525名
	経営学科	485名	505名	525名	525名
国際学部	国際学科	397名	397名	397名	397名
教育学部	こども教育学科	293名	293名	293名	293名
情報マネジメント学部	情報マネジメント学科	50名	100名	150名	200名
	合 計	1,720名	1,805名	1,890名	1,940名

- 3 第21条第6項に定める情報マネジメント学部情報マネジメント学科の教育課並びに第21条の2に定める教育課程表(別表5)は、令和7年度に情報マネジメント学部情報マネジメント学科に入学する者から適用する。
- 4 第32条第1項に定める入学検定料(別表6)の改正は、令和7年度入学志願者から適用する。
- 5 第32条第1項に定める学費(別表7)及び教職課程履修費(別表8)の改正は、令和7年度入学者から適用し、令和6年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。

別表 1 (第21条の2関係) 経済学部 経済学科 教育課程表

区分	授業科目名	単 位	開講年次	履修方法	単位数	備 考				
学部共通科目	基礎科目 必修科目	文章表現	2	1	必修科目	22	全科目必修			
		口頭表現	2	1						
		基礎数学	2	1						
		入門経済学	2	1						
		入門経営学	2	1						
		キャリアデザインを学ぶ	2	1						
		キャリアプランニング	2	1						
		AI・DSへのいざない	2	1						
		健康科学	2	1						
		情報基礎 I	1	1						
		情報基礎 II	1	1						
		基礎演習 I	1	1						
		基礎演習 II	1	1						
		言語科目	必修科目	英語 I A				1	1	日本人必修科目
英語 I B	1			1						
英語 II A	1			1						
英語 II B	1			1						
日本語 I	2			1	留学生必修科目					
日本語 II	2			1						
教養科目	選択科目	フランス語 I	1	1	16単位以上選択	16				
		フランス語 II	1	1						
		ドイツ語 I	1	1						
		ドイツ語 II	1	1						
		中国語 I	1	1						
		中国語 II	1	1						
		応用中国語 I	1	2						
		応用中国語 II	1	2						
		時事英語 I	1	2						
		時事英語 II	1	2						
		ビジネス英語 I	1	2						
		ビジネス英語 II	1	2						
		Basic Grammar I	1	1						
		Basic Grammar II	1	1						
		コリア語 I	1	1						
		コリア語 II	1	1						
		TOEIC® 向上講座 I	2	2						
		TOEIC® 向上講座 II	2	2						
		Speaking I	1	2						
		Speaking II	1	2						
		Writing I	1	2						
		Writing II	1	2						
		Listening I	1	2						
		Listening II	1	2						
		Debate I	1	2						
		Debate II	1	2						
		English Conversation(オンライン英会話) I	1	1				2	3	4
		English Conversation(オンライン英会話) II	1	1				2	3	4
		敬天愛人講座	2	1				2	3	4
		敬愛プログラム	2	1				2	3	4
		スポーツ教育 I	1	1				2	3	4
		スポーツ教育 II	1	1				2	3	4
		哲学	2	1				2	3	4
		心理学	2	1				2	3	4
		社会心理学	2	1				2	3	4
		歴史学	2	1				2	3	4
		中国文化 I	2	1				2	3	4
		中国文化 II	2	1				2	3	4
		文学	2	1				2	3	4
		日本語学	2	1				2	3	4
		言語学	2	1				2	3	4
		法学	2	1				2	3	4

別表 1 (第21条の2関係) 経済学部 経済学科 教育課程表

区分	授業科目名	単 位	開講年次	履修方法	単位数	備 考	
	憲法	2	1 2 3 4				
	政治学	2	1 2 3 4				
	社会学	2	1 2 3 4				
	数学 I	2	1 2 3 4				
	数学 II	2	1 2 3 4				
	統計学 I	2	1 2 3 4				
	統計学 II	2	1 2 3 4				
	環境科学	2	1 2 3 4				
	ボランティア活動	2	1 2 3 4				
	情報科目	選択科目					
情報概論		2	1 2 3 4				
データサイエンス総論		2	1 2 3 4				
英語で学ぶPython		2	1 2 3 4				
アルゴリズム論		2	2 3 4				
プレゼンテーション論		2	2 3 4				
情報セキュリティ論		2	2 3 4				
AI概論		2	2 3 4				
プログラミング		2	2 3 4				
AIデータサイエンス実践		2	3 4				
キャリア科目	選択科目			2単位以上選択	2		
	実践会話 I	2	2				
	実践会話 II	2	2				
	キャリアディベロップメント	2	2				
	企業の魅力発見	2	2				
	実践的キャリア演習 I	2	3				
	実践的キャリア演習 II	2	3				
	プレインターンシップ	2	3				
	インターンシップ	1	3				
ポストインターンシップ	2	3					
経済学科専門科目	基本科目 A	選択必修科目			経済理論A・B 4単位必修	10	
		経済理論A	2	1 2			
		経済理論B	2	1 2			
		日本経済史 I	2	1 2			日本経済史又は西洋経済史の何れか2科目4単位を選択
		日本経済史 II	2	1 2			
		西洋経済史 I	2	1 2			
		西洋経済史 II	2	1 2			
フィールドワーク入門	2	2	フィールドワーク入門2単位必修				
基本科目 B	選択科目			20単位以上選択	20		
		ミクロ経済学 I	2				2 3 4
		ミクロ経済学 II	2				2 3 4
		マクロ経済学 I	2				2 3 4
		マクロ経済学 II	2				2 3 4
		経済政策 I	2				2 3 4
		経済政策 II	2				2 3 4
		経済学特論 I	2				2 3 4
		経済学特論 II	2				2 3 4
		社会政策 I	2				2 3 4
		社会政策 II	2				2 3 4
		財政学 I	2				2 3 4
		財政学 II	2				2 3 4
		金融論 I	2				2 3 4
		金融論 II	2				2 3 4
		国際経済論 I	2				2 3 4
		国際経済論 II	2				2 3 4
		簿記・会計概論 I	2				2 3 4
		簿記・会計概論 II	2				2 3 4
		会計学 I	2				2 3 4
		会計学 II	2				2 3 4
		民法 I	2				2 3 4
		民法 II	2				2 3 4
		統計学総論 I	2				2 3 4
		統計学総論 II	2				2 3 4
		知的財産権論	2				2 3 4
		情報マネジメント	2				2 3 4

別表 1 (第21条の2関係) 経済学部 経済学科 教育課程表

区分	授業科目名	単 位	開講年次	履修方法	単位数	備 考	
公共経済コース科目	選択科目	公共経済学	2	2 3 4	10単位以上選択	10	公共経済コース選択者
	コース科目	公共選択論	2	2 3 4			
	選択科目	地方財政論 I	2	2 3 4			
	選択科目	地方財政論 II	2	2 3 4			
	選択科目	地方自治論 I	2	2 3 4			
	選択科目	地方自治論 II	2	2 3 4			
	選択科目	社会保障論 I	2	2 3 4			
	選択科目	社会保障論 II	2	2 3 4			
	選択科目	社会福祉論	2	2 3 4			
	選択科目	福祉経済論	2	2 3 4			
	選択科目	行政法 I	2	2 3 4			
	選択科目	行政法 II	2	2 3 4			
	選択科目	企業法	2	2 3 4			
	選択科目	会社法	2	2 3 4			
	選択科目	経済統計 I	2	2 3 4			
	選択科目	経済統計 II	2	2 3 4			
	進路支援科目	進路支援講座A(数的リテラシー)	2	1			
	進路支援科目	進路支援講座B(数的リテラシー)	2	1			
	進路支援科目	進路支援講座C(公務員)	2	2			
	進路支援科目	進路支援講座D(公務員)	2	2			
進路支援科目	進路支援講座E(公務員)	2	2				
進路支援科目	進路支援講座F(公務員)	2	2				
進路支援科目	進路支援講座G(日経新聞を読む)	2	2				
進路支援科目	進路支援講座H(日経新聞を読む)	2	2				
進路支援科目	進路支援講座I(教職)	2	2				
進路支援科目	進路支援講座J(教職)	2	2				
経済学科専門科目	選択科目	証券経済論 I	2	2 3 4	10単位以上選択	10	金融経済コース選択者
	コース科目	証券経済論 II	2	2 3 4			
	選択科目	銀行論 I	2	2 3 4			
	選択科目	銀行論 II	2	2 3 4			
	選択科目	国際金融論 I	2	2 3 4			
	選択科目	国際金融論 II	2	2 3 4			
	選択科目	企業金融論 I	2	2 3 4			
	選択科目	企業金融論 II	2	2 3 4			
	選択科目	保険論	2	2 3 4			
	選択科目	金融事情 I	2	2 3 4			
	選択科目	金融事情 II	2	2 3 4			
	選択科目	有価証券法	2	2 3 4			
	選択科目	企業法	2	2 3 4			
	選択科目	会社法	2	2 3 4			
	選択科目	経済統計 I	2	2 3 4			
	選択科目	経済統計 II	2	2 3 4			
	進路支援科目	進路支援講座A(数的リテラシー)	2	1			
	進路支援科目	進路支援講座B(数的リテラシー)	2	1			
	進路支援科目	進路支援講座C(公務員)	2	2			
	進路支援科目	進路支援講座D(公務員)	2	2			
進路支援科目	進路支援講座E(公務員)	2	2				
進路支援科目	進路支援講座F(公務員)	2	2				
進路支援科目	進路支援講座G(日経新聞を読む)	2	2				
進路支援科目	進路支援講座H(日経新聞を読む)	2	2				
進路支援科目	進路支援講座I(教職)	2	2				
進路支援科目	進路支援講座J(教職)	2	2				

別表 1 (第21条の2関係) 経済学部 経済学科 教育課程表

区分	授業科目名	単 位	開講年次	履修方法	単位数	備 考	
現代 経済 コース 科目	選 択 科 目	日本経済論Ⅰ	2	2 3 4	10単位以上選択	10	現代経済コース選択者
		日本経済論Ⅱ	2	2 3 4			
		日本経済地理	2	2 3 4			
		世界経済地理	2	2 3 4			
		アメリカ経済論Ⅰ	2	2 3 4			
		アメリカ経済論Ⅱ	2	2 3 4			
		ヨーロッパ経済論Ⅰ	2	2 3 4			
		ヨーロッパ経済論Ⅱ	2	2 3 4			
		中東経済論	2	2 3 4			
		アジア経済論	2	2 3 4			
	国際貿易論	2	2 3 4				
	労働経済論Ⅰ	2	2 3 4				
	労働経済論Ⅱ	2	2 3 4				
	労働法	2	2 3 4				
	経済統計Ⅰ	2	2 3 4				
	経済統計Ⅱ	2	2 3 4				
	進 路 支 援 科 目	進路支援講座A(数的リテラシー)	2	1			
		進路支援講座B(数的リテラシー)	2	1			
		進路支援講座C(公務員)	2	2			
		進路支援講座D(公務員)	2	2			
進路支援講座E(公務員)		2	2				
進路支援講座F(公務員)		2	2				
進路支援講座G(日経新聞を読む)		2	2				
進路支援講座H(日経新聞を読む)		2	2				
進路支援講座I(教職)		2	2				
進路支援講座J(教職)		2	2				
展 開 科 目	選 択 科 目	経済学史Ⅰ	2	2 3 4	16単位以上選択	16	経済学科の基本科目A・B、 各コース科目の必要単位数を 超えた場合の単位数を含む
		経済学史Ⅱ	2	2 3 4			
		社会思想史Ⅰ	2	2 3 4			
		社会思想史Ⅱ	2	2 3 4			
		金融経済の基礎知識	2	2 3 4			
		計量経済学Ⅰ	2	2 3 4			
		計量経済学Ⅱ	2	2 3 4			
		環境経済学Ⅰ	2	2 3 4			
		環境経済学Ⅱ	2	2 3 4			
		地域経済論	2	2 3 4			
		食料経済論	2	2 3 4			
		農業政策	2	2 3 4			
		経済数学Ⅰ	2	2 3 4			
		経済数学Ⅱ	2	2 3 4			
		経営学Ⅰ	2	2 3 4			
		経営学Ⅱ	2	2 3 4			
		国際地域論Ⅰ	2	2 3 4			
		国際地域論Ⅱ	2	2 3 4			
		地域産業論	2	2 3 4			
		経営立地論	2	2 3 4			
		交通論	2	2 3 4			
		ビジネスデータ解析	2	2 3 4			
		情報ビジネス論	2	3 4			
演 習 科 目	必 修 科 目	専門導入演習Ⅰ	1	2	必修科目	8	全科目必修
		専門導入演習Ⅱ	1	2			
		専門演習Ⅰ	1	3			
		専門演習Ⅱ	1	3			
		卒業演習Ⅰ	1	4			
		卒業演習Ⅱ	1	4			
		卒業論文	2	4			

別表 1 (第21条の2関係) 経済学部 経済学科 教育課程表

区分		授業科目名	単 位	開講年次	履修方法	単位数	備 考		
自由 選択 科目	選 択 科 目				14単位以上選択	14	教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各コース科目、展開科目の中から自由に履修できる。経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科科目や国際学部国際学科の科目を履修した場合も当欄で単位を認定する。教職課程履修者は教職及び教科に関する科目からの履修も可。		
教職 及び 教科に 関する 科目	選 択 科 目	日本史概論Ⅰ	2	1 2 3 4			教職課程履修者のみ履修可		
		日本史概論Ⅱ	2	1 2 3 4					
		世界史概論Ⅰ	2	1 2 3 4					
		世界史概論Ⅱ	2	1 2 3 4					
		地理学概論Ⅰ	2	1 2 3 4					
		地理学概論Ⅱ	2	1 2 3 4					
		地誌学Ⅰ	2	1 2 3 4					
		地誌学Ⅱ	2	1 2 3 4					
		哲学概論Ⅰ	2	1 2 3 4					
		哲学概論Ⅱ	2	1 2 3 4					
		比較政治学	2	1 2 3 4					
		社会学概論	2	1 2 3 4					
		自然地理学Ⅰ	2	1 2 3 4					
		自然地理学Ⅱ	2	1 2 3 4					
		教育原論	2	1 2					
		教育課程論	2	1 2					
		発達心理学	2	1 2					
		教育心理学	2	1 2					
		特別支援教育概論	2	2 3					
		教職概論	2	1 2					
		教育行政	2	2 3					
		教育法規	2	2 3					
		教育方法・技術論	2	2 3					
		教育とICT活用	2	2 3					
		社会科・地歴科指導法Ⅰ	2	2 3					
		社会科・地歴科指導法Ⅱ	2	2 3					
		地理歴史科指導法	2	2 3					
		社会科・公民科指導法Ⅰ	2	2 3					
		社会科・公民科指導法Ⅱ	2	2 3					
		公民科指導法	2	2 3					
		道徳教育指導法	2	2 3					
		総合的な学習の時間の指導法	2	2 3					
		特別活動指導法	2	2 3					
		生徒・進路指導論	2	2 3					
		教育相談	2	2 3					
		教職実践演習	2	4					
		教育実習指導	1	3 4					
		中学校教育実習	4	4					
		高等学校教育実習	2	4					
					卒業要件単位数			124	

別表 2 (第21条の2関係) 経済学部 経営学科 教育課程表

区分		授業科目名	単 位	開講年次	履修方法	単位数	備 考				
学部 共通 科目	基礎 科目	必修 科目	文章表現	2	1	必修科目	22	全科目必修			
			口頭表現	2	1						
			基礎数学	2	1						
			入門経済学	2	1						
			入門経営学	2	1						
			キャリアデザインを学ぶ	2	1						
			キャリアプランニング	2	1						
			AI・DSへのいざない	2	1						
			健康科学	2	1						
			情報基礎 I	1	1						
			情報基礎 II	1	1						
			基礎演習 I	1	1						
			基礎演習 II	1	1						
			言語 科目						英 語 I A	1	1
英 語 I B	1	1									
英 語 II A	1	1									
英 語 II B	1	1									
日本語 I	2	1									
日本語 II	2	1									
教養 科目	選択 科目		フランス語 I	1	1		16				
			フランス語 II	1	1						
			ドイツ語 I	1	1						
			ドイツ語 II	1	1						
			中国語 I	1	1						
			中国語 II	1	1						
			応用中国語 I	1	2						
			応用中国語 II	1	2						
			時事英語 I	1	2						
			時事英語 II	1	2						
			ビジネス英語 I	1	2						
			ビジネス英語 II	1	2						
			Basic Grammar I	1	1						
			Basic Grammar II	1	1						
			コリア語 I	1	1						
			コリア語 II	1	1						
			TOEIC®向上講座 I	2	2						
			TOEIC®向上講座 II	2	2						
			Speaking I	1	2						
			Speaking II	1	2						
			Writing I	1	2						
			Writing II	1	2						
			Listening I	1	2						
			Listening II	1	2						
			Debate I	1	2						
			Debate II	1	2						
			English Conversation(オンライン英会話) I	1	1				2	3	4
			English Conversation(オンライン英会話) II	1	1				2	3	4
			敬天愛人講座	2	1				2	3	4
			敬愛プログラム	2	1				2	3	4
			スポーツ教育 I	1	1				2	3	4
			スポーツ教育 II	1	1				2	3	4
			哲学	2	1				2	3	4
			心理学	2	1				2	3	4
			社会心理学	2	1				2	3	4
			歴史学	2	1				2	3	4
			中国文化 I	2	1				2	3	4
			中国文化 II	2	1				2	3	4
			文学	2	1				2	3	4
			日本語学	2	1				2	3	4
			言語学	2	1				2	3	4
			法学	2	1				2	3	4

別表 2 (第21条の2関係) 経済学部 経営学科 教育課程表

区分	授業科目名	単 位	開講年次	履修方法	単位数	備 考	
	憲法	2	1 2 3 4				
	政治学	2	1 2 3 4				
	社会学	2	1 2 3 4				
	数学 I	2	1 2 3 4				
	数学 II	2	1 2 3 4				
	統計学 I	2	1 2 3 4				
	統計学 II	2	1 2 3 4				
	環境科学	2	1 2 3 4				
	ボランティア活動	2	1 2 3 4				
	情報科目	選択科目					
情報概論		2	1 2 3 4				
データサイエンス総論		2	1 2 3 4				
英語で学ぶPython		2	1 2 3 4				
アルゴリズム論		2	2 3 4				
プレゼンテーション論		2	2 3 4				
情報セキュリティ論		2	2 3 4				
AI概論		2	2 3 4				
プログラミング		2	2 3 4				
AIデータサイエンス実践	2	3 4					
キャリア科目	選択科目			2単位以上選択	2		
	実践会話 I	2	2				
	実践会話 II	2	2				
	キャリアディベロップメント	2	2				
	企業の魅力発見	2	2				
	実践的キャリア演習 I	2	3				
	実践的キャリア演習 II	2	3				
	プレインターンシップ	2	3				
	インターンシップ	1	3				
ポストインターンシップ	2	3					
経営学科専門科目	基本科目 A	必修科目		必修科目	10	全科目必修	
		経営学 I	2				1 2
		経営学 II	2				1 2
		簿記・会計概論 I	2				1 2
		簿記・会計概論 II	2				1 2
実地調査入門	2	2					
経営学科専門科目	基本科目 B	選択科目		20単位以上選択	20		
		経営戦略論 I	2				2 3 4
		経営戦略論 II	2				2 3 4
		経営組織論 I	2				2 3 4
		経営組織論 II	3				2 3 4
		経営財務論 I	2				2 3 4
		経営財務論 II	2				2 3 4
		マーケティング論	2				2 3 4
		経営分析 I	2				2 3 4
		経営分析 II	2				2 3 4
		人的資源管理 I	2				2 3 4
		人的資源管理 II	2				2 3 4
		産業論	2				2 3 4
		マーケティングリサーチ I	2				2 3 4
		マーケティングリサーチ II	2				2 3 4
		流通論	2				2 3 4
		原価計算論 I	2				2 3 4
		原価計算論 II	2				2 3 4
		経営史 I	2				2 3 4
		経営史 II	2				2 3 4
		国際ビジネス論	2				2 3 4
		生産管理	2				2 3 4
		民法 I	2				2 3 4
民法 II	2	2 3 4					
ビジネスデータ解析	2	2 3 4					
情報ビジネス論	2	3 4					

別表 2 (第21条の2関係) 経済学部 経営学科 教育課程表

区分	授業科目名	単 位	開講年次	履修方法	単位数	備 考
企業 経営 コース 科目	選択科目	コーポレートガバナンス論	2	2 3 4	10単位以上選択	10
		企業と社会論	2	2 3 4		
		中小企業論 I	2	2 3 4		
		中小企業論 II	2	2 3 4		
		国際産業組織論	2	2 3 4		
		多国籍企業論	2	2 3 4		
		国際貿易論	2	2 3 4		
		経営心理学	2	2 3 4		
		経営立地論	2	2 3 4		
		地域産業論	2	2 3 4		
		情報マネジメント	2	2 3 4		
		知的財産権論	2	2 3 4		
		経営シミュレーション	2	2 3 4		
		企業法	2	2 3 4		
		会社法	2	2 3 4		
		日本経済地理	2	2 3 4		
		世界経済地理	2	2 3 4		
	ホテル・ビジネス論	2	2 3 4			
商業・ 会計 コース 科目	選択科目	会計学 I	2	2 3 4	10単位以上選択	10
		会計学 II	2	2 3 4		
		簿記原理 I	2	2 3 4		
		簿記原理 II	2	2 3 4		
		管理会計論	2	2 3 4		
		税務会計論 I	2	2 3 4		
		税務会計論 II	2	2 3 4		
		地域企業会計論	2	2 3 4		
		金融商品取引法	2	2 3 4		
		会社法	2	2 3 4		
		流通情報論	2	2 3 4		
		流通経営論	2	2 3 4		
		消費者行動論	2	2 3 4		
		サービスマーケティング論	2	2 3 4		
		Marketing Management	2	2 3 4		
		観光マーケティング調査	2	2 3 4		
		経営立地論	2	2 3 4		
	地域産業論	2	2 3 4			
スポ ーツ ビジ ネス コ ース 科目	選択科目	スポーツビジネス論	2	2 3 4	10単位以上選択	10
		スポーツ産業論	2	2 3 4		
		スポーツマーケティング論	2	2 3 4		
		スポーツ文化論	2	2 3 4		
		生涯スポーツ実習 I	1	2 3 4		
		生涯スポーツ実習 II	1	2 3 4		
		スポーツ科学概論	2	2 3 4		
		中小企業論 I	2	2 3 4		
		中小企業論 II	2	2 3 4		
		地域企業経営論	2	2 3 4		
		サービスマーケティング論	2	2 3 4		
		Marketing Management	2	2 3 4		
		経営心理学	2	2 3 4		
		消費者行動論	2	2 3 4		
		企業法	2	2 3 4		
		会社法	2	2 3 4		
		観光事業論 I	2	2 3 4		
	観光事業論 II	2	2 3 4			

別表 2 (第21条の2関係) 経済学部 経営学科 教育課程表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考
地域・起業コース科目	選択科目	千葉学	2 1 2 3 4	10単位以上選択	10	
		入門ツーリズムⅠ	2 1 2 3 4			
		入門ツーリズムⅡ	2 1 2 3 4			
		ベンチャービジネス論	2 2 3 4			
		地域事業創造論	2 2 3 4			
		中小企業論Ⅰ	2 2 3 4			
		中小企業論Ⅱ	2 2 3 4			
		アントレプレナーシップ論	2 2 3 4			
		地域企業経営論	2 2 3 4			
		管理会計論	2 2 3 4			
		地域企業会計論	2 2 3 4			
		経営立地論	2 2 3 4			
		地域産業論	2 2 3 4			
		千葉県の産業と行政	2 2 3 4			
		旅行ビジネス論	2 2 3 4			
	展開科目	選択科目	経済理論A			
		経済理論B	2 2 3 4			
		ミクロ経済学Ⅰ	2 2 3 4			
		ミクロ経済学Ⅱ	2 2 3 4			
		マクロ経済学Ⅰ	2 2 3 4			
		マクロ経済学Ⅱ	2 2 3 4			
		経済政策Ⅰ	2 2 3 4			
		経済政策Ⅱ	2 2 3 4			
		金融論Ⅰ	2 2 3 4			
		金融論Ⅱ	2 2 3 4			
		有価証券法	2 2 3 4			
		統計学総論Ⅰ	2 2 3 4			
		統計学総論Ⅱ	2 2 3 4			
		企業金融論Ⅰ	2 2 3 4			
		企業金融論Ⅱ	2 2 3 4			
		労働法	2 2 3 4			
		国際法Ⅰ	2 2 3 4			
		国際法Ⅱ	2 2 3 4			
		経済統計Ⅰ	2 2 3 4			
		経済統計Ⅱ	2 2 3 4			
	日本経済論Ⅰ	2 2 3 4				
	日本経済論Ⅱ	2 2 3 4				
	銀行論Ⅰ	2 2 3 4				
	銀行論Ⅱ	2 2 3 4				
	経済学特論Ⅰ	2 2 3 4				
	経済学特論Ⅱ	2 2 3 4				
演習科目	必修科目	専門導入演習Ⅰ	1 2	必修科目	8	全科目必修
		専門導入演習Ⅱ	1 2			
		専門演習Ⅰ	1 3			
		専門演習Ⅱ	1 3			
		卒業演習Ⅰ	1 4			
		卒業演習Ⅱ	1 4			
		卒業論文・卒業研究	2 4			
自由選択科目	選択科目			14単位以上選択	14	教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目B、各コース科目、展開科目の中から自由に履修できる。経営学科のカリキュラムに掲載されていない経済学科や国際学部国際学科の科目を履修した場合も当欄で単位を認定する。教職課程履修者は教職に関する科目からの履修も可。

別表 2 (第21条の2関係) 経済学部 経営学科 教育課程表

区分	授業科目名	単 位	開講年次	履修方法	単位数	備 考
教職及び教科に関する科目	選択科目					教職課程履修者のみ履修可
	教育原論	2	1 2			
	教育課程論	2	1 2			
	発達心理学	2	1 2			
	教育心理学	2	1 2			
	特別支援教育概論	2	2 3			
	教職概論	2	1 2			
	教育行政	2	2 3			
	教育法規	2	2 3			
	教育方法・技術論	2	2 3			
	教育とICT活用	2	2 3			
	商業科指導法 I	2	2 3			
	商業科指導法 II	2	2 3			
	総合的な学習の時間の指導法	2	2 3			
	特別活動指導法	2	2 3			
	生徒・進路指導論	2	2 3			
	教育相談	2	2 3			
	教職実践演習	2	4			
	キャリア教育・職業指導 I	2	2 3 4			
	キャリア教育・職業指導 II	2	2 3 4			
教育実習指導	1	3 4				
高等学校教育実習	2	4				
			卒業要件単位数		124	

別表 3 (第21条の2関係) 国際学部 国際学科 教育課程表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考	
基礎科目	教養科目	口頭表現	2 1 2 3 4	必修科目	18	18単位以上選択 (内8単位必修)	
		文章表現	2 1 2 3 4	必修科目			
		基礎数学	2 1 2 3 4				
		敬天愛人講座	2 1 2 3 4				
		敬愛プログラム	2 1 2 3 4				
		健康科学	2 1 2 3 4				
		スポーツ教育 I	1 1 2 3 4				
		スポーツ教育 II	1 1 2 3 4				
		哲学	2 1 2 3 4				
		心理学	2 1 2 3 4				
		社会心理学	2 1 2 3 4				
		歴史学	2 1 2 3 4				
		文学	2 1 2 3 4				
		日本語学	2 1 2 3 4				
		言語学	2 1 2 3 4				
		法学	2 1 2 3 4				
		憲法	2 1 2 3 4				
		政治学	2 1 2 3 4				
		社会学	2 1 2 3 4				
		数学 I	2 1 2 3 4				
		数学 II	2 1 2 3 4				
		統計学 I	2 1 2 3 4				
		統計学 II	2 1 2 3 4				
		環境科学	2 1 2 3 4				
		ボランティア活動	2 1 2 3 4				
世界を知る	2 1 2 3 4						
AI・DSへのいざない	2 1 2 3 4	必修科目					
情報概論	2 1 2 3 4						
演習	1年基礎演習 I	1 1 2 3 4	必修科目				
	1年基礎演習 II	1 1 2 3 4	必修科目				
外国語科目	英語	College English I	2 1 2 3 4	必修科目	18(英語 コミュニケーション) 22(英語コミュニケーション・留学生) 10(英語 コミュニケーション 以外) 10(英語コミュニケーション 以外・留学生) 英語コミュニケーション コース必修科目	英語コミュニケーションコース 選択者18単位以上選択 (留学生は22単位以上選択) 他コースは10単位以上選択 (留学生は10単位以上選択)	
		College English II	2 1 2 3 4	必修科目			
		Speaking I	1 1 2 3 4	必修科目			
		Speaking II	1 1 2 3 4	必修科目			
		Reading I	1 1 2 3 4				
		Reading II	1 1 2 3 4				
		Writing I	1 1 2 3 4				
		Writing II	1 1 2 3 4				
		Listening I	1 1 2 3 4				
		Listening II	1 1 2 3 4				
		College English III	2 2 3 4				
		College English IV	2 2 3 4				
		Debate I	1 2 3 4				
		Debate II	1 2 3 4				
		英語以外の外国語	中国語 I	1 1 2 3 4			
	中国語 II		1 1 2 3 4				
	フランス語 I		1 1 2 3 4				
	フランス語 II		1 1 2 3 4				
	ドイツ語 I		1 1 2 3 4				
	ドイツ語 II		1 1 2 3 4				
	コリア語 I		1 1 2 3 4				
	コリア語 II		1 1 2 3 4				
	日本語		日本語 I	2 1 2 3 4			留学生必修科目
			日本語 II	2 1 2 3 4			
	情報基礎科目	情報処理 I (情報基礎)	1 1 2 3 4	必修科目			2
情報処理 II (プレゼンテーション演習)		1 1 2 3 4	必修科目				

別表 3 (第21条の2関係) 国際学部 国際学科 教育課程表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考						
専 門 科 目	共 通 科 目	国際関係入門	2	1 2 3 4		18(英語 コミュニケーション) 22(英語 コミュニケーション 以外)	英語コミュニケーションコース選択者 18単位以上選択、他コースは22単位 以上選択					
		国際社会とSDGs	2	1 2 3 4								
		千葉学	2	1 2 3 4								
		Japan Today	2	1 2 3 4								
		アジアの文化と社会	2	1 2 3 4								
		アメリカの文化と社会	2	1 2 3 4								
		ヨーロッパの文化と社会	2	1 2 3 4								
		イギリスの文化と社会	2	1 2 3 4								
		比較文化論	2	1 2 3 4								
		異文化理解	2	1 2 3 4								
		多文化共生社会	2	1 2 3 4								
		入門ツアーリズムⅠ	2	1 2 3 4								
		入門ツアーリズムⅡ	2	1 2 3 4								
		データサイエンス総論	2	1 2 3 4								
		英語で学ぶPython	2	1 2 3 4								
英米文学概論	2	1 2 3 4										
日本語教育入門	2	1 2 3 4										
英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン コ ー ス 科 目	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン コ ー ス 科 目	Advanced ReadingⅠ	2	2 3 4	英語コミュニケーション コース必修科目	40	英語コミュニケーションコース選択者 40単位以上選択 (但し14単位は他コースの専門科目で も可)					
		Advanced ReadingⅡ	2	2 3 4								
		Advanced ListeningⅠ	2	2 3 4								
		Advanced ListeningⅡ	2	2 3 4								
		English for Global IssuesⅠ	2	2 3 4								
		マルチメディア(Multimedia)	2	2 3 4								
		英文法	2	2 3 4								
		英語の音声	2	2 3 4								
		英語学概論	2	2 3 4								
		アメリカ文学特講	2	2 3 4								
		英米文化概論	2	2 3 4								
		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン コ ー ス 科 目	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン コ ー ス 科 目	English for Global IssuesⅡ				2	2 3 4	英語コミュニケーション コース必修科目	44	国際ビジネスコース選択者 44単位以上 (但し22単位は他コースの専門科目 でも可)
				English PresentationⅠ				2	3 4			
				English PresentationⅡ				2	3 4			
	Advanced ReadingⅢ			2	3 4							
	Advanced ReadingⅣ			2	3 4							
	Academic WritingⅠ			2	3 4							
	Academic WritingⅡ			2	3 4							
	英語史			2	2 3 4							
	英語音声学Ⅰ			2	2 3 4							
	英語音声学Ⅱ	2	2 3 4									
	国 際 ビ ジ ネ ス コ ー ス 科 目	国 際 ビ ジ ネ ス コ ー ス 科 目	イギリス文学史	2	2 3 4		44	国際ビジネスコース選択者 44単位以上 (但し22単位は他コースの専門科目 でも可)				
			アメリカ文学史	2	2 3 4							
英米文化特講			2	3 4								
経済学基礎			2	2 3 4								
経営学基礎			2	2 3 4								
金融論			2	2 3 4								
国際法Ⅰ			2	2 3 4								
国際法Ⅱ			2	2 3 4								
簿記会計基礎Ⅰ			2	2 3 4								
簿記会計基礎Ⅱ			2	2 3 4								
マーケティング			2	2 3 4								
空港ビジネス			2	2 3 4								
ホスピタリティ			2	2 3 4								
エアライン・ビジネス			2	2 3 4								
AI概論			2	2 3 4								
プログラミング			2	2 3 4								
アルゴリズム論			2	2 3 4								
マーケティングリサーチⅠ			2	2 3 4								
マーケティングリサーチⅡ			2	2 3 4								
国際経済学	2	3 4										
国際金融論	2	3 4										
国際貿易論	2	3 4										
国際経営	2	3 4										

別表 3 (第21条の2関係) 国際学部 国際学科 教育課程表

区分	授業科目名	単 位	開講年次	履修方法	単位数	備 考
専 門 科 目	国際経済とビジネスの法	2	3 4			
	国際会計	2	3 4			
	企業ファイナンス	2	3 4			
	航空物流論	2	3 4			
	情報ビジネス論	2	3 4			
観 光 マ ネ ジ メ ン ト コ ー ス 科 目	千葉県の産業と行政	2	2 3 4		44	観光マネジメントコース選択者 44単位以上 (但し22単位は他専攻の専門科目でも可)
	マーケティング	2	2 3 4			
	サービスマーケティング論	2	2 3 4			
	管理会計論	2	2 3 4			
	流通経営論	2	2 3 4			
	観光事業論Ⅰ	2	2 3 4			
	観光事業論Ⅱ	2	2 3 4			
	交通論	2	2 3 4			
	旅行ビジネス論	2	2 3 4			
	ホテル・ビジネス論	2	2 3 4			
	地域観光論	2	2 3 4			
	観光政策論	2	2 3 4			
	観光統計	2	2 3 4			
	観光マーケティング調査	2	2 3 4			
	航空産業論	2	2 3 4			
	情報ビジネス論	2	3 4			
	国際観光研究	2	3 4			
	千葉の観光研究	2	3 4			
観光マーケティング	2	3 4				
情 報 ・ デ ー タ サ イ エ ン ス コ ー ス 科 目	アルゴリズム論	2	2 3 4		44	情報・データサイエンスコース選択者 44単位以上 (但し22単位は他専攻の専門科目でも可)
	AI概論	2	2 3 4			
	プログラミング(R)	2	2 3 4			
	プログラミング(Python)	2	2 3 4			
	情報セキュリティ論	2	2 3 4			
	情報ガバナンス	2	2 3 4			
	データベース論	2	2 3 4			
	マーケティングリサーチⅠ	2	2 3 4			
	マーケティングリサーチⅡ	2	2 3 4			
	観光マーケティング調査	2	2 3 4			
	社会調査法Ⅰ	2	2 3 4			
	社会調査法Ⅱ	2	2 3 4			
	経済統計Ⅰ	2	2 3 4			
	経済統計Ⅱ	2	2 3 4			
	情報英語Ⅰ	2	2 3 4			
	情報英語Ⅱ	2	2 3 4			
	AI・データサイエンス実践Ⅰ	2	3 4			
	AI・データサイエンス実践Ⅱ	2	3 4			
	社会調査実習Ⅰ	2	3 4			
	社会調査実習Ⅱ	2	3 4			
	情報ビジネス論	2	3 4			
	AI特講(トピック)	2	3 4			
	自然言語処理	2	3 4			
画像処理	2	3 4				
専 門 研 究	2年次専門研究Ⅰ	2	2	必修科目	12	12単位以上
	2年次専門研究Ⅱ	2	2	必修科目		
	3年次専門研究Ⅰ	2	3	必修科目		
	3年次専門研究Ⅱ	2	3	必修科目		
	4年次専門研究Ⅰ	2	4	必修科目		
	4年次専門研究Ⅱ	2	4	必修科目		
	卒業論文	2	4			
キ ャ リ ア ・ イ ン タ ー ン シ ッ プ 科 目	キャリアデザインを学ぶ	2	1 2 3 4		4	4単位以上選択
	キャリアプランニング	2	1 2 3 4			
	キャリアディベロップメント	2	2 3 4			
	企業の魅力発見	2	2 3 4			
	実践的キャリア演習Ⅰ	2	3 4			
	実践的キャリア演習Ⅱ	2	3 4			
	プレインターンシップ	2	3 4			
	インターンシップ	1	3 4			
ポストインターンシップ	2	3 4				

別表 3 (第21条の2関係) 国際学部 国際学科 教育課程表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考
自由 選択 科目	海外語学研修 I	2	1 2 3 4		12 8(英語コミュニケーションコース・留)	12単位以上選択 (英語コミュニケーションコースを選択した留学生は8単位以上選択) ※自由選択科目区分以外の卒業要件単位を超えて修得した単位を含む(基礎科目、外国語科目、専門科目、キャリア・インターンシップ科目)
	海外語学研修 II	2	1 2 3 4			
	海外スクーリング I	2	1 2 3 4			
	海外スクーリング II	2	1 2 3 4			
	English Conversation(オンライン英会話) I	1	1 2 3 4			
	English Conversation(オンライン英会話) II	1	1 2 3 4			
	TOEIC®向上講座 I	2	1 2 3 4			
	TOEIC®向上講座 II	2	1 2 3 4			
	現代日本語文法 I	2	2 3 4			
	現代日本語文法 II	2	2 3 4			
	心理言語学	2	2 3 4			
	日本語教育方法論	2	2 3 4			
	日本文化論	2	2 3 4			
	日本語教育研究 I	2	2 3 4			
	日本語教育研究 II	2	3 4			
	教育実習指導(日本語)	2	3 4			
	他大学・他学部・他学科 単位互換科目					
教職 及び 教科に 関する 科目	教育原論	2	1 2 3 4			
	教育課程論	2	1 2 3 4			
	教育心理学	2	1 2 3 4			
	発達心理学	2	1 2 3 4			
	特別支援教育概論	2	2 3 4			
	教職概論	2	1 2 3 4			
	教育行政	2	2 3 4			
	教育法規	2	2 3 4			
	英語科指導法 I	2	2 3 4			
	英語科指導法 II	2	2 3 4			
	英語科指導法 III	2	2 3 4			
	英語科指導法 IV	2	2 3 4			
	道徳教育指導法	2	2 3 4			
	総合的な学習の時間の指導法	2	2 3 4			
	特別活動指導法	2	2 3 4			
	教育方法・技術論	2	2 3 4			
	教育とICT活用	2	2 3 4			
	生徒・進路指導論	2	2 3 4			
	教育相談	2	2 3 4			
	教育実習指導	1	3 4			
	中学校教育実習	4				
高等学校教育実習	2					
教職実践演習(中・高)	2					
		卒業要件単位数			124	

別表 4 (第21条の2関係) 教育学部 こども教育学科 教育課程表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考 1	備考 2
教養教育科目	教養科目	敬天愛人講座	2 1		12単位必修	必修科目以外の科目を8単位以上選択	教養教育科目、専門教育科目の必修科目及び備考1により履修した科目以外の科目から8単位以上選択
		口頭表現	2 1	必修科目			
		文章表現	2 1	必修科目			
		哲学	2 1 2				
		文学	2 1 2				
		国際関係入門	2 1 2	必修科目			
		法学	2 1 2				
		憲法	2 1				
		歴史学	2 1 2				
		心理学	2 1 2				
		基礎数学	2 1 2				
		基礎統計	2 1 2				
		健康運動科学	2 1				
		ボランティア活動	2 1 2				
		情報概論	2 1 2				
		情報処理 I (情報基礎)	1 1	必修科目			
		情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1 1	必修科目			
		AI・DSへのいざない	2 1				
		海外スクーリング I	2 1 2 3 4				
	海外スクーリング II	2 1 2 3 4					
	外国語科目	College English I	2 1	必修科目			
		College English II	2 1	必修科目			
		College English III	2 2				
		College English IV	2 2				
		Writing I	1 1 2 3 4				
		Writing II	1 1 2 3 4				
		Listening I	1 1 2 3 4				
		Listening II	1 1 2 3 4				
		Speaking I	1 1 2 3 4				
		Speaking II	1 1 2 3 4				
		Debate I	1 1 2 3 4				
		Debate II	1 1 2 3 4				
		Mother Goose	1 1 2				
海外語学研修 I		2 1 2 3 4					
海外語学研修 II	2 1 2 3 4						
キャリア科目	キャリアプランニング	2 1					
	キャリアデザインを学ぶ	2 1					
	キャリアディベロップメント	2 2					
専門教育科目	専門基礎科目	教育原論	2 1	必修科目	62単位必修	必修科目以外の科目を34単位以上選択	
		発達心理学	2 1	必修科目			
		教育行政	2 2				
		教育課程論	2 1	必修科目			
		教職概論	2 2	必修科目			
		教育方法・技術論	2 2	必修科目			
		教育とICT活用	2 2	必修科目			
		国語(書写を含む)	2 2				
		社会	2 2				
		算数	2 2				
		理科	2 1				
		生活	2 2				
		音楽	2 1				
		図画工作	2 1				
		家庭	2 1				
		体育	2 1				
		小学校英語 I	2 1	必修科目			
		小学校英語 II	2 2				
		1年基礎演習 I	1 1	必修科目			
		1年基礎演習 II	1 1	必修科目			
		2年応用演習 I	1 2	必修科目			
		2年応用演習 II	1 2	必修科目			

別表 4 (第21条の2関係) 教育学部 こども教育学科 教育課程表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考 1	備考 2
専門教育科目	専門基幹科目	こども学Ⅰ	2	2	必修科目		
		こども学Ⅱ	2	3	必修科目		
		教育心理学	2	2	必修科目		
		教育法規	2	2			
		生徒・進路指導論	2	3	必修科目		
		特別支援教育概論	2	3	必修科目		
		教育相談	2	3			
		初等国語科指導法	2	2	必修科目		
		初等社会科指導法	2	2	必修科目		
		算数科指導法	2	2	必修科目		
		初等理科指導法	2	2	必修科目		
		生活科指導法	2	3	必修科目		
		初等音楽科指導法	2	2	必修科目		
		図画工作科指導法	2	1	必修科目		
		初等家庭科指導法	2	1	必修科目		
		初等体育科指導法	2	1	必修科目		
		小学校英語指導法Ⅰ	2	2	必修科目		
		小学校英語指導法Ⅱ	2	3			
		道徳教育指導法	2	3	必修科目		
	総合的な学習の時間の指導法	2	2	必修科目			
	特別活動指導法	2	3				
	専門展開科目	文学教材研究	2	2 3 4			
		数と形の不思議	2	2 3 4			
		プログラミング教育	2	2 3 4			
		理科の観察実験	1	2 3 4			
		科学教育論	2	2 3 4			
		音楽と表現	1	2 3 4			
		造形と表現	1	2 3 4			
		教育社会学	2	2 3 4	必修科目		
		メディアリテラシー教育	2	2 3 4			
		学校の安全教育	2	2 3 4			
		学級担任と読書	2	2 3 4			
		社会教育概論	2	2 3 4			
		多文化教育論	2	2 3 4			
		世界のこども教育	2	2 3 4			
		教育哲学	2	2 3 4			
		こども教育演習Ⅰ	1	3			
		こども教育演習Ⅱ	1	3			
こども教育演習Ⅲ		1	4				
教育実習指導		1	3				
教育実習		4	3				
教職実践演習	2	4					
日本語学	2	2 3					
異文化コミュニケーション	2	2 3					
比較文化論	2	2 3					
日本文化論	2	2 3 4					
児童文学論	2	2 3 4					
英米児童文学	2	2 3 4					
専門研究	3年次専門研究Ⅰ	2	3	必修科目			
	3年次専門研究Ⅱ	2	3	必修科目			
	4年次専門研究Ⅰ	2	4	必修科目			
	4年次専門研究Ⅱ	2	4	必修科目			
	卒業研究	2	4				
		卒業要件単位数			124		

別表 5 (第21条の2関係) 情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 教育課程表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考 1	備考 2			
基礎科目	基本科目	口頭表現	2	1	必修科目	14	全科目必修	基礎科目、専門科目の必修科目及び備考1により履修した科目以外の科目から10単位以上選択		
		文章表現	2	1	必修科目					
		基礎数学	2	1	必修科目					
		AI・DSへのいざない	2	1	必修科目					
		健康科学	2	1	必修科目					
		情報基礎 I	1	1	必修科目					
		情報基礎 II	1	1	必修科目					
		基礎演習 I	1	1	必修科目					
		基礎演習 II	1	1	必修科目					
言語科目	英語 I A	1	1	日本人必修科目	4	日本人は、英語4単位必修				
	英語 I B	1	1							
	英語 II A	1	1							
	英語 II B	1	1							
	日本語 I	2	1	留学生必修科目						
	日本語 II	2	1							
教養科目	フランス語 I	1	1		16	16単位以上選択				
	フランス語 II	1	1							
	ドイツ語 I	1	1							
	ドイツ語 II	1	1							
	中国語 I	1	1							
	中国語 II	1	1							
	時事英語 I	1	2							
	時事英語 II	1	2							
	ビジネス英語 I	1	2							
	ビジネス英語 II	1	2							
	Basic Grammar I	1	1							
	Basic Grammar II	1	1							
	TOEIC®向上講座 I	2	2							
	TOEIC®向上講座 II	2	2							
	Speaking I	1	2							
	Speaking II	1	2							
	Writing I	1	2							
	Writing II	1	2							
	Listening I	1	2							
	Listening II	1	2							
	Debate I	1	2							
	Debate II	1	2							
	敬天愛人講座	2	1					2	3	4
	敬愛プログラム	2	1					2	3	4
	スポーツ教育 I	1	1					2	3	4
	スポーツ教育 II	1	1					2	3	4
	哲学	2	1					2	3	4
	心理学	2	1					2	3	4
	社会心理学	2	1					2	3	4
	歴史学	2	1					2	3	4
	文学	2	1					2	3	4
	法学	2	1					2	3	4
	憲法	2	1					2	3	4
	政治学	2	1					2	3	4
社会学	2	1	2	3	4					
数学 I	2	1	2	3	4					
数学 II	2	1	2	3	4					
統計学 I	2	1	2	3	4					
統計学 II	2	1	2	3	4					

別表 5 (第21条の2関係) 情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 教育課程表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考1	備考2	
	英語で学ぶPython	2	1 2 3 4					
	環境科学	2	1 2 3 4					
	ボランティア活動	2	1 2 3 4					
	キャリア科目	キャリアデザインを学ぶ	2	1	必修科目	6	必修科目を含め6単位以上選択	
		キャリアプランニング	2	1	必修科目			
		キャリアディベロップメント	2	2				
		企業の魅力発見	2	2				
		実践的キャリア演習Ⅰ	2	3				
		実践的キャリア演習Ⅱ	2	3				
		プレインターンシップ	2	3				
インターンシップ		1	3					
ポストインターンシップ		2	3					
専門科目	導入科目	経営学概論	2	1	必修科目	10	全科目必修	
		経済学概論	2	1	必修科目			
		情報概論	2	1	必修科目			
		経営情報論	2	1	必修科目			
		ビックデータマネジメント	2	1	必修科目			
基礎科目		経営戦略論	2	2		8	8単位上選択	
		マーケティング論	2	2				
		地域経済論	2	2				
		AI概論	2	2				
		DS概論	2	2				
		プログラミング(Python)	2	2				
		生成系AI入門	2	2				
展開科目		流通経営論	2	2 3 4		48	48単位以上選択	
		観光概論	2	2 3 4				
		消費者行動論	2	2 3 4				
		地域資源論	2	2 3 4				
		ロジスティクス(物流管理)論	2	2 3 4				
		サービスマーケティング論	2	2 3 4				
		デジタルマーケティング論	2	2 3 4				
		観光マーケティング	2	2 3 4				
		地方創生論	2	2 3 4				
		千葉県の産業と行政	2	2 3 4				
		千葉の観光研究	2	2 3 4				
		観光政策論	2	2 3 4				
		地域分析論	2	2 3 4				
		交通経済学	2	2 3 4				
		観光事業論Ⅰ	2	2 3 4				
		観光事業論Ⅱ	2	2 3 4				
		旅行産業論	2	2 3 4				
		宿泊産業論	2	2 3 4				
		航空産業論	2	2 3 4				
		地域観光論	2	2 3 4				
		国際観光論	2	2 3 4				
		情報マネジメント特別講義A	2	3 4				
		情報マネジメント特別講義B	2	3 4				
		経済市場分析A	2	3 4				
		経済市場分析B	2	3 4				
		観光市場分析	2	2 3 4				
		ビジネスデータ解析	2	2 3 4				
		GIS(地理空間情報システム)分析	2	2 3 4				
不動産市場分析	2	2 3 4						

別表 5 (第21条の2関係) 情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 教育課程表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考 1	備考 2
	会計情報と経営分析	2	2 3 4				
	ビジネスデータ分析手法A	2	2 3 4				
	ビジネスデータ分析手法B	2	2 3 4				
	ビジネスデータ分析手法C	2	2 3 4				
	AI・データサイエンス経営実践	2	2 3 4				
	観光地経営実践	2	3 4				
	アルゴリズム論	2	2 3 4				
	情報セキュリティ論	2	2 3 4				
	AI特講		2 3 4				
	プログラミング(R)		2 3 4				
	自然言語処理		3 4				
	情報ガバナンス		3 4				
	情報英語 I		3 4				
	情報英語 II		3 4				
	演習科目	専門導入演習 I	1				
専門導入演習 II		1	2	必修科目			
専門演習 I		1	3	必修科目			
専門演習 II		1	3	必修科目			
卒業演習 I		1	4	必修科目			
卒業演習 II		1	4	必修科目			
卒業論文・卒業研究		2	4	必修科目			
			卒業要件単位数	124			

別表 6 (第 32 条関係) 入学検定料

学部 項目	学部				情報マネジメント 学部	摘 要
	経済学部	国際学部	教育学部	情報マネジメント 学部		
大学入学共通 テスト利用 選 抜	10,000 円					単願・併願・4 併願 共通 ※併願学部数に関係なく、 検定料は定額
学校推薦型 選 抜	16,000 円	16,000 円	16,000 円	16,000 円		指定校推薦、系列校推薦
	32,000 円	32,000 円	32,000 円	32,000 円		公募推薦
総合型選抜	32,000 円	32,000 円	32,000 円	32,000 円		
一 般 選 抜	32,000 円					2 教科方式 単願・併願・4 併願 共通 ※併願学部数に関係なく、 検定料は定額
	32,000 円					外部試験利用方式 単願・併願・4 併願 共通 ※併願学部数に関係なく、 検定料は定額
外国人留学生 選 抜	16,000 円	16,000 円	16,000 円	16,000 円		指定校推薦
	32,000 円	32,000 円	32,000 円	32,000 円		
帰 国 生 ・ 社 会 人 選 抜	32,000 円	32,000 円	32,000 円	32,000 円		
編入学選抜	32,000 円	32,000 円	32,000 円	—		
特待生選抜	10,000 円	10,000 円	10,000 円	10,000 円		大学入学共通テスト利用選 抜者のみ

別表 7 (第 32 条関係) 学 費

学部 項目	経済学部	国際学部	教育学部	情報マネジメント学部	摘 要
入学金	250,000 円	250,000 円	250,000 円	250,000 円	入学時のみ
授業料	780,000 円	780,000 円	800,000 円	800,000 円	年 額 (前期・後期に分けて分割納入 することができる)
施設費	280,000 円	280,000 円	280,000 円	280,000 円	年 額 (前期・後期に分けて分割納入 することができる)
備 考	編入学者、転入学者、再入学者及び科目等履修生の学費については別に定める				

別表 8 (第 32 条関係) 教職課程履修費

学部 項目	経済学部	国際学部	教育学部	情報マネジメント学部	摘 要
教職課程履修費	60,000 円	60,000 円	—	—	中学校教諭一種免許状(英語) 中学校教諭一種免許状(社会) の取得希望者
	50,000 円	50,000 円	—	—	高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状(公民) 高等学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(商業) の取得希望者
備 考	<p>1. 経済学部で取得可能な教育職員免許状 中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状(公民) 高等学校教諭一種免許状(商業)</p> <p>2. 国際学部で取得可能な教育職員免許状 中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語)</p> <p>3. 教育学部で取得可能な教育職員免許状 小学校教諭一種免許状</p>				

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目 次

- ア 学則変更（収容定員変更）の内容
- イ 学則変更（収容定員変更）の必要性
- ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容
 - （ア）教育課程の変更内容
 - （イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容
 - （ウ）教員組織の変更内容
 - （エ）施設・設備の変更内容

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

本学では、令和7年4月より、情報マネジメント学部（情報マネジメント学科：入学定員50人、収容定員200人）の設置を計画（令和6年4月設置届出予定）しており、学部・学科等の届出設置に係る収容定員変更（収容定員に係る学則変更認可申請）を行うこととした。

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

今後、本学が地域社会の多様な期待や要請に適切に応え、自律性に基づく多様化や個性化を推進していくためには、自らの責任において、地域社会の人材需要や受験生の進学需要に応じた教育組織の構築や教育内容の充実、教育方法の改善など、学部教育における組織改革と教育改革に格段の努力を注ぐことが重要である。

一方、18歳人口の減少や高学歴志向の高まりなど、高等教育を取り巻く環境が変化しており、その方向性も多様化していることから、時代の変化と社会の要請に柔軟に対応しつつ、学部教育の多様な発展に向けた特色ある教育研究に取り組むことによる独自性を発展的に実現する必要性が生じている。

また、学術研究の高度化に伴い学部教育が対象とする専門領域も広範に及んできていることから、進学希望者の興味と関心や学習意欲に柔軟に対応していくために、学生の選択の幅や流動性を高める工夫も重要となっており、学術研究の進展や進学希望者の動向を勘案した教育組織の整備が求められている。

このような高等教育を取り巻く社会環境の変化や進学希望者の動向などを十分に踏まえるとともに、特に、昨今の情報通信技術の進展をはじめとする社会情勢の変化を見据えつつ、本学における教育組織のさらなる充実と発展を目指して、令和7年4月より、情報マネジメント学部情報マネジメント学科を設置することとした。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

情報マネジメント学部情報マネジメント学科では、幅広い教養基盤に支えられた豊かな人間性と高い職業観、生涯にわたり自発的な学習を継続するための態度を養うとともに、経営学分野に関する基礎的な知識の習得のもとに、ITスキルや統計解析などデータサイエンスの知識や技能を活用し、あらゆる社会現象をマネジメントの視点で捉え創造的かつ実践的な能力を養うこととしている。

この教育研究上の目的を達成するために、情報マネジメント学部情報マネジメント学科では、教育課程を「基礎科目」と「専門科目」から編成しており、「基礎科目」は、「基本科目」、「言語科目」、「教養科目」、「キャリア科目」の4つの科目群から構成し、「専門科目」は、「導入科目」、「基礎科目」、「展開科目」、「演習科目」の4つの科目群から構成しており、

教育課程全体の体系的・順次性を確保し、かつ教養教育と専門教育の有機的連携を図ることとしている。

1) 基礎科目

「基礎科目」では、中央教育審議会答申などで指摘されている重要性や意義などを踏まえたうえで、現代社会に関する幅広い知識の理解と自己表現や情報活用に関する能力及び社会の一員としての心構えを身に付けるために必要な科目群と科目構成による教育課程の編成としている。

「基礎科目」における科目群ごとの授業科目数と単位数は、「基本科目」9科目14単位、「言語科目」4科目4単位、「教養科目」42科目62単位、「キャリア科目」9科目17単位としており、「基礎科目」全体として、必修科目15科目22単位、選択科目49科目75単位、合計64科目97単位を配置している。

2) 専門科目

「専門科目」では、専門分野の基礎的な理論や方法論の修得を中心とする教育内容を基礎としつつ、幅広い基礎力の修得を重視した教育課程の編成としていたるとともに、教育上の目的や人材養成の目的を達成するために必要な科目構成、科目の対応関係、履修順序や配当年次などに配慮した体系的な教育課程の編成としている。

具体的には、「営利・非営利事業体の運営や管理に関する知識に加えて、ICT技術の発展に支えられた情報処理の原理を科学的に理解し、経営内外の関連データを適切に選択された分析ソフトウェアで活用・運用する能力を身につける」という人材養成の目的を達成するための教育課程の編成としている。

「専門科目」における科目群ごとの授業科目数と単位数は、「導入科目」5科目10単位、「基礎科目」7科目14単位、「展開科目」43科目86単位、「演習科目」7科目8単位を配置しており、「専門科目」全体として、必修科目12科目18単位、選択科目50科目100単位の合計62科目118単位を配置し、4年間の授業全体を通して専門的な知識や能力を体系的に身につけるための教育課程の編成としている。

また、情報マネジメント学部情報マネジメント学科では、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修のもとに、円滑に単位を取得することが可能となるよう、教育課程編成・実施の方針を具体化し、可視化して共有できるカリキュラムツリーやカリキュラムマップ及び養成する具体的な人材像に対応した履修モデルを示すことにより、適切な授業科目の履修が可能となるよう配慮している。【資料1】(カリキュラムツリー)、【資料2】(カリキュラムマップ)、【資料3】(履修モデル)、【資料7】(教育課程の概要)

なお、情報マネジメント学部情報マネジメント学科の設置に伴い、全学共通科目として位置付けている「基礎科目」については、状況に応じて開講コマ数を増やすなど、他学部等に

おける授業科目の履修に影響を与えることのないよう配慮することにより、変更前と同等の内容を担保することとしている。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

1) 教育方法

情報マネジメント学部情報マネジメント学科の授業方法は、学説や物事などの意味や内容の理解を目的とする教育内容は、講義形式による授業形態を採ることとし、知識や技能を実践に応用する能力の修得を目的とする教育内容は、演習形式及び実践・実習形式による授業形態を採ることとしている。

授業の内容に応じた学生数の設定については、授業の内容や授業の方法、施設や設備の状況、実践・実習や演習・研究の指導体制などの教育上の諸条件を考慮して、教育効果を十分にあげられる人数としており、講義科目は、最大で100人、演習科目は、最大で10人、実践・実習科目は、最大で30人としている。

配当年次は、基礎から応用へと体系的な学習が可能となるよう配慮しており、専門教育においては、専門分野の教育内容ごとに、知識、技能、応用といった授業の内容と科目間の関係や履修の順序に留意するとともに、単位制度の制度設計の観点を踏まえて、特定の学年や学期において偏りのある履修登録がなされないような配当としている。

授業方法は、学生の能動的な学修への参加を促すことから、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等をはじめとする教授方法を取り入れることによる能動的学修を導入するとともに、学生の自由な発想力と創造性や感性を養い、実践的な調査力や分析力及び問題発見・解決能力を高めることから、身近な問題や事例を素材とするグループ協同作業で学ぶ問題解決型の学習方式を導入している。

また、単位制度の実質化の観点を踏まえたうえで、学生の主体的な学習を促し、教室における授業と教室外の学習を合わせた充実した授業を展開することにより学習効果を高めることから、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、1年間に履修科目として登録することができる標準的な単位数の上限を42単位と定めている。

さらに、卒業時における学生の質を確保する観点から、予め学生に対して各授業における学習目標やその目標を達成するための授業の方法や計画等を明示したうえで、成績評価基準や卒業認定基準を提示し、これに基づき厳格な評価を行うとともに、客観的な評価基準の適用及び厳格な成績評価の方法としてGPA制度を導入している。【資料 4】（授業計画書(シラバス)の作成について）、【資料 5】（敬愛大学 Grado Point Average 運用規程）

2) 履修指導方法

履修指導方法は、授業を受ける学生に対して、教員が相談に応じる専用の時間を設けることにより、個別のきめ細やかな履修指導を行う体制を整えるとともに、学期ごとに学年別の

履修ガイダンスを実施したうえで、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う専門的な職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生への履修指導体制を整備している。

また、学部教育段階では、基礎的な専門知識や技能を確実に修得させることに重点を置くことが重要であるとの認識のもとに、各専門分野の学問体系と学習段階に即した授業科目を配置しているとともに、単位制度の実質化を図る観点から、特定の学期における偏りのある履修登録を避け、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修が可能となるよう履修モデルを提示することとしている。

このように、情報マネジメント学部情報マネジメント学科では、教育の質保障の観点を踏まえたうえで、教育方法及び履修指導方法の整備と充実に努めることとしていることから、情報マネジメント学部情報マネジメント学科の設置に伴う教育方法及び履修指導方法における他学部等への影響はないものと考えている。

(ウ) 教員組織の変更内容

情報マネジメント学部では、大学設置基準に定める基幹教員数12人に対して12人の教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置することとしており、職位別の配置計画は、教授8人、准教授4人、年齢構成は、70歳台4人、60歳台3人、50歳台1人、40歳台4人から構成することとしており、教育研究水準の維持向上や教育研究の活性化に支障のないよう配慮した教員組織としている。

また、情報マネジメント学部情報マネジメント学科の設置に伴う、既設学部等からの専任教員の異動及び専任教員の新規採用については、既設の経済学部経済学科から専任教員1人（うち教授1人）、経済学部経営学科から専任教員1人（うち教授1人）、国際学部国際学科から専任教員4人（うち教授3人）を異動するとともに、専任教員6人（うち教授3人）を新規に採用することとしており、情報マネジメント学部情報マネジメント学科における専任教員1人当たりの学生数は16.7人と、ST比を考慮したきめ細やかな授業が運営できるよう計画している。

なお、情報マネジメント学部の設置に伴い、既設の経済学部経済学科から専任教員1人（うち教授1人）、経済学部経営学科から専任教員1人（うち教授1人）、国際学部国際学科から専任教員4人（うち教授3人）を異動することとしているが、この異動に伴う補充として、経済学部経済学科1人（うち教授1人）、経済学部経営学科1人（うち教授1人）、国際学部国際学科4人（うち教授3人）の専任教員を新規に採用する計画としていることから、他学部等への影響はないものと考えている。

(エ) 施設・設備の変更内容

1) 校地・運動場

情報マネジメント学部情報マネジメント学科の設置を計画している稲毛キャンパスは、交通の利便性が高く、高等教育機関が集中している文教地区（千葉市稲毛区）に位置しており、現在、校地面積約85,432.51㎡（稲毛キャンパス33,952㎡、佐倉キャンパス28,886.51㎡、稲毛区萩台グラウンド22,594㎡）を有している。

その内訳は、校舎敷地面積が30,148.95㎡（稲毛キャンパス25,987㎡、佐倉キャンパス4,161.95㎡）、運動場面積が55,283.56㎡（稲毛キャンパス7,965㎡、佐倉キャンパス24,724.56㎡、稲毛区萩台22,594㎡）、その他2,990.44となっており、運動用設備としては、野球場、テニスコート等を備えているとともに、敷地内の空地を利用して、学生が休息するための十分な場所を確保することで、大学教育に相応しいキャンパス環境を整えている。

2) 施設・設備

情報マネジメント学部情報マネジメント学科の設置を計画している稲毛キャンパスは、現在、4棟の校舎等施設を有しており、その総面積は、専用、共用を含め19,932.53㎡（共用する他の学校等の専用含め21,976.02㎡）で、学部教育に必要となる主要な教室等の内訳としては、大学全体で講義室37室、演習室23室、実験・実習室4室、情報処理室4室、教員研究室75室、非常勤講師室、図書館、学長室、会議室、事務室、保健室、学生相談室、学生自習室、学生食堂などを整備している。

情報マネジメント学部情報マネジメント学科の専任教員の研究室については、教員組織として計画している専任教員12名（教授8名、准教授4名）のうち、新規に採用する専任教員6名分の教員研究室（1室当たり約18㎡）6室を設けるとともに、他学部等からの異動に伴う補充教員6名分の教員研究室についても整備する計画としている。

設備の整備計画については、現在、稲毛キャンパスで整備している教具594点、校具796点、備品32点を有効的に転共用することとしている。

3) 図書・図書館

情報マネジメント学部情報マネジメント学科の設置を計画している稲毛キャンパスの図書等については、令和6年3月現在、75,176冊の図書を所蔵しており、その内訳としては、一般教育図書43,290冊（うち外国書1,450冊）、専門図書31,886冊（うち外国書2,141冊）を所蔵しているほか、学術雑誌853種（うち外国雑誌226誌）、電子ジャーナル27,176種、映像資料やCD-ROM等の視聴覚資料2,114点を有していることから、これらを有効的に共用することとしている。

情報マネジメント学部情報マネジメント学科の設置計画に伴う図書等の資料の整備計画

としては、情報マネジメント学部情報マネジメント学科の教育研究を行うために必要となる図書等の資料として、専門図書284冊（うち電子図書92冊、外国書12冊）、を開設前年度中に新規に整備することとしている。【資料 6】（図書等購入計画）

情報マネジメント学部情報マネジメント学科の設置を計画している稲毛キャンパスでは、図書館及びラーニング・コモンスの機能を持つメディアセンターを有しており、収容定員1,940人の約16.7%にあたる324席の閲覧座席数を確保しているとともに、開架式書庫及び閉架式書庫、サービスカウンター、レファレンスカウンター、グループ学習室、視聴覚コーナー、ブラウジングコーナーなどの他、情報探索用パソコン78台、蔵書検索性用パソコン2台、コピー機1台を設置している。

このように、情報マネジメント学部情報マネジメント学科の設置を計画している稲毛キャンパスでは、常に教育研究環境の整備に積極的に取り組み、施設・設備については充実した環境を整えているとともに、情報マネジメント学部情報マネジメント学科の設置に伴う図書等については新たな整備を計画しており、定員変更前の施設・設備と同等以上の内容を担保することとしている。

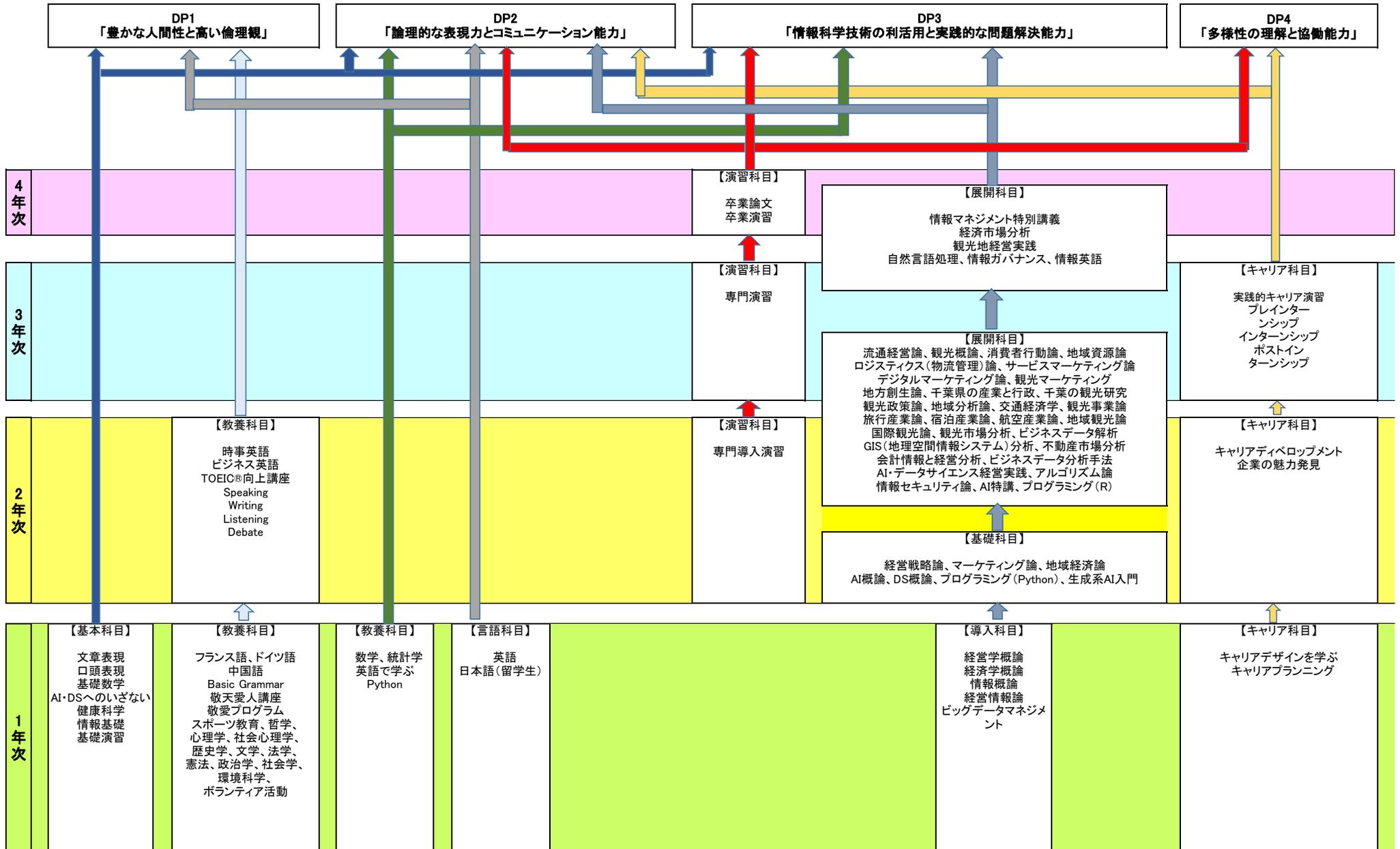
学則の趣旨等を記載した書類(添付資料)

目 次

- 【資料 1】 情報マネジメント学科 カリキュラムツリー
- 【資料 2】 情報マネジメント学科 カリキュラムマップ
- 【資料 3】 情報マネジメント学科 履修モデル
- 【資料 4】 授業計画書(シラバス)の作成について
- 【資料 5】 敬愛大学 Grade Point Average 運用規程
- 【資料 6】 24年度 図書等購入計画
- 【資料 7】 情報マネジメント学科 教育課程等の概要

【資料 1】

情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 カリキュラムツリー



【資料 2】情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 カリキュラムマップ

- DP1. 社会人として必要な幅広い教養基盤に支えられた豊かな人間性や高い倫理観を身につける。
 DP2. 経済・経営の理論を理解し、問題発見のために情報を主体的に収集、分析し、問題解決策を論理的に述べられる表現能力・コミュニケーション能力を身につける。
 DP3. 情報科学技術の進歩を理解するとともに、AIの技術の活用やデータを使いながら社会問題を解決する能力を身につける。
 DP4. 多様な社会の存在を理解し、その多様な社会のなかで共に協力して目的を達成する力を身につける。

区分	科目名	主要授業科目	必修科目	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等			
							DP1	DP2	DP3	DP4	備考 1	備考 2		
基礎科目	基本科目	文章表現		○	2	1年～	14 単位	○	◎			全科目必修	基礎科目、専門科目の必修科目及び備考1により履修した科目以外の科目から10単位以上選択	
		口頭表現		○	2	1年～		○	◎					
		基礎数学		○	2	1年～		○	◎					
		AI・DSへのいざない		○	2	1年～		☆	○	◎				
		健康科学		○	2	1年～		◎						
		情報基礎 I		○	1	1年～		☆	○	◎				
		情報基礎 II		○	1	1年～		☆	○	◎				
		基礎演習 I		○	1	1年～		○	◎	☆	○			
	基礎演習 II		○	1	1年～	○	◎	☆	○					
	言語科目	英語 I A		○	1	1年～	4 単位	○	◎			日本人は、英語4単位必修		
		英語 I B		○	1	1年～		○	◎					
		英語 II A		○	1	1年～		○	◎			留学生科目		
		英語 II B		○	1	1年～		○	◎					
		日本語 I		○	2	1年～		○	◎					
		日本語 III		○	2	1年～		○	◎					
	教養科目	フランス語 I				1	1年～	16 単位	☆					16単位以上選択
		フランス語 II				1	1年～		☆					
		ドイツ語 I				1	1年～		☆					
		ドイツ語 II				1	1年～		☆					
		中国語 I				1	1年～		☆					
		中国語 II				1	1年～		☆					
		時事英語 I				1	2年～		☆					
		時事英語 II				1	2年～		☆					
		ビジネス英語 I				1	2年～		☆					
		ビジネス英語 II				1	2年～		☆					
		Basic Grammar I				1	1年～		☆					
		Basic Grammar II				1	1年～		☆					
TOEIC®向上講座 I					2	1年～	☆							
TOEIC®向上講座 II					2	1年～	☆							
Speaking I					1	2年～	☆							
Speaking II					1	2年～	☆							
Writing I					1	2年～	☆							
Writing II					1	2年～	☆							
Listening I					1	2年～	☆							
Listening II					1	2年～	☆							
Debate I					1	2年～	☆							
Debate II					1	2年～	☆							
敬天愛人講座					2	1年～	◎				○			
敬愛プログラム					2	1年～	○		○	☆	○			
スポーツ教育 I					1	1年～	☆							
スポーツ教育 II					1	1年～	☆							
哲学					2	1年～	○							
心理学					2	1年～	○							
社会心理学					2	1年～	○							
歴史学					2	1年～	○							
文学					2	1年～	○							
法学					2	1年～	○							
憲法					2	1年～	○							
政治学					2	1年～	○							
社会学				2	1年～	○								
数学 I				2	1年～		○	☆						
数学 II				2	1年～		○	☆						
統計学 I				2	1年～		○	☆						
統計学 II				2	1年～		○	☆						
英語で学ぶPython				2	1年～		☆	☆						
環境科学				2	1年～	○								
ボランティア活動				2	1年～	○			☆					
キャリア科目	キャリアデザインを学ぶ		○	2	1年～	6 単位		○		◎	必修科目を含め6単位以上選択			
	キャリアプランニング		○	2	1年～			○		◎				
	キャリアディベロップメント			2	2年～			☆		○				
	企業の魅力発見			2	2年～			☆		○				
	実践的キャリア演習 I			2	3年～			☆		○				
	実践的キャリア演習 II			2	3年～			☆		○				
	ブレインターンシップ			2	3年～			○		☆				
	インターンシップ			1	3年～			○		☆				
ポストインターンシップ			2	3年～		○		☆						

- DP1. 社会人として必要な幅広い教養基盤に支えられた豊かな人間性や高い倫理観を身につける。
 DP2. 経済・経営の理論を理解し、問題発見のために情報を主体的に収集、分析し、問題解決策を論理的に述べられる表現能力・コミュニケーション能力を身につける。
 DP3. 情報科学技術の進歩を理解するとともに、AIの技術の活用やデータを使いながら社会問題を解決する能力を身につける。
 DP4. 多様な社会の存在を理解し、その多様な社会のなかで共に協力して目的を達成する力を身につける。

区分	科目名	主要 授業 科目	必修 科目	単位数	配当学年	必要 単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等		
							DP1	DP2	DP3	DP4	備考 1	備考 2	
専門科目	導入科目	経営学概論	○	○	2	1年～	10		◎	○		全科目必修	
		経済学概論	○	○	2	1年～			◎	○			
		情報概論	○	○	2	1年～			◎	○			
		経営情報論	○	○	2	1年～			◎	○			
		ビックデータマネジメント	○	○	2	1年～			◎	○			
	基礎科目	経営戦略論			2	2年～	8		◎	○		8単位以上選択	
		マーケティング論	○		2	2年～			◎	○			
		地域経済論			2	2年～			◎	○			
		AI概論			2	2年～			○	◎			
		DS概論	○		2	2年～			○	◎			
		プログラミング(Python)			2	2年～			○	◎			
		生成系AI入門			2	2年～			○	◎			
	展開科目	流通経営論			2	2年～	48		○			48単位以上選択	
		観光概論	○		2	2年～			○				
		消費者行動論			2	2年～			○				
		地域資源論			2	2年～			○				
		ロジスティクス(物流管理)論			2	2年～			○				
		サービスマーケティング論			2	2年～			○				
		デジタルマーケティング論			2	2年～			○	☆			
		観光マーケティング			2	2年～			○	☆			
		地方創生論	○		2	2年～			○				
		千葉県の産業と行政			2	2年～			○		☆		
		千葉の観光研究			2	2年～			○		☆		
		観光政策論			2	2年～			○		☆		
		地域分析論			2	2年～			○	☆			
		交通経済学			2	2年～			○	☆			
		観光事業論 I			2	2年～			○				
		観光事業論 II			2	2年～			○				
		旅行産業論			2	2年～			○				
		宿泊産業論			2	2年～			○				
		航空産業論			2	2年～			○				
		地域観光論			2	2年～			○				
		国際観光論			2	2年～			○	○			
情報マネジメント特別講義A				2	3年～			◎	○				
情報マネジメント特別講義B				2	3年～			◎	○				
経済市場分析A				2	3年～			☆	○				
経済市場分析B				2	3年～			☆	○				
観光市場分析				2	2年～			☆	◎				
ビジネスデータ解析				2	2年～			☆	◎				
GIS(地理空間情報システム)分析				2	2年～			☆	◎				
不動産市場分析				2	2年～			☆	◎				
会計情報と経営分析				2	2年～			○					
ビジネスデータ分析手法A			2	2年～			☆	◎					
ビジネスデータ分析手法B			2	2年～			☆	◎					
ビジネスデータ分析手法C			2	2年～			☆	◎					
AI・データサイエンス経営実践			2	2年～			☆	◎					
観光地経営実践			2	3年～			◎						
アルゴリズム論			2	2年～				◎					
情報セキュリティ論			2	2年～				◎					
AI特講			2	2年～				◎					
プログラミング(R)			2	2年～				◎					
自然言語処理			2	3年～				◎					
情報ガバナンス			2	3年～				◎					
情報英語 I			2	3年～				○					
情報英語 II			2	3年～				○					
演習科目	専門導入演習 I	○	○	1	2年～	8		◎	◎	○	全科目必修		
	専門導入演習 II	○	○	1	2年～			◎	◎	○			
	専門演習 I	○	○	1	3年～			◎	◎	○			
	専門演習 II	○	○	1	3年～			◎	◎	○			
	卒業演習 I	○	○	1	4年～			◎	◎	○			
	卒業演習 II	○	○	1	4年～			◎	◎	○			
	卒業論文	○	○	2	4年～			◎	◎				

卒業要件単位数 124単位

区分	1年次(42単位)				2年次(42単位)				3年次(42単位)				4年次(42単位)				合計
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	
基礎科目 (14)	●文章表現 ●基礎数学 ●情報基礎Ⅰ ●基礎演習Ⅰ ●AI・DSへのいざない	2 2 1 1 2	●口頭表現 ●健康科学 ●情報基礎Ⅱ ●基礎演習Ⅱ	2 2 1 1													
小計		8		6												14	
言語科目 (4)	●英語ⅠA ●英語ⅠB	1 1	●英語ⅡA ●英語ⅡB	1 1													
小計		2		2												4	
教養科目 (16)	数学Ⅰ 統計学Ⅰ	2 2	数学Ⅱ 統計学Ⅱ	2 2	憲法 敬天愛人講座	2 2	英語で学ぶPython 敬愛プログラム	2 2									
小計		4		4		4		4								16	
キャリア科目 (6)	●キャリアデザインを学ぶ	2	●キャリアプランニング	2					実践的キャリア演習Ⅰ	2	実践的キャリア演習Ⅱ	2					
小計		2		2						2		2				8	
専門科目	導入科目 (10)	●経営学概論 ●情報概論	2 2	●経済学概論 ●経営情報論 ●ビックデータマネジメント	2 2 2												
	小計		4		6											10	
	基礎科目 (8)					経営戦略論 マーケティング論 AI概論	2 2 2	DS概論 生成系AI入門	2 2	地域経済論 プログラミング(Python)	2 2						
	小計						6		4		4					14	
	展開科目 (48)					アルゴリズム論 プログラミング® AI特講 AI・データサイエンス経営実践	2 2 2 2	デジタルマーケティング論 情報セキュリティ論 ビジネスデータ分析手法A 消費者行動論 地域資源論	2 2 2 2 2	情報マネジメント特別講義A 観光市場分析 地方創生論 千葉県産業と行政 GIS(地理空間情報システム)分析 地域分析論	2 2 2 2 2 2	情報マネジメント特別講義B ビジネスデータ分析 自然言語処理 不動産市場分析 ロジスティック(物流管理)論 観光マーケティング論	2 2 2 2 2 2	経済市場分析A 旅行産業論	2 2	経済市場分析B 情報ガバナンス	2 2
	小計						8		10		12		12		4	4	50
演習科目 (8)					●専門導入演習Ⅰ	1	●専門導入演習Ⅱ	1	●専門演習Ⅰ	1	●専門演習Ⅱ	1	●卒業演習Ⅰ	1	●卒業演習Ⅱ ●卒業論文・卒業研究	1 2	
小計						1		1		1		1		1		3	
合計(124単位以上)		20		20		19		19		19		15		5		7	124

1年計 40

2年計 38

3年計 34

4年計 12

【資料 4】 授業計画書(シラバス)の作成について

教 員 各 位

2024 年度授業計画書（シラバス）の作成について

2024 年度の授業計画書（シラバス）を下記要領に従って KCN（Keiai Campus Navigator）にて入稿をお願いいたします。ご多忙のところを大変恐縮ですが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

記

★重要★

授業計画書（シラバス）の作成手順について

●事前に、KCN より、シラバス作成に必要なファイルをダウンロードしてください。

ダウンロード URL：

- ・2024 年度 授業計画書（シラバス）の作成について（依頼）
- ・2024 年度 KCN RX マニュアル(シラバス登録マニュアル含む)
- ・2024 年度 シラバスガイドライン
- ・2024 年度 シラバスチェックポイント
- ・2024 年度 授業実施カレンダー
- ・実務経験のある教員による授業科目について
- ・【参考】2023 年度 ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー
(全学部・全学科)
- ・BYOD を前提とした授業実施について

I. 授業計画書（シラバス）の初校について

授業計画書はホームページ上のみの公開とし、冊子化は行っていません。

初校は出ません。 Web 上で入稿→内容確認→校了となりますので、ご注意ください。

ホームページ上に授業計画書（シラバス）を公開致しますので、予めご承知おき願います。

II. 授業計画書（シラバス）の作成要領

ご担当科目（講義・実技・語学・演習・実習等）の全てについて作成してください。

※共通原稿の科目（例：1年ゼミ、オムニバス講義等）については、

執筆ご担当の先生のみ、シラバスのご依頼をさせていただきます。

III. 授業計画書（シラバス）の作成基準

1. **【重要】** 授業のねらい・到達目標・実務経験と授業の関連性・DP, CP に於ける位置づけ

授業のねらいと到達目標についてご記入ください。可能な限りディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）における位置づけも併せて付記ください。

また、「担当教員の実務経験と授業の関連性」の記載をお願いします。（該当科目のみ）

【担当教員等の実務経験について】

・別紙「実務経験のある教員による授業科目について」をご参照ください。

2. 授業の進め方・履修条件など 授業のねらいと到達目標を達成するために、ご担当の授業をどのように運営、展開されるかをご記入ください。その際、試験やレポートなどの課題へのフィードバックを行うとともに、その方法も記載してください。

履修者数の制限を認められていない科目で、履修者を制限する記載はしないでください。

3. アクティブ・ラーニングの手法

授業において実践している、アクティブ・ラーニングの手法があれば手法名を記載してください。

（ex: ロール・プレイング、ディベート、ディスカッション、プレゼン、双方向型授業、振り返り、PBL など）

AL 手法名	手法概要
ロール・プレイング Role Playing	現実にかかる場面を想定して、学生が各自に指示された役割を演じる。技術・技能の修得や態度・指定の涵養、現実的なケースにおける多面的な見方や他者の立場の理解などを促進するうえで効果的である。
ディベート Debate	あるテーマについて、個人が賛成側と反対側の各々の立場を表明し、立論・反論といった論戦を通じ第三者を説得する討議を通じての学習法である。論理的思考力や発表力の養成に効果的である。
ディスカッション Discussion	ペアもしくは小グループ（3人～6人程度が一般的）をつくり、指示された課題について、学生同士の意見交換を行う。各々の持つ知識や経験などが共有され、課題への理解が深まる。

プレゼンテーション Presentation	指示された課題について、グループもしくは個人で調査・研究を行い、その成果を発表する。発表形式はパワーポイントなどの情報機器を活用したものや、ポスターセッションなど多様である。発表者は学生や教員との質疑応答も行う。
双方向型演習 Interactive Seminar	指示された課題について学生が答案やレポートなどを作成し、それを教員が添削・採点してフィードバックしたものを、再度学生が確認し理解を深める。教員とコミュニケーションをとることにより、授業への参加意欲を高めるねらいもある。学生は自らの理解度を確認し、新たな気づきや課題を見出すことが期待される。
振り返りシート Reflection Sheet	授業の途中や終了時に、気づきや疑問等について記載し、知識の定着や理解の促進を図る。シートの内容を教員が授業構成に参考にしたり、次講に学生の疑問点についてフィードバックしたりすることもできる。
PBL Project-Based Learning Problem-Based Learning	企業や、地域、教員、もしくは学生自身が設定した課題や目標に対して、学生がチームを作り協力して取り組むことを通じて、知識習得・体験学習を行う教育手法。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Project-based learning (プロジェクト型学習・課題解決型学習)：一定の目標を達成するためにチームで取り組む過程を通じて知識習得・応用・体験学習を行う。 ・ Problem-based learning (課題解決型学習)：具体的事例(シナリオ)に対して、その解決に必要な知識を小グループで自立的に学習していく。

4. 成績評価の方法と割合 到達目標に対応した成績評価の方法と割合を具体的に記載してください。その際、出席を点数化する内容の記載はしないでください。(必須)

5. 評価基準

学生に対して授業の目標、成績評価の基準を明確化することにより、学生が学ぶ方向を正しく設定する、また、学生への成績評価の信頼性を高め、教育の質を保証する為、評価基準の記載をお願いします。これは、「授業の成績」と「授業のねらい・到達目標」や成績評価方法との関係を示す目的もありますので、具体的かつ簡潔に記載をお願いします。(必須)

(記載例)

評価	判定基準
秀 (S)	(例) 授業のねらいを越えて、自ら探求し理解を深めるレベルに達している。
優 (A)	(例) 授業のねらいがほぼ達成できている。
良 (B)	(例) 授業のねらいと到達目標の間のレベルに達している。
可 (C)	(例) 到達目標を達している。
不可	(例) 到達目標を達成できていない。

6. 授業の予習・復習

授業前にどのような予習をすべきか、授業後にどのような復習をすべきか、必要とされる時間数も含めて記載してください。
(「必要なし」の記載は絶対にしないでください。)(必須)

7. 講義スケジュール

全日程についてご記入いただき、「授業項目」および「授業内容」については空欄を作らないようにしてください。
第1回の授業項目には「ガイダンス」「オリエンテーション」と記載しないでください。(1回目から授業を行ってください。)
複数回にわたって同様の授業内容を記載しないようにご注意ください。
各回のキーワードを付すなど、各回で異なる内容を扱うことが分かるようにご記入ください。 なお、授業は最終週

8. 教科書、ISBN

使用の有無を必ずご記入いただき、使用される場合は、教科書名と

ISBNをご記入下さい。その際には、学生が購入する教科書のみを記載してください。「初回の授業で説明する」「授業時に指示する」等の表現は避けて下さい。（ここに記載する書籍を教科書販売として発注します。）また、授業で利用しない教科書等の記載はしないでください。（必須）

9. 参考文献

50文字以内でご記入下さい。任意ではありますが、可能な限り記載にご協力をお願いします。（任意）

10. 教職に関する情報

本学で教職課程に係わっている担当者は必ず記載をお願いします。

- ※・教科に関する専門的事項
- ・各教科の指導法（情報機器および教材の活用を含む）
 - ・教育の基礎的理解に関する科目
 - ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法および生徒指導、教育相談等に関する科目
 - ・教育実践に関する科目

該当しない先生は記載不要です。

《記入例1》

教職に関する情報			
免許状取得のための科目区分（必修/選択）	必修科目	担当形態	単独
科目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 家庭）		
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・住居学 ・住居学（製図を含む）		

《記入例2》

教職に関する情報			
免許状取得のための科目区分（必修/選択）	選択科目	担当形態	単独
科目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 理科）		
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容にかかわる科目		

以上

【資料 5】敬愛大学 Grade Point Average 運用規程

平成 29 年 4 月 1 日制定

(趣旨)

第 1 条 この規程は、敬愛大学学則第 26 条の規定に基づき、Grade Point Average (以下「GPA」という。)の運用について必要な事項を定めるものとする。

(成績評価及び計算方式)

第 2 条 学期ごとに当該学期に履修登録した授業科目を 5 段階で評価し、当該評価に対し次のとおり換算し合計する。

評 価	点 数	グレード	ポイント
秀	90 点 ~ 100 点	S	4.00
優	80 点 ~ 89 点	A	3.00
良	70 点 ~ 79 点	B	2.00
可	60 点 ~ 69 点	C	1.00
不可	59 点以下	D	0.00

2 GPA とは、一定期間において履修した各授業科目の成績に係るポイントに当該授業科目の単位数を乗じて得た数値の総和を履修した各授業科目の単位数の総和で除して得た数値をいう。ただし、小数点第 3 位以下は切り捨てるものとする。

3 GPA は、学期ごとに算出する GPA と在学中の各学期を通算して算出する累計の GPA とする。

4 次の各号に掲げる科目は、GPA の算定に含めない。

- (1) インターンシップ及び教育実習
- (2) 再入学における単位認定科目
- (3) 本学入学前に修得した単位認定科目
- (4) 他大学で修得した単位認定科目

5 履修放棄した科目は、GPA の算定に含めるものとし、当該科目の成績は不可とする。

(GPA の管理)

第3条 学期 GPA 及び累計 GPA に係る評価及び管理の担当事務は、修学支援室が取り扱う。

(GPA の活用)

第4条 GPA 上位者には、年間履修登録単位数の上限からさらに4単位の履修登録を認める。

2 成績不振者に対する特別修学指導の基準として GPA の数値を用いる。

(退学勧告)

第5条 GPA が芳しくない者には、教務部委員会の議を経て学長から退学勧告をする場合がある。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、教務部長が発議し、各学部教授会の意見を聴いて、学長が行う。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

【資料 6-1】 図書等購計画(和書)

連番	書名	著者名	出版社
1	基礎情報学のヴァイアビリティ:ネオ・サイバネティクスによる開放系と閉鎖系の架橋	西垣通:河島茂生	東京大学出版会
2	データサイエンティスト養成読本 機械学習入門編:10年先も役立つ力をつくる		技術評論社
3	データサイエンティスト養成読本:プロになるためのデータ分析力が身につく!	佐藤洋行:原田博植	技術評論社
4	イラストで学ぶ機械学習:最小二乗法による識別モデル学習を中心に	杉山将【著】	講談社
5	入門機械学習による異常検知:Rによる実践ガイド	井手剛	コロナ社
6	オンライン機械学習	海野裕也:岡野原大輔	講談社
7	トピックモデルによる統計的潜在意味解析	佐藤一誠	コロナ社
8	知能の物語	中島秀之	公立ほこだて未来大学出版会(発売:近代科学社)
9	サポートベクトルマシン	竹内一郎:烏山昌幸	講談社
10	異常検知と変化検知	井手剛:杉山将	講談社
11	確率的最適化	鈴木大慈	講談社
12	統計的学習理論	金森敬文	講談社
13	暗号技術入門:秘密の国のアリス	結城浩	SBクリエイティブ
14	3Dグラフィックスのための数学入門:クォーターニオン・スプライン曲線の基礎	郡山彬:原正雄	森北出版
15	機械学習	中川裕志	丸善出版
16	劣モジュラ最適化と機械学習	河原吉伸:永野清仁	講談社
17	シンギュラリティ:人工知能から超知能へ	マレー・シャナハン:ドミニク・チェン	NTT出版
18	知識情報処理	伊庭奇志:ダヌシカ・ボレガラ	丸善出版
19	ヒューマンコンピュータとクラウドソーシング	鹿島久嗣:小山聡	講談社
20	事例+演習で学ぶ機械学習:ビジネスを支えるデータ活用のしくみ	速水悟	森北出版
21	心を交わす人工知能:言語・感情・倫理・ユーモア・常識	荒木健治:ラファウ・ジェブカ	森北出版
22	バンディット問題の理論とアルゴリズム	本多淳也:中村篤祥	講談社
23	ウェブデータの機械学習	ダヌシカ・ボレガラ:岡崎直観	講談社
24	情報社会の(哲学):グーグル・ビッグデータ・人工知能	大黒岳彦	勁草書房
25	Java人工知能プログラミング:オブジェクト指向と関数スタイルによるAIの実装	深井裕二	三恵社(発売:JRC)
26	TensorFlowで学ぶディープラーニング入門:畳み込みニューラルネットワーク徹底解説	中井悦司	マイナビ出版
27	人工知能	松本一教:宮原哲浩	オーム社
28	3次元コンピュータビジョン計算ハンドブック	金谷健一:菅谷保之	森北出版
29	これからの強化学習	牧野貴樹:澁谷長史	森北出版
30	コンピューターで「脳」がつくれるか:AIが恋に落ちる日	五木田和也	技術評論社
31	オンライン予測	畑聖晃平:瀧本英二	講談社
32	関係データ学習	石黒勝彦:林浩平	講談社
33	機械学習のための連続最適化	金森敬文:鈴木大慈	講談社
34	Team Geek:Googleのギークたちはいかにしてチームを作るの	ブライアン・W. フィッツパトリック:ベン・コリンズ・サスマン	オライリー・ジャパン(発売:オーム社)
35	メディアリテラシ	植田祐子:増永良文	サイエンス社
36	システムインテグレーション崩壊:これからSterfはどう生き残ればいいのか?	斎藤昌義	技術評論社
37	無敵の天才たち:スティーブ・ジョブズが駆け抜けたシリコンバレーの歴史	ダグ・メニューズ:山形浩生	翔泳社
38	第4次情報革命と新しいネット社会:現代情報ネットワークの歴史的展開	蒲生猛	コムズ
39	みんなのビッグデータ:リアリティ・マイニングから見える世界	ネイサン・イーグル:ケイト・グリーン	NTT出版
40	進化する情報社会	児玉晴男:小牧省三	放送大学教育振興会(発売:NHK出版)
41	よくわかる社会情報学	西垣通:伊藤守(社会学)	ミネルヴァ書房
42	人工知能と21世紀の資本主義:サイバー空間と新自由主義	本山美彦	明石書店
43	表現の自由とアーキテクチャ:情報社会における自由と規制の再構成	成原慧	勁草書房
44	情報システム	萩谷昌己	丸善出版
45	インタラクティブ情報検索システムの評価:ユーザの視点を取り入れる手法	ダイアン・ケリー:上保秀夫	丸善出版
46	情報アクセス評価方法論:検索エンジンの進歩のために	酒井哲也	コロナ社
47	7つのデータベース7つの世界	エリック・レドモンド:ジム・R. ウィルソン	オーム社
48	オープンソースソフトウェアによる情報リテラシー	内海淳:葛西真寿	共立出版
49	Hadoopオペレーション:システム運用管理ガイド	エリック・サマー:玉川竜司	オライリー・ジャパン(発売:オーム社)
50	楽しく学べるデータベース	川越恭二	共立出版
51	ソーシャル・ビッグデータサイエンス入門:基本概念からマイニング技術、応用まで	石川博	コロナ社
52	理論から学ぶデータベース実践入門:リレーションモデルによる効率的なSQL	奥野幹也	技術評論社
53	データベースの気持ちかわかるSQLはじめの一歩	朝井淳	技術評論社
54	SQL実践入門:高速でわかりやすいクエリの書き方	ミック	技術評論社
55	実習データベース:ExcelとAccessで学ぶ基本と活用	内田治:藤原丈史	サイエンス社
56	Sparkによる実践データ解析:大規模データのための機械学習事例集	サンディ・ライザ:ユーリ・ラサーソン	オライリー・ジャパン(発売:オーム社)
57	ユーザーエクスペリエンスの測定:UXメトリクスの理論と実践	トム・タリス:ビル・アルバート	東京電機大学出版局
58	REBOKに基づく要求分析実践ガイド	NTTソフトウェアイノベーションセンター:飯村結香子	近代科学社
59	ソフトウェア要求のためのビジュアルモデル	ジョイ・ビーティ:アンソニー・チェン	日経BP(発売:日経BPマーケティング)
60	ソフトウェア工学の基礎と応用:高品質ソフトウェア開発を目指して	山田茂:田村慶信	数理工学社(発売:サイエンス社)
61	ソフトウェア品質の経済的側面	ケーバズ・ジョーンズ:オリバー・ボンシナー	構造計画研究所(発売:共立出版)
62	機械翻訳	渡辺太郎:今村賢治	コロナ社
63	ソフトウェアエンジニアリング基礎知識体系:SWEBOK, V3. 0	松本吉弘	オーム社
64	トピックモデル	岩田具治	講談社
65	オペレーティングシステムの基礎:ネットワークと融合する現代OS	電子情報通信学会:吉沢康文	オーム社
66	ソフトウェア開発	小泉寿男:辻秀一	オーム社

67	Unix考古学: Truth of the Legend	藤田昭人	ドワンゴ(発売: KADOKAWA)
68	動くメカニズムを図解&実験! Linux超入門: コンピュータの性能を100%引き出すために	宗像尚郎: 海老原祐太郎	CQ出版
69	基礎オペレーティングシステム: その概念と仕組み	毛利公一	数理工学社(発売: サイエンス社)
70	自然言語処理概論	黒橋禎夫: 柴田知秀	サイエンス社
71	アルゴリズムとデータ構造	藤田聡	数理工学社(発売: サイエンス社)
72	アルゴリズムから学ぶJavaプログラミング入門	鶴沢偉伸	技報堂出版
73	型システム入門: プログラミング言語と型の理論	ベンジャミン・C. ピアス: 住井英二郎	オーム社
74	オブジェクト指向のこころ: デザインパターンとともに学ぶ	アラン・シャロウエイ: ジェームズ・R. トロット	丸善出版
75	Fortran90/95による実践プログラミング	安田清和: 水野正隆	大阪大学出版会
76	アンダースタンディングコンピューテーション: 単純な機械から不可能なプログラムまで	トム・スチュアート: 笹田耕一	オライリー・ジャパン(発売: オーム社)
77	Javaによる関数型プログラミング: Java 8ラムダ式とStream	ヴェンカット・サブ라마ニヤム: プログラミングシステム社	オライリー・ジャパン(発売: オーム社)
78	やさしく学べるC言語入門: 基礎から数値計算入門まで	皆本晃弥	サイエンス社
79	並列プログラミング入門: サンプルプログラムで学ぶOpenMPとOpenAC	片桐孝洋	東京大学出版会
80	アルゴリズム設計とデータ構造	平田富夫	サイエンス社
81	Fortranハンドブック: 数値計算に最適なソフトウェアFortran95の基	田口俊弘	技術評論社
82	Effective Modern C++: C++11/14プログラムを進化させる42項目	スコット・マイアーズ: 千住治郎	オライリー・ジャパン(発売: オーム社)
83	R言語徹底解説	ハドリー・ウィッカム: 石田基広	共立出版
84	プログラミング言語Go	アラン・A. ドノバン: プライアン・W. カーニハン	丸善出版
85	アルゴリズム	渋谷哲朗	丸善出版
86	質的心理学ハンドブック	やまだようこ: 麻生武	新曜社
87	教養としての認知科学	鈴木宏昭	東京大学出版会
88	林知己夫の生涯: データサイエンスの開拓者がめざしたものの	丸山久美子	新曜社
89	質的比較分析(QCA)と関連手法入門	ブノワ・リウー: チャールズ・C. レーガン	晃洋書房
90	実証分析入門: データから「因果関係」を読み解く作法	森田果	日本評論社
91	データ解析の実務プロセス入門	あんちべ	森北出版
92	情報セキュリティとプロジェクトにおけるリスクのマネジメント	佐藤直樹	創英社(三省堂書店)
93	仮想通貨の教科書: ビットコインなどの仮想通貨が機能する仕組み	アーヴィン・ナラヤナン: ジョセフ・ポノー	日経BP(発売: 日経BPマーケティング)
94	ファイナンスのためのRプログラミング: 証券投資理論の実践に向けて	大崎秀一: 吉川大介	共立出版
95	ブロックチェーン技術概論: 理論と実践	山崎重一郎: 安土茂亨	講談社
96	経済学で読み解く交通・公共政策	中条潮: 田邊勝巳	中央経済社(発売: 中央経済グループパブ)
97	統計と日本社会: データサイエンス時代の展開	国友直人: 山本拓	東京大学出版会
98	ビッグデータ時代の統計学入門: データサイエンスを支える統計の基本	藤江昌嗣	学文社
99	情報メディア論: テクノロジー・サービス・社会	小泉宣夫: 圓岡偉男	講談社
100	余暇・レジャー & 観光総合統計, 2023		三冬社
101	レジャー白書: 余暇の現状と産業・市場の動向, 2023	日本生産性本部	日本生産性本部(発売: 生産性出版)
102	緊急事態のための情報システム: 多様な危機発生事例から探る課題と展望	バーテル・バンドワール: マレー・トウロフ	近代科学社
103	サイバー戦争論: ナショナルセキュリティの現在	伊東寛	原書房
104	行列プログラマー: Pythonプログラムで学ぶ線形代数	フリップ・N. クライン: 松田晃一	オライリー・ジャパン(発売: オーム社)
105	ヴィジュアルでやさしいグラフへの入門	守屋悦朗	サイエンス社
106	目指すな、求めるな100%: 不安と期待の程度による最適意思決定	小川浩平	大学教育出版
107	戦略的データサイエンス入門: ビジネスに活かすコンセプトとテクニック	フォスター・プロヴォスト: トム・フォーセット	オライリー・ジャパン(発売: オーム社)
108	ナンバーセンス: ビッグデータの嘘を見抜く「統計リテラシー」の身につ	カイザー・ファング: 矢羽野薫	CCCメディアハウス
109	グラフィカルモデル	渡辺有祐	講談社
110	ンパラメトリックベイズ: 点過程と統計的機械学習の数理	佐藤一誠	講談社
111	変分ベイズ学習	中島伸一	講談社
112	調査観察データ解析の実際, 1	星野崇宏: 岡田謙介	岩波書店
113	データ解析におけるプライバシー保護	佐久間淳	講談社
114	機械学習のための確率と統計	杉山将	講談社
115	数値計算入門: C言語版	河村哲也: 桑名杏奈	サイエンス社
116	並列計算の数理とアルゴリズム	フレデリック・マゴールズ: フランソワ・グザヴィエ・ルー	森北出版
117	データ匿名化手法: ヘルズデータ事例に学ぶ個人情報保護	カハレ・エル・エマン: ラック・アルバクル	オライリー・ジャパン(発売: オーム社)
118	今日から使える! MATLAB: 数値計算から古典制御まで	青山貴伸: 蔵本一峰	講談社
119	基礎から学ぶ電気電子・情報通信工学	田口俊弘: 堀内利一	講談社
120	通信理論入門	坂庭好一: 笠井健太	コロナ社
121	信号・システム理論の基礎: フーリエ解析, ラプラス変換, z変換を系統的に学ぶ	足立修一	コロナ社
122	2030年の情報通信技術: 生活者の未来像	NTT技術予測研究会: 篠原弘道	NTT出版
123	スパースモデリング: l1/l0ノルム最小化の基礎理論と画像処理への応用	マイケル・エラド: 玉木徹	共立出版
124	アクティブラーニングで学ぶ情報リテラシー	宇田隆哉: 井上亮文	コロナ社
125	インターネットバックボーンネットワーク: MPLS, GMPLS, フォトニックとSDNを理解す	山中直明	電気通信協会(発売: オーム社)
126	ソーシャルコンピューティング入門: 新しいコンピューティングパラダイムへの道標	増永良文	サイエンス社
127	IPv6ネットワーク構築実習	前野譲二: 鈴田伊知郎	共立出版
128	初めてのPHP, MySQL, JavaScript & CSS	ロビン・ニコソン: 永井勝則	オライリー・ジャパン(発売: オーム社)
129	OpenFlow徹底入門: SDNを実現する技術と知識	馬場達也: 大上貴充	翔泳社
130	ns3によるネットワークシミュレーション	銭飛	森北出版
131	ネットワークセキュリティ	電子情報通信学会: 佐々木良一	オーム社
132	ハイパフォーマンスブラウザネットワーク: ネットワークアプリケーションのためのパフォーマンス	イリヤ・グリゴリク: 和田祐一郎	オライリー・ジャパン(発売: オーム社)
133	jQuery本格入門: JavaScript開発・デザイン効率化の基礎から	沖林正紀	技術評論社
134	プログラミングASP.NET SignalR	ホセ・M. アギラール: 井上章	日経BP(発売: 日経BPマーケティング)
135	情報ネットワークの分散制御と階層構造	会田雅樹	コロナ社
136	情報ネットワーク科学入門	村田正幸: 成瀬誠	コロナ社

137	IoTは日本企業への警告である:24時間「機械に監視される時代」のビジネスの条件	齋藤ウィリアム浩幸	ダイヤモンド社
138	情報ネットワークの数理と最適化:性能や信頼性を高めるためのデータ構造とアルゴリズム	巳波弘佳:井上武	コロナ社
139	Java EE 7徹底入門:標準Javaフレームワークによる高信頼性Webシス	寺田佳央:猪瀬淳	翔泳社
140	基本からわかる情報通信ネットワーク講義ノート	大塚裕幸:小川猛志	オーム社
141	Go言語によるWebアプリケーション開発	マツ・ライヤー:鶴飼文敏	オライリー・ジャパン(発売:オーム社)
142	M2M/IoTシステム入門	電気学会	森北出版
143	インターネット・バイ・デザイン:21世紀のスマートな社会・産業インフラの創造へ	江崎浩	東京大学出版会
144	データ分析によるネットワークセキュリティ	マイケル・コリンズ:中田秀基	オライリー・ジャパン(発売:オーム社)
145	基礎からのWebアプリケーション開発入門:Webサーバを作りながら学ぶ	前橋和弥	技術評論社
146	かんたんネットワーク入門:イラストでわかるネットワークのしくみ	三輪賢一	技術評論社
147	はじめてのASP.NET SPA開発入門	古賀慎一	日経BP(発売:日経BPマーケティング)
148	情報アーキテクチャ:見つけやすく理解しやすい情報設計	ルイス・ローゼンフェルド:ピーター・モービル	オライリー・ジャパン(発売:オーム社)
149	データを集める技術:最速で作るスクレイピング&クロウラー	佐々木拓郎	SBクリエイティブ
150	デジタル画像技術事典200:動画/静止画/加工/認識/圧縮/伝送/表示/ライブ	インターフェース編集部	CQ出版
151	2Dグラフィックスのしくみ:図解でよくわかる画像処理技術のセオリー	FireAlpaca開発チーム	技術評論社
152	Oと1の話:ブール代数とシャノン理論	ポール・J. ナーイン:松浦俊輔	青土社
153	論理回路入門	菅原一孔	数理工学社(発売:サイエンス社)
154	コンピュータ工学概論:コンピュータはなぜ計算ができるのか?	荒木健治	オーム社
155	コンピュータの基礎	村岡洋一	コロナ社
156	実践によるコンピュータアーキテクチャ:MIPSプロセッサで学ぶアーキテクチャの基礎	中條拓伯:大島浩太	数理工学社(発売:サイエンス社)
157	DEOS:変化しつづけるシステムのためのディペンダビリティ	所真理雄	近代科学社
158	論理回路:基礎と演習	房岡璋:小柳滋	共立出版
159	計算機学入門:デジタル世界の原理を学ぶ	阿曾弘具	共立出版
160	フラットデザインで考える新しいUIデザインのセオリー	宇野雄	技術評論社
161	コンピュータと表現:人間とコンピュータの接点	平川正人	数理工学社(発売:サイエンス社)
162	コンピュータ工学への招待	柴山潔	近代科学社
163	スパコンを知る:その基礎から最新の動向まで	岩下武史:片桐孝洋	東京大学出版会
164	コンピューター&テクノロジー解体新書:ビジュアル版	ロン・ホワイト:ティモシー・エドワード・ダウンス	SBクリエイティブ
165	進化するヒトと機械の音声コミュニケーション		エヌ・ティー・エス
166	ヒューマンコンピュータインタラクション	岡田謙一:西田正吾	オーム社
167	音声認識システム	河原達也	オーム社
168	論理回路	今井正治	オーム社
169	万能コンピュータ:ライブニッツからチューリングへの道すじ	マーティン・デーヴィス:沼田寛	近代科学社
170	ROSプログラミング	銭飛	森北出版
171	PICではじめるアナログ回路	後閑哲也	技術評論社
172	FPGAの原理と構成	天野英晴:尼崎太樹	オーム社
173	物流コスト調査報告書 2022年度	日本ロジスティクスシステム協会JILS総	日本ロジスティクスシステム協会
174	交通経済統計要覧:数字で見る交通経済. 2021(令和3)年版	国土交通省総合政策局情報政策課	運輸総合研究所
175	観光ビジネス未来白書:統計に見る実態・分析から見える未来戦略. 2023年版	加藤弘治	同友館
176	モバイルデザインパターン:ユーザーインターフェースのためのパターン集	テレサ・ニール:深津貴之	オライリー・ジャパン(発売:オーム社)
177	人狼知能:だます・見破る・説得する人工知能	鳥海不二夫:片上大輔	森北出版
178	数理言語学事典	畠山雄二:本田謙介	産業図書
179	言語天文台からみた世界の情報格差	三上喜貴:中平勝子	慶應義塾大学出版会
180	文字入力とテクノロジー	山田尚勇:岡留剛	くろしお出版

【資料 6-2】 図書等購入リスト(和書電子書籍)

連番	書名	著者名	出版社
1	人工知能の方法:ゲームからWWWまで	伊庭齊志	コロナ社
2	オートマトン・形式言語理論	広瀬貞樹	コロナ社
3	自動人形の城:人工知能の意図理解をめぐる物語	川添愛	東京大学出版会
4	白と黒のとびら:オートマトンと形式言語をめぐる冒険	川添愛	東京大学出版会
5	Pythonによるテキストマイニング入門	山内長承	オーム社
6	強化学習と深層学習:C言語によるシミュレーション	小高知宏	オーム社
7	Chainer v2による実践深層学習	新納浩幸	オーム社
8	Pythonによる機械学習入門	システム計画研究所	オーム社
9	坂本真樹先生が教える人工知能がほぼわかる本	坂本真樹	オーム社
10	人工知能と社会:2025年の未来予想	AIX:栗原聡	オーム社
11	実装ディープラーニング:深層学習	藤田一弥:高原歩	オーム社
12	一人称研究のすすめ:知能研究の新しい潮流	諏訪正樹:堀浩一	近代科学社
13	人工知能とは	松尾豊:中島秀之	近代科学社
14	Rubyで数独:AIプログラミング入門	佐藤理史	近代科学社
15	超実践アンサンブル機械学習	武藤佳恭	近代科学社
16	情報と職業	駒谷昇一:辰巳丈夫	オーム社
17	RIによるデータマイニング入門	山本義郎:藤野友和	オーム社
18	LibreOfficeで学ぶ情報リテラシー	畔津忠博:吉永敦征	東京電機大学出版局
19	学生のための情報リテラシー, Office 2016/Win	若山芳三郎	東京電機大学出版局
20	デジタル・フォレンジックの基礎と実践	佐々木良一:上原哲太郎	東京電機大学出版局
21	データベースと知識発見	北上始:黒木進	コロナ社
22	基礎から学ぶデータマイニング	中田豊久	コロナ社
23	コンピュータ科学とプログラミング入門:コンピュータとアルゴリズムの基礎	小高知宏	近代科学社
24	データ市場:データを活かすイノベーションゲーム	大澤幸生:早矢仕晃章	近代科学社
25	C言語で学ぶコンピュータ科学とプログラミング	小高知宏	近代科学社
26	データ仮説構築:データマイニングを通して	岩下基	近代科学社
27	自然言語処理と深層学習:C言語によるシミュレーション	小高知宏	オーム社
28	ソフトウェア工学	岸知二:野田夏子	近代科学社
29	アルゴリズムとデータ構造	藤原暁宏	森北出版
30	アルゴリズムとデータ構造	平田富夫	森北出版
31	コンピュータグラフィックス	佐藤淳	森北出版
32	エクストリームプログラミング	ケント・ベック:シンシア・アンドレス	オーム社
33	リファクタリング	設楽秀輔:テクノロジーアート	東京電機大学出版局
34	学生のためのExcel VBA	若山芳三郎	東京電機大学出版局
35	ARMマイコンによる組み込みプログラミング入門:ロボットで学ぶC言語	ロボット実習教材研究会:ウイストン	オーム社
36	アルゴリズムの基礎とデータ構造:数理とCプログラム	浅野孝夫	近代科学社
37	グラフ・ネットワークアルゴリズムの基礎:数理とCプログラム	浅野孝夫	近代科学社
38	ビル・ゲイツ. 1	脇英世	東京電機大学出版局
39	ビル・ゲイツ. 2	脇英世	東京電機大学出版局
40	集合論による社会的カテゴリー論の展開:ブール代数と質的比較分析の応用	石田淳	勁草書房
41	プライバシー保護入門:法制度と数理的基礎	中川裕志	勁草書房
42	システム方法論:システム的なものの見方・考え方	岩下基	コロナ社
43	自己組織化する複雑ネットワーク:空間上の次世代ネットワークデザイン	林幸雄	近代科学社
44	精霊の箱:チューリングマシンをめぐる冒険. 下	川添愛	東京大学出版会
45	精霊の箱:チューリングマシンをめぐる冒険. 上	川添愛	東京大学出版会
46	Rで学ぶ統計データ分析:マーケティングデータを分析しながら正しい理論と分析	本橋永至	オーム社
47	SAS Studioによるやさしい統計データ分析	高浪洋平:舟尾暢男	オーム社
48	経済・経営のための統計教室:データサイエンス入門	小林道正	裳華房
49	はじめての統計データ分析:バイズ的(ポストp値時代)の統計学	豊田秀樹	朝倉書店
50	現場主義統計学のすすめ:野外調査のデータ解析	島谷健一郎:宮岡悦良	近代科学社
51	IT技術者の長寿と健康のために	情報通信医学研究所:長野宏宣	近代科学社
52	電気電子計測	南谷晴之:福田誠(理学)	オーム社
53	信号処理の基礎	横田康成	森北出版
54	基本からわかる信号処理講義ノート	久保田彰:神野健哉	オーム社
55	ネットワーク技術の基礎	宮保憲治:田窪昭夫	森北出版
56	ネットワーク:目には見えないしくみを構成する技術	井口信和	森北出版
57	情報ネットワーク教科書	高田伸彦:南俊博	東京電機大学出版局
58	通信方式	守倉正博	オーム社
59	情報ネットワーク概論:ネットワークとセキュリティの技術とその理論	井関文一:金光永煥	コロナ社
60	ネットワーク工学	村上泰司	森北出版
61	情報通信ネットワークの基礎	宇野新太郎	森北出版
62	マスタリングTCP/IP. OpenFlow編	あきみち:宮永直樹	オーム社
63	情報通信ネットワーク	阪田史郎:井関文一	オーム社
64	情報通信ネットワーク	滝根哲哉	オーム社
65	分散システム:P2Pモデル	滝沢誠:榎戸智也	コロナ社
66	ネット炎上の研究:誰がおり、どう対処するのか	田中辰雄:山口真一	勁草書房
67	ネットワークセキュリティ	菊池浩明:上原哲太郎	オーム社
68	Linked Data:Webをグローバルなデータ空間にする仕組み	トム・ヒース:クリスチャン・バイツァー	近代科学社
69	ウェブユニバーサルデザイン	NTTサービスエボリューション研究所:渡辺昌洋	近代科学社

70	モバイルネットワーク時代の情報倫理:被害者・加害者にならないためのメディアリテラシー	山住富也	近代科学社
71	はじめての論理回路	河辺義信	森北出版
72	基礎から学べる論理回路	速水治夫	森北出版
73	論理回路入門	浜辺隆二	森北出版
74	コンピュータアーキテクチャ	成瀬正	森北出版
75	たのしくできるArduino電子制御:Processingでパソコンと連携	牧野浩二	東京電機大学出版局
76	論理回路	曾和将容・範公可	コロナ社
77	C言語によるはじめて学ぶ信号処理	大石邦夫	コロナ社
78	ストレージ技術:クラウドとビッグデータの時代	喜連川優	オーム社
79	体験する!! オープンソースハードウェア:NanoPi NEO, Arduino他で楽しむ	武藤佳恭	近代科学社
80	マルチメディア	今井崇雅	近代科学社
81	データサイエンティスト・ハンドブック	丸山宏・山田敦	近代科学社
82	観光マーケティングの現場:ブランド創出の理論と実践	吉田春生	大学教育出版
83	固有価値の地域観光論:京都の文化政策と市民による観光創造	冨本真理子	水曜社
84	観光情報学入門	観光情報学会:松原仁	近代科学社
85	文化ツーリズム学	菊地俊夫:松村公明	朝倉書店
86	観光の事典	白坂蕃:稲垣勉	朝倉書店
87	観光政策への学際的アプローチ	高崎経済大学地域科学研究所	勁草書房
88	デービッド・アトキンソン新・観光立国論:イギリス人アナリストが提言する21世紀の「所得倍増	デービッド・アトキンソン	東洋経済新報社
89	里山観光の資源人類学:京都府美山町の地域振興	堂下恵	新曜社
90	観光地のアメニティ:何が観光客を引きつけるか	田村正紀:大津正和	白桃書房
91	地域観光事業のススメ方:観光立国実現に向けた処方箋	井門隆夫	大学教育出版
92	コーパスと自然言語処理	前川喜久雄:松本裕治	朝倉書店

【資料 6-3】 図書等購入リスト(洋書)

連番	書名	著者名	出版社名
1	Learning Data Science : Data Wrangling, Exploration, Visualization, and Modeling with Python	Lau, Sam/ Gonzalez, Joseph/ Nolan, Deborah	O'Reilly Media
2	Designing an Internet (Information Policy)	Clark, David D.	MIT Press
3	Data Mining : Concepts, Models, Methods, and Algorithms	Kantardzic, Mehmed	Wiley
4	Data Science Landscape : Towards Research Standards and Protocols (Studies in Big Data)	Munshi, Usha Mujoo (EDT)/ Verma, Neeta (EDT)	Springer
5	Practical Data Science : A Guide to Building the Technology Stack for Turning Data Lakes into Business Assets	Vermeulen, Andreas Franois	Apress
6	Combating Security Challenges in the Age of Big Data : Powered by State-of-the-Art Artificial Intelligence Techniques (Advanced Sciences and Technologies for Security Applications)	Fadlullah, Zubair (EDT)/ Pathan, Al-Sakib Khan (EDT)	Springer
7	Laboratory Experiments in Information Retrieval : Sample Sizes, Effect Sizes, and Statistical Power (Information Retrieval)	Sakai, Tetsuya	Springer
8	Python Data Analytics : With Pandas, NumPy, and Matplotlib	Nelli, Fabio	Apress
9	Social Media Data Mining and Analytics	Szabo, Gabor/ Boykin, Oscar	Wiley
10	Programming with Python for Social Scientists	Brooker, Phillip	Sage Publications Ltd
11	The Enterprise Big Data Lake : Delivering the Promise of Big Data and Data Science	Gorelik, Alex	O'Reilly Media
12	Mathematics of Big Data : Spreadsheets, Databases, Matrices, and Graphs (Mathematics of Big Data)	Kepner, Jeremy/ Jananathan, Hayden/ Leiserson, Charles E. (FRW)	MIT Press

教 育 課 程 等 の 概 要

(情報マネジメント学部 情報マネジメント学科)

科 区 目 分	授 業 科 目 の 名 称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単 位 数			授 業 形 態			基 幹 教 員 等 の 配 置					基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 を 除 く)	備 考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 礎 科 目	文章表現	1前		2			○								1	オ ム ニ バ ス
	口頭表現	1後		2			○								1	
	基礎数学	1前・1後		2			○								1	
	AI・DSへのいざない	1前・1後		2			○			1					4	
	健康科学	1前・1後		2			○								1	
	情報基礎 I	1前		1								○			1	
	情報基礎 II	1後		1								○			1	
	基礎演習 I	1前		1					○	8	4					
	基礎演習 II	1後		1					○	8	4					
小計(9科目)				14	0	0	—			8	4	0	0	0	8	
言 語 科 目	英語 IA	1前		1			○								1	留 学 生 科 目
	英語 IB	1前		1			○								1	
	英語 IIA	1後		1			○								1	
	英語 IIB	1後		1			○								1	
	日本語 I	1前		2			○								1	
	日本語 II	1後		2			○								1	
小計(6科目)				4	0	0	—			0	0	0	0	0	3	
教 養 科 目	フランス語 I	1前			1		○								1	オ ム ニ バ ス
	フランス語 II	1後			1		○								1	
	ドイツ語 I	1前			1		○								1	
	ドイツ語 II	1後			1		○								1	
	中国語 I	1前			1		○								1	
	中国語 II	1後			1		○								1	
	時事英語 I	2前			1		○								1	
	時事英語 II	2後			1		○								1	
	ビジネス英語 I	2前			1		○								1	
	ビジネス英語 II	2後			1		○								1	
	Basic Grammar I	1前			1		○								1	
	Basic Grammar II	1後			1		○								1	
	TOEIC®向上講座 I	2前			2		○				1				1	
	TOEIC®向上講座 II	2後			2		○								1	
	Speaking I	2前			1		○								2	
	Speaking II	2後			1		○								2	
	Writing I	2前			1		○								3	
	Writing II	2後			1		○								3	
	Listening I	2前			1		○								3	
	Listening II	2後			1		○								3	
	Debate I	2前			1		○								1	
	Debate II	2後			1		○								1	
	敬天愛人講座	1前・1後			2		○			1					11	
敬愛プログラム	1後			2			○							1		
スポーツ教育 I	1前			1								○		1		
スポーツ教育 II	1後			1								○		1		

科区	目分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考			
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外の教員		
		哲学	1後			2		○									1		
		心理学	1前			2		○										1	
		社会心理学	1後			2		○										1	
		歴史学	1後			2		○										1	
		文学	1前			2		○										1	
		法学	1前・1後			2		○										1	
		憲法	1前・1後			2		○										1	
		政治学	1前			2		○										1	
		社会学	1後			2		○										1	
		数学Ⅰ	1前			2		○										1	
		数学Ⅱ	1後			2		○										1	
		統計学Ⅰ	1前			2		○										1	
		統計学Ⅱ	1後			2		○										1	
		英語で学ぶPython	1後			2		○				1							
		環境科学	1前			2		○										1	
		ボランティア活動	1前			2		○										1	
		小計（42科目）		—			0	62	0	—			1	1	0	0	0		32
キャリア科目	キャリアデザインを学ぶ	1前			2		○										1		
	キャリアプランニング	1後			2		○										1		
	キャリアディベロップメント	2前			2		○										1		
	企業の魅力発見	2後			2		○										1		
	実践的キャリア演習Ⅰ	3前			2		○										1		
	実践的キャリア演習Ⅱ	3後			2		○										1		
	ブレインターンシップ	3前			2		○										1		
	インターンシップ	3後			1					○							1		
	ポストインターンシップ	3後			2		○										1		
小計（9科目）		—			4	13	0	—			0	0	0	0	0		4		
専門科目	導入科目	経営学概論	1前	○	2		○				1								
	経済学概論	1後	○	2		○					1								
	情報概論	1前	○	2		○					1								
	経営情報論	1後	○	2		○					1								
	ビッグデータマネジメント	1後	○	2		○					1								
	小計（5科目）		—			10	0	0	—			3	1	0	0	0		0	
基礎科目	経営戦略論	2前			2		○				1								
	マーケティング論	2前	○		2		○					1							
	地域経済論	2前			2		○				1								
	AI概論	2前			2		○				1								
	DS概論	2後	○		2		○				1						1		
	プログラミング (Python)	2前			2		○												
	生成系AI入門	2後			2		○				1								
小計（7科目）		—			0	14	0	—			4	1	0	0	0		1		
展開科目	流通経営論	2前			2		○				1								
	観光概論	2前	○		2		○				1								
	消費者行動論	2後			2		○					1							
	地域資源論	2後			2		○				1								
	ロジスティクス（物流管理）論	2後			2		○					1							
	サービスマーケティング論	2前			2		○					1							
	デジタルマーケティング論	2後			2		○					1							
	観光マーケティング	2後			2		○				1								
	地方創生論	2前	○		2		○				1								

科 目 区 分	授業科目の名称	配当 年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助手を除く)	備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
	千葉県の産業と行政	2前			2		○				1						
	千葉の観光研究	2後			2		○				1						
	観光政策論	2前			2		○				1						
	地域分析論	2前			2		○					1					
	交通経済学	2後			2		○				1						
	観光事業論Ⅰ	2前			2		○				1						
	観光事業論Ⅱ	2後			2		○				1						
	旅行産業論	2前			2		○				1						
	宿泊産業論	2後			2		○				1						
	航空産業論	2前			2		○				1						
	地域観光論	2前			2		○				1						
	国際観光論	2後			2		○				1						
	情報マネジメント特別講義A	3前			2		○				1						
	情報マネジメント特別講義B	3後			2		○				1						
	経済市場分析A	3前			2		○									1	
	経済市場分析B	3後			2		○									1	
	観光市場分析	3前			2		○					1					
	ビジネスデータ解析	3後			2		○					1					
	GIS(地理空間情報システム)分析	2前			2		○					1					
	不動産市場分析	2後			2		○					1					
	会計情報と経営分析	2後			2		○				1						
	ビジネスデータ分析手法A	2後			2		○				1						
	ビジネスデータ分析手法B	2後			2		○									1	
	ビジネスデータ分析手法C	2前			2		○									1	
	AI・データサイエンス経営実践	2前			2		○				1						
	観光地経営実践	3前			2		○				1						
	アルゴリズム論	2前			2		○				1						
	情報セキュリティ論	2後			2		○				1						
	AI特講	2前			2		○				1						
	プログラミング(R)	2前			2		○									1	
	自然言語処理	3後			2		○				1						
	情報ガバナンス	3後			2		○									1	
	情報英語Ⅰ	3前			2		○					1					
	情報英語Ⅱ	3後			2		○					1					
	小計(43科目)	—			0	86	0	—			8	4	0	0	0	3	
演習科目	専門導入演習Ⅰ	2前	○		1			○			8	4					
	専門導入演習Ⅱ	2後	○		1			○			8	4					
	専門演習Ⅰ	3前	○		1			○			8	4					
	専門演習Ⅱ	3後	○		1			○			8	4					
	卒業演習Ⅰ	4前	○		1			○			8	4					
	卒業演習Ⅱ	4後	○		1			○			8	4					
	卒業論文・卒業研究	4後	○		2			○			8	4					
	小計(7科目)	—	—		8	0	0	—			8	4	0	0	0	0	
	合計(128科目)	—	—		40	175	0	—			8	4	0	0	0	47	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学位又は称号		学士(情報マネジメント学)		学位又は学科の分野			経済学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
必修科目40単位、基礎科目の教養科目の選択科目から16単位、キャリア科目の選択科目から2単位、専門科目の基礎科目の選択科目から8単位、専門科目の展開科目の選択科目から48単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 履修科目の登録の上限：1年～4年 42単位（年間）							1学年の学期区分			2期					
							1学期の授業期間			15週					
							1時限の授業時間			90分					

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

(1) 新設組織の概要

- ① 新設組織の概要
- ② 新設組織の特色
 1. 教育研究上の目的
 2. 養成する人材
 3. 新設組織と関連する既設組織

(2) 人材需要の社会的な動向等

- ① 新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析
 1. 現代社会を取り巻く情勢
 2. 地域的、社会的動向 — 人材需要に関する調査結果より —
- ② 中長期的な18歳人口等対象人口の全国的、地域的動向の分析
 1. 千葉県高等学校及び中学校の在籍者数 — 開設から5年間 —
 2. 千葉県の小学校の在籍者数 — 開設から6年目以降 —
 3. 千葉県高等学校を卒業した者の大学進学状況
- ③ 新設組織の主な学生募集地域
 1. 新設組織の主な学生募集地域
 2. 新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況等
- ④ 既設組織の定員充足の状況

(3) 学生確保の見通し

- ① 学生確保に向けた具体的な取組みと見込まれる効果
 - ア 既設組織における取組とその目標
 - イ 新設組織における取組とその目標
 1. 学生確保のためのPR活動
 2. 高等学校訪問
 3. オープンキャンパス
 4. 高校教員向け説明会
 5. 進学相談会
 - ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数
- ② 競合校の状況分析
 - ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析、有意性
 1. 競合校の選定理由
 2. 競合校との比較分析

- イ 競合校の入学志願動向等
 - ウ 新設組織において定員を充足できる根拠等 (該当なし)
 - エ 学生納付金等の金額設定の理由
- ③ 先行事例分析 (該当なし)
 - ④ 学生確保に関するアンケート調査
 - ⑤ 人材需要に関するアンケート調査
- (4)新設組織の定員設定の理由

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 新設組織の概要

① 新設組織の概要

新設組織	入学定員	収容定員	所在地 (教育研究を行うキャンパス)
敬愛大学 情報マネジメント学部 情報マネジメント学科	50	200	稲毛キャンパス 千葉県千葉市稲毛区穴川 1丁目5番21号

② 新設組織の特色

1 教育研究上の目的

情報マネジメント学部情報マネジメント学科では、幅広い教育基盤に支えられた豊かな人間性と高い職業観、生涯にわたり自発的な学習を継続する態度を養うとともに、超スマート社会(Society5.0)を前提とする経営学分野に関する基礎的な知識の習得のもとに、地方創生・地域活性化に資する社会・経済現象について、最新の情報技術から生まれるICTスキルや統計分析などデータサイエンスの知識や技能をマネジメントの視点で適切に活用し、第三次産業を中心とした企業及び自治体の事業企画・管理・運営のために創造的かつ実践的に活用できる能力を育てることを教育上の目的とする。

2 養成する人材

情報マネジメント学部情報マネジメント学科では、現代社会に関する幅広い知識の理解と自己表現や情報活用に関する能力および社会の一員としての望ましい心構えや生涯学習力の習得とともに、営利・非営利事業体の運営や管理に関する知識に加えて、ICT技術の発展に支えられた情報処理の原理を科学的に理解し、また、その社会に及ぼす正負の影響力を十分に理解したうえで、経営内外の関連データを適切に選択された分析ソフトウェアで活用・運用する能力を身につけ、地域の課題解決と発展のために創造的に貢献することで、本学の建学の精神『敬天愛人』を実践できる人材を養成することを目的とする。

3 新設組織と関連する既設組織

組織名称	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地 (新設組織開設後の予定)
敬愛大学 経済学部 経営学科	130	2年次 1 3年次 1	525	千葉県千葉市稲毛区穴川 1丁目5番21号 (新設組織開設後の予定はない)

(2) 人材需要の社会的な動向等

① 新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

1 現代社会を取り巻く情勢

現代社会では、コンピュータの処理能力やネットワーク技術の向上に伴い、企業や自治体でのコンピュータ活用も大きく変化しており、特に企業では最新のIT技術を導入してビッグデータの収集が行い易い環境となっており、継続的に発展し続ける情報化社会においては、大量のデータから有益な知見や洞察を導き出すことをはじめ、変化に対応した新たな考え方や知識と能力が求められている。

情報処理推進機構IPAの「DX白書2021 日米比較調査に見るDXの戦略、人材、技術」では、日本企業は「適切な情報を必要なタイミングで取り出せる」ことや「部門間で標準化したデータ分析基盤の実現」といったビジネスニーズへの対応が十分できておらず、その原因として「全社的なデータ利活用の方針や文化がない」「データ管理システムが整備されていない」「人材の確保が難しい」等の課題があるとしており、「日本企業においても組織的な対策が望まれる」としている。(資料 1)「DX白書2021 日米比較調査にみるDXの戦略、人材、技術 ーより引用 ー」

インターネットの普及やコンピュータのデータ処理速度が上がり、膨大なデータを効率的に扱える現代社会においては、ビジネスの視点からデータを解釈し、深く洞察することにより、データ分析の結果をビジネスの企画や改善につなげるとともに、AIや統計などの様々な手法を用いて、大量のデータの中から有益な情報を導き出すことができ、ビジネスの課題解決に活用することのできる人材の養成が求められている。

2 地域的、社会的動向 ー人材需要に関する調査結果よりー

情報マネジメント学部の設置計画を策定するうえで、情報マネジメント学部の設置が人材需要の動向等、社会の要請を踏まえたものであることを客観的根拠となるデータから検証することを目的として、本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、情報マネジメント学部で養成する人材や卒業生に対する採用意向等に関するアンケート調査を実施した。

その結果、今後における採用見込みについては、回答件数137件の約79.6%にあたる109件が「増加すると思う」と回答しており、情報マネジメント学部で養成する人材の必要性については、回答件数137件の約97.8%にあたる134件が「必要性を感じる」と回答しているとともに、情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用については、回答件数137件の約94.9%にあたる130件が「採用したいと思う」と回答している。

また、情報マネジメント学部で養成する人材の必要性について、「必要性を感じる」と回答した民間企業等で、情報マネジメント学部で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答した民間企業等のうち、単年度当りの卒業生の採用人数を「1人」と回答したのは16件、

「2人」と回答したのは10件、「3人以上」と回答したのは21件、「人数は未定」と回答したのは83件となっており、「採用人数3人以上」と回答した採用人数を「3人」とし、「人数は未定」と回答した採用人数を「1人」として採用人数を合計すると182人となる。(資料2) ※調査報告書「抜粋」

このような人材需要に関する調査結果からも、情報マネジメント学部で養成する人材が、地域的、社会的動向を踏まえたものであることがうかがえる。

② 中長期的な18歳人口等対象人口の全国的、地域的動向の分析

1 千葉県の高専及び中学校の在籍者数－開設から5年間－

令和5年度の学校基本調査によると、情報マネジメント学部の開設初年度に受験対象者となる千葉県内の高専に在籍している2年生の生徒数は45,913人、開設2年目に受験対象者となる高専に在籍している1年生の生徒数は46,788人となっている。(資料3) ※学校基本調査：「年度別千葉県内の高専・中学校・小学校の在籍者数」

また、情報マネジメント学部の開設3年目に受験対象者となる千葉県内の中学校に在籍している3年生の生徒数は52,902人、開設4年目に受験対象者となる中学校に在籍している2年生の生徒数は51,814人、開設5年目に受験対象者となる中学校に在籍している1年生の生徒数は51,275人となっている。(資料3) ※学校基本調査：「年度別千葉県内の高専・中学校・小学校の在籍者数」

なお、千葉県内の中学校を卒業した者の高専等への進学率の過去5年間の平均は98.9%となっており、千葉県内の中学校を卒業した者の高専等への進学率を見ても、今後、千葉県内の大学受験対象者が大きく減少することはなく、中長期的な学生確保の見通しがあるものと考えられる。(資料4) ※学校基本調査：「年度別千葉県内の中学校を卒業した者の高専等への進学率等」

2 千葉県的小学校の在籍者数－開設から6年目以降－

令和5年度の学校基本調査によると、情報マネジメント学部の開設6年目に受験対象者となる千葉県内の小学校に在籍している6年生の児童数は51,546人、7年目に受験対象者となる小学校に在籍している5年生の児童数は50,574人となっている。

また、8年目に受験対象者となる千葉県内の小学校に在籍している4年生の児童数は49,963人、9年目に受験対象者となる小学校に在籍している3年生の児童数は50,150人、10年目に受験対象者となる小学校に在籍している2年生の児童数は49,778人となっている。(資料3) ※学校基本調査：「年度別千葉県内の高専・中学校・小学校の在籍者数」

このように千葉県内の小学校に在籍している児童数からも、情報マネジメント学部の開設から10年間に千葉県内の大学受験対象者が大きく減少することはなく、中長期的な学生確保の見通しがあるものと考えられる。

3 千葉県の上高等学校を卒業した者の大学進学状況

学校基本調査によると、千葉県内の高等学校を卒業した者の大学等進学状況は、令和5年は卒業生45,820人のうち大学等進学者は28,642人で大学等進学率は62.5%、令和4年は卒業生46,852人のうち大学等進学者は28,763人で大学等進学率は61.4%、令和3年は卒業生48,202人のうち大学等進学者は28,068人で大学等進学率は58.2%、令和2年は卒業生48,289人のうち大学等進学者は27,030人で大学等進学率は56.0%、令和元年は卒業生48,998人のうち大学等進学者は26,975人で大学等進学率は55.1%となっている。

また、千葉県内の高等学校を卒業した者の過去5年間の大学等進学率は、令和元年の55.1%から毎年増加の傾向を辿りながら、令和5年は62.5%と7.4ポイント上昇しており、18歳人口の減少期においても安定した状況で推移していることから、中長期的な定員充足の見通しがあると考えられる。(資料 5) ※学校基本調査：「年度別千葉県内の高等学校を卒業した者の大学進学率等」

③ 新設組織の主な学生募集地域

1 新設組織の主な学生募集地域

情報マネジメント学部における主な学生募集地域は、千葉県を中心としつつ隣接している東京都、茨城県としている。

令和5年度の学校基本調査による直近年度における出身高校の所在地県別の入学者数の構成比(上位5府県)をみると、千葉県38.9%、東京都16.6%、茨城県8.0%、埼玉県7.3%、神奈川県3.3%となっている。(資料 6) ※「別紙 1 出身高校の所在地県別の入学者数の構成比(上位5都道府県) ※直近年度」

また、本学の既設学部における直近5年間の都道府県別の入学者の状況をみると、千葉県、東京都、茨城県内の高等学校を卒業した者の割合は、入学者総数2,251人に対して、千葉県約78.1%(入学者1,759人)、東京都約5.3%(入学者119人)、茨城県約2.4%(入学者55人)となっており、既設学部における直近5年間の入学状況から千葉県、東京都、茨城県の高等学校を卒業した者の本学への入学の傾向は今後も続くことが見込まれる。(資料 7) ※「敬愛大学の既設学部の県別入学者数等」

このように出身高校の所在地県別の入学者数の構成比及び本学の既設学部における直近5年間の都道府県別の入学者の状況から、情報マネジメント学部における学生募集地域の設定は妥当性のあるものと考えられる。

2 新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況等

日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願動向」における「地域別の動向」によると、情報マネジメント学部を設置する「千葉」の直近3年間の入学定員充足率は、令和3年度は101.09%、令和4年度は98.90%、令和5年度は97.41%となっており、安定した定員充足状況を維持している。

(資料 8) ※「別紙 1 新設組織が置かれている都道府県の定員充足状況」

また、日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願動向」における「学部系統別の動向」の系統区分「社会科学系」の直近3年間の入学定員充足率は、令和3年度は101.56%、令和4年度は102.73%、令和5年度は102.70%となっており、安定した定員充足状況となっている。(資料9) ※「別紙1 新設組織の学問分野(系統区分)の定員充足状況」

④ 既設組織の定員充足の状況

既設学科等の収容定員の充足状況及び既設学科等の入学定員の直近5年間の充足状況については、別紙2-1、別紙2-2、並びに別紙2-3の通りとなっており、18歳人口の減少期においても安定した定員充足の状況を維持していることから、今後の定員充足についても十分な見通しがあると考えている。(資料10) ※「別紙2-1、2-2、2-3 既設学科等の入学定員の充足状況(直近5年間)」

(3) 学生確保の見通し

① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

新設組織と近接する学問分野を持つ既設組織の経済学部の学生募集のためのPR活動の過去4年間の実績については、別紙資料11の別紙3-1の通りとなっており、オープンキャンパスにおいては、参加者等総数2,087人のうち約27.7%に当たる579人が入学しており、進学ガイダンスにおいては、参加者等総数4,671人のうち約2.8%に当たる131人が入学している。

また、大学案内及び学生募集要項等の資料請求においては、資料請求者総数53,548人のうち約2.3%に当たる1,228人が入学しており、18歳人口の減少期においても安定した定員充足の状況を維持していることから、今後の定員充足についても十分な見通しがあると考えている。(資料11) ※「別紙3-1、3-2、3-3、3-4 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績」

なお、進学ガイダンス及び資料請求者については、志望学部等未確定者が多いため、学部別ではなく「全学ベース」での集計としている。

イ 新設組織における取組とその目標

1 学生確保のためのPR活動の方針等

学生確保のためのPR活動については、大学案内やキャンパスガイド、パンフレット等の印刷物の配布をはじめ、ホームページや高校生向けのSNS等の電子媒体による情報の提供、新聞、雑誌、車内広告等の各種メディアを活用したPR活動を行うとともに、資料等請求者に対するダイレクトメールによる各種情報の提供を行うこととしている。

また、高等学校訪問、オープンキャンパス、高校教員向け説明会、保護者向け説明会をはじめ各地域における進学相談会などの開催を通じて、学部・学科の理念、養成する人材像、学位授与方針・教育課程編成の方針・入学者の受入方針、学生生活を通じた活動や想定される進路など、様々な教育情報について、高校生や保護者に対して広く周知を図るこ

ととしている。

2 高等学校訪問

高校訪問を中心とする個別募集活動に向けた募集戦略の強化を図ることとしており、具体的には、入試業務全般を所管し、募集広報に係る高校訪問を専門とする担当部署の職員が中心となって、高等学校を中心とした重点募集対象地域の選定から最重点訪問校や重点訪問校のセグメントによる高等学校募集訪問計画の策定により、高等学校からの確実な入学者の確保を目指すこととする。(資料12) ※「高等学校訪問の具体的計画」

高等学校訪問は、募集対象者が多数在籍している高等学校の教員に対して、本学の様々な教育情報を直接的に周知することができるとともに、継続的な訪問活動を行うことで、高等学校の教員との信頼関係を築くことができるものであり、高等学校の教員との信頼関係が構築できた場合には、高校内での生徒に対する進学説明会の実施をはじめ、当該専門分野に進学を希望している生徒の紹介をしてもらえるなどの効果が期待される。

3 オープンキャンパス

本学への入学を希望・検討している高校生やその保護者を対象として、施設内を積極的に公開し、本学への関心を深めてもらうための入学促進イベントとして、オープンキャンパスの実施を予定しており、学長による大学紹介や学部長による学部紹介、在学生や教職員による施設見学会、教員による模擬授業、大学で学べる学問内容、入学者選抜制度、大学生活についての個別相談や質問を受け付けるなど、受験生や保護者との対面による丁寧な説明を行うことにより、本学への関心を深めてもらうとともに、よりミスマッチの少ない学生を入学させることの効果が期待される。(資料13) ※「2024年オープンキャンパス年間計画」

4 高校教員向け説明会

高等学校の教員を対象とする説明会を開催する予定としており、学長による大学紹介、学部・学科別の個別説明、開学初年度の入試概要、奨学金制度、大学施設の見学など、高等学校の教員と本学の教職員との対面による丁寧な説明を行うこととし、本学の教育・研究活動等に関する理解を深めてもらうための情報提供の機会を設けることにより、高等学校の教員が本学への進学を希望する生徒に対する進路指導の際に役立ててもらふことの効果が期待される。(資料14) ※「高校教員向け説明会(2024 大学説明会実施要項)」

5 進学相談会

全国の主要な都市で開催される民間業者が主催する進学相談会への参加を予定しており、大学・学部資料の配付や学部紹介DVDの放映から、学位授与の方針・教育課程編成の方針・入学者受入の方針、授業科目や講義等の内容、想定される卒業後の進路などに関する情報を広く提供することにより、広域から学生を確保することの効果が期待される。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数

既設組織における過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析については、別紙3の通りとなっており、各取組に関する参加者等総数の見込みから予想

される入学者の総数は111名（オープンキャンパス25名、進学ガイダンス10名、資料請求者76名）となることから、新設組織における定員充足においても十分な見込みがあるものと考えている。（資料 11） ※「別紙 3-1、3-2、3-3、3-4 既設学部等の学生募集のためのPR活動の過去の実績」

② 競合校の状況分析

ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性

1 競合校の選定理由

競合校の選定理由としては、学校種の類似性は、本学と同様の「私立大学（4年制）」、学問分野の類似性は、当該大学の教育課程の編成状況を踏まえ、学校基本調査の学科系統分類表の中分類を参考に「商学・経済学」と推察される教育組織とし、所在地の類似性については、新設組織における主な学生募集地域としている「東京都」に所在している大学の教育組織を選定しており、学力層の類似性は、河合塾による偏差値を参考に新設組織が想定する学力層と同程度の教育組織を選定している。

2 競合校との比較分析

競合校と新設組織との入試（競合校の受験期間、入学手続時期との関係）、学生納付金・奨学制度などの修学支援の内容、就職支援の内容、取得できる資格などの比較については、別紙資料15の通りであり、競合校との比較分析の観点からも、新設組織においては同等又は同等以上の内容を整えているものと考えられる。

また、教育内容と方法における競合校と比較したときの優位性については、新設組織では、特に昨今のコンピュータの処理能力やネットワーク技術の向上を踏まえたうえで、経営学分野に関する基礎的な知識の習得のもと、最新の情報技術から生まれるICTスキルや統計分析などデータサイエンスの知識や技能をマネジメントの視点で適切に活用することのできる能力の習得を目的とした教育内容としている点で、競合校と比較して優位性があるものと考えられる。（資料15） ※「競合校との比較表」

イ 競合校の入学志願動向等

情報マネジメント学部情報マネジメント学科と競合が想定される大学は、多摩大学（経営情報学部経営情報学科）と産業能率大学（情報マネジメント学部現代マネジメント学科）で、多摩大学が公表している経営情報学部（学科別及び受験者数のデータ掲載はない）における2021年度から2023年度の平均の入学志願動向等は、入学定員317人に対して志願者数1,455人、合格者数1,064人、入学者数370人、定員充足率116.71%となっている。

また、産業能率大学が公表している情報マネジメント学部現代マネジメント学科における2023年度（過年度における入試データの掲載はない）の入学志願動向等は、入学定員330人に対して志願者数763人、合格者数409人、入学者数381人、定員充足率115.45%となっている。（資料16） ※「競合校の志願者数等の状況」

このように、情報マネジメント学部情報マネジメント学科との競合が想定される大学で

は、18歳人口の減少期においても安定した入学志願動向となっている。

ウ 新設組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）

－該当なし－

エ 学生納付金等の金額設定の理由

情報マネジメント学部の学生納付金等の金額設定の理由は、大学及び学部運営に係る財務的な視点と学生納付金の学生への還元など受益者に対する説明責任の視点を踏まえるとともに、競合が想定される類似の教育組織を設置している私立大学（多摩大学経営情報学部、産業能率大学情報マネジメント学部）の学生納付金を勘案したうえで、完成年度における教育研究経費比率や教育活動支出依存率を見極めつつ、大学及び学部の運営上における人件費及び教育研究や管理運営に係る経常経費等の財務予測による実質的な採算分岐点に基づく金額として設定としている。（資料17）※「競合校の学生納付金一覧」

③ 先行事例分析

－該当なし－

④ 学生確保に関するアンケート調査

情報マネジメント学部の設置計画を策定するにあたり、定員充足の見込みについて客観的な根拠となるデータから検証することを目的として、本学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校に在籍している2年生と1年生を対象とした進学需要に関するアンケート調査を実施した。（資料18）※「調査報告書－抜粋－」

その結果、卒業後の進路を「大学」と回答し、進学を希望する場合の大学等の設置者を「私立」と回答した者で、興味のある学問分野を「経営学関係（情報・経営情報等）」と回答した者のうち、敬愛大学の情報マネジメント学部が設置された場合、情報マネジメント学部を「第一志望として受験する」と回答し、かつ「入学する」と回答した2年生は97人、1年生は99人となっている。

このような本学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校に在籍している2年生と1年生に限定した調査結果においても、本学の情報マネジメント学部への進学意向の高さがうかがえることから、学生確保の見通しがあるものと考えられる。

⑤ 人材需要に関するアンケート調査

情報マネジメント学部の設置計画を策定するうえで、本学の情報マネジメント学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、社会的な人材需要の見通しを踏まえた計画であることを客観的な根拠となるデータから検証することを目的として、本学への求人実績や卒業生の採用実績がある関連企業等を対象として、情報マネジメント学部で養成する人材の必要性及び卒業生に対する採用意向に関するアンケート調査を実施した。（資料19）※「調査報告書－抜粋－」

その結果、情報マネジメント学部で養成する人材の必要性については、回答件数137件の約97.8%にあたる134件が「必要性を感じる」と回答しており、情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用については、回答件数137件の約94.9%にあたる1

30件が「採用したいと思う」と回答している。

また、情報マネジメント学部で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答した関連企業等のうち、単年度当りの採用人数の見込みを「1人」と回答したのが16件、採用人数「2人」と回答したのが10件、採用人数「3人以上」と回答したのが21件、「人数は未定」と回答したのが83件となっている。

なお、採用人数「3人以上」と回答した採用人数を3人、「人数は未定」と回答した採用人数を1人として、これらの採用人数を合計すると182人となり、このことから情報マネジメント学部で学んだ卒業生に対する人材需要の見通しはありと考えられる。

このような本学への求人実績や卒業生の採用実績がある一部の関連企業等に限定した調査結果においても、本学の情報マネジメント学部で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえる結果となっており、このことは、本学が設置を計画している情報マネジメント学部における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、社会的な人材需要の見通しを踏まえた計画であるものと考えられる。

(4) 新設組織の定員設定の理由

情報マネジメント学部の定員設定の理由は、千葉県高等学校・中学校・小学校の生徒・児童数、千葉県高等学校を卒業した者の大学進学状況、既設組織の定員充足の状況、競合校の入学志願動向等、さらには、千葉県を中心に所在する高等学校の在校生に対する進学需要調査の結果に加えて、本学への求人実績や卒業生の採用実績がある関連企業等を対象とした人材需要調査の結果などを総合的に踏まえたものであり、合理性のある設定であると考えている。

学生確保の見通し等を記載した書類(添付資料)

目次

- 【資料 1】 独立行政法人 情報処理推進機構
「DX白書2021 日米比較調査にみるDXの戦略、人材、技術」より引用
- 【資料 2】 調査報告書 (人材需要調査 - 抜粋 -)
- 【資料 3】 学校基本調査 (年度別千葉県内の高等学校・中学校・小学校在籍者数)
- 【資料 4】 学校基本調査 (年度別千葉県内の中学校を卒業した者の高等学校への進学率等)
- 【資料 5】 学校基本調査 (年度別千葉県内の高等学校卒業した者の大学進学率等)
- 【資料 6】 学校基本調査
別紙1、出身高校の所在地県別の入学者数の構成比(上位5都道府県)※直近年度
- 【資料 7】 敬愛大学の既設学部の県別入学者数等
- 【資料 8】 学校基本調査
別紙1、新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況
- 【資料 9】 学校基本調査
別紙1、新設組織の学問分野(系統区分)の定員充足状況
- 【資料 10】 別紙2-1、2-2、2-3 既設学科等の入学定員の充足状況(直近5年間)
- 【資料 11】 別紙3-1、3-2、3-3、3-4 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績
- 【資料 12】 高等学校訪問の具体的計画
- 【資料 13】 2024年オープンキャンパス年間計画
- 【資料 14】 高校教員向け説明会 (2024大学説明会 実施要項)
- 【資料 15】 競合校との比較表
- 【資料 16】 競合校の志願者数等の状況
- 【資料 17】 競合校の学生納付金一覧
- 【資料 18】 調査報告書 (進学需要調査 - 抜粋 -)
- 【資料 19】 調査報告書 (人材需要調査 - 抜粋 -)
- 【資料 20】 調査報告書 (冊子)

データ利活用

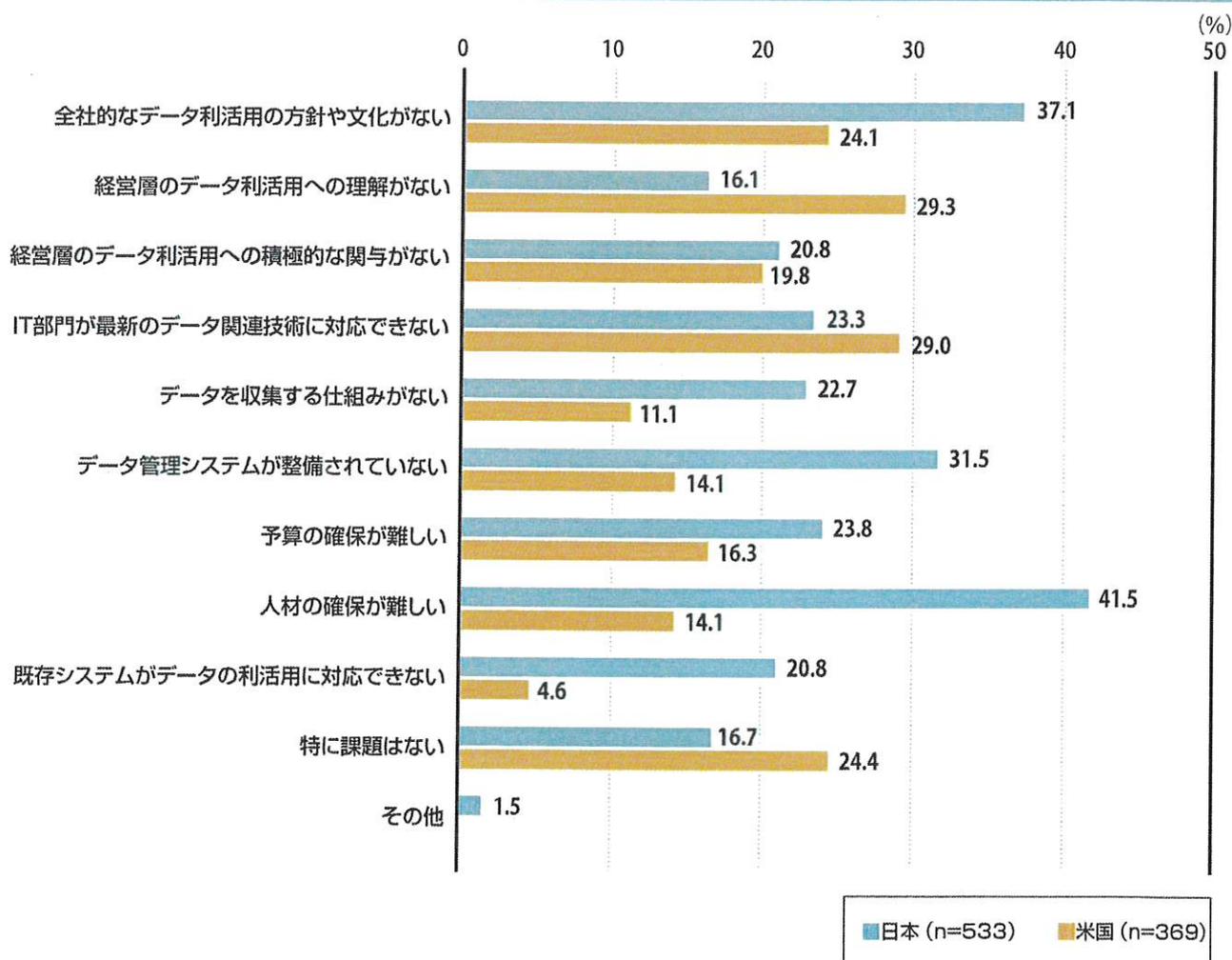
～ 組織的なデータ利活用推進策への取組 ～

予測困難な外部環境変化に俊敏に対応するために、データに基づき経営や現場の意思決定を行うデータドリブン経営の重要性が高まっている。しかし、図表4-1で示したように、日本企業は「適切な情報を必要なタイミングで取り出せる」ことや「部門間で標準化したデータ分析基盤」の実現といったビジネスニーズへの対応が十分できていない。

図表4-4はデータ整備・管理・流通の課題について尋ねた結果である。日本企業では、「全社的なデータ利活用の方針や文化がない」「データ管理システムが整備されていない」「人材の確保が難しい」といった項目が課題であることがわかる。

米国企業では、データ分析の活用を推進するChief Data Officerの任命やデータ分析を組織横断的な推進するCenter of Excellenceを設置するなどの施策によって、こうした課題の解決を図っている。日本企業においても組織的な対策が望まれる。

■ 図表4-4 データ整備・管理・流通の課題（複数回答）



【資料2】

情報マネジメント学部の進学需要等に関するアンケート調査結果報告書 ー抜粋ー

2. 人材の採用見込み

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、人材の採用見込みについて質問したところ、回答件数 137 件の約 79.6%にあたる 109 件が「増加すると思う」と回答している。

問2 人材の採用見込み

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	増加すると思う	109	79.6
2	増加すると思わない	28	20.4
	未回答・不明	0	0.0
	合計	137	100.0

3. 情報マネジメント学部で養成する人材の必要性

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、情報マネジメント学部で養成する人材の必要性について質問したところ、回答件数 137 件の約 97.8%にあたる 134 件が「必要性を感じる」と回答している。

問3 情報マネジメント学部で養成する人材の必要性

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	必要性を感じる	134	97.8
2	必要性を感じない	3	2.2
	未回答・不明	0	0.0
	合計	137	100.0

4. 情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 137 件の約 94.9%にあたる 130 件が「採用したいと思う」と回答している。

問4 情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	採用したいと思う	130	94.9
2	採用したいと思わない	7	5.1
	未回答・不明	0	0.0
	合計	137	100.0

5. 情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用人数

問4で、情報マネジメント学部で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答した民間企業等のうち、単年度当りの卒業生の採用人数を「1人」と回答したのは16件、「2人」と回答したのは10件、「3人以上」と回答したのは21件、「人数は未定」と回答したのは83件となっている。

問5 情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	1人	16	12.3
2	2人	10	7.7
3	3人以上	21	16.2
4	人数は未定	83	63.8
	未回答・不明	0	0.0
	合計	130	100.0

6. 情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用人数 ―クロス集計―

問3で、情報マネジメント学部で養成する人材の必要性について「必要性を感じる」と回答した民間企業等で、問4で、情報マネジメント学部で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答した民間企業等のうち、問5で、単年度当りの卒業生の採用人数を「1人」と回答したのは16件、「2人」と回答したのは10件、「3人以上」と回答したのは21件、「人数は未定」と回答したのは81件となっている。

なお、「採用人数3人以上」と回答した採用人数を「3人」とし、「人数は未定」と回答した採用人数を「1人」として採用人数を合計すると180人となり、これらの採用人数からも敬愛大学の情報マネジメント学部で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある一部の民間企業等に限定した調査結果においても、情報マネジメント学部で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

【クロス集計】 情報マネジメント学部の卒業生の採用人数/問3から問5までの条件に合致するもの

No.	カテゴリ	件数/件	人数/人
1	必要性を感じる×採用したいと思う×1人	16	16
2	必要性を感じる×採用したいと思う×2人	10	20
3	必要性を感じる×採用したいと思う×3人	21	63
4	必要性を感じる×採用したいと思う×人数は未定	83	83
	合計	128	182

*問3 クロス集計する選択肢「養成する人材の必要性」

*問4 クロス集計する選択肢「卒業生の採用意向」

*問5 クロス集計する選択肢「卒業生の採用人数」

【資料 3】年度別千葉県内の高等学校・中学校・小学校の在籍者数

千葉県内の年度別 生徒・児童在籍者数 (設置経過年度別)

年 度	経過年数	学 年	在籍者数
令和7年度	設置初年度	高校2年	45,913
令和8年度	設置2年目	高校1年	46,788
令和9年度	設置3年目	中学校3年	52,902
令和10年度	設置4年目	中学校2年	51,814
令和11年度	設置5年目	中学校1年	51,275
令和12年度	設置6年目	小学校6年	51,546
令和13年度	設置7年目	小学校5年	50,574
令和14年度	設置8年目	小学校4年	49,963
令和15年度	設置9年目	小学校3年	50,150
令和16年度	設置10年目	小学校2年	49,778

出 典 データは、「学校基本調査」より抜粋

【資料 4】年度別千葉県内の中学校を卒業した者の高等学校への進学率

千葉県内の中学校を卒業した者の高校進学率等(過去5年間)

年 度	卒業者数	高校等進学者数	高校等進学率	平 均
令和5年度	52,897	52,257	98.8%	98.9%
令和4年度	52,736	52,166	98.9%	
令和3年度	51,297	50,788	99.0%	
令和2年度	53,790	53,162	98.8%	
令和元年度 (平成31年度)	53,336	52,730	98.9%	

出 典 データは、「学校基本調査」より抜粋

【資料 5】年度別千葉県内の高等学校を卒業した者の大学進学率等

千葉県内の高等学校を卒業した者の大学進学率等

年 度	卒業生数	大学等進学者数	大学等進学率	平 均
令和5年度	45,820	28,642	62.5%	58.6%
令和4年度	46,852	28,763	61.4%	
令和3年度	48,202	28,068	58.2%	
令和2年度	48,289	27,030	56.0%	
令和元年度 (平成31年度)	48,998	26,975	55.1%	

出 典 「学校基本調査」より抜粋

【資料 6】別紙1 出身高校の所在地県別の入学者数の構成比(上位5都道府県)※直近年度

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比(上位5都道府県)※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	千葉県	10,566人	38.9%
2	東京都	4,517人	16.6%
3	茨城県	2,168人	8.0%
4	埼玉県	1,974人	7.3%
5	神奈川県	900人	3.3%
	全 体	27,174人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成(専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む)。大学院は作成不要。

【資料 7】 敬愛大学の既設学部 of 県別入学者数等

①. 敬愛大学の令和5年度出身校所在地別の入学者及び構成比 (上位5県)

	都道府県	入学者数	構成比
1	千葉県	335	78.8%
2	東京都	23	5.4%
3	茨城県	7	1.6%
4	埼玉県	5	1.2%
5	神奈川県	5	1.2%
	その他	50	11.8%
	合計	425	100.0%

②. 敬愛大学の既設学部 of 過去5年間の県別入学者数

学部名	年度	全体	千葉	東京	茨城	備考
経済学部	2019年度入学	290	233	13	5	
	2020年度入学	275	200	20	4	
	2021年度入学	279	222	17	6	
	2022年度入学	239	183	18	13	
	2023年度入学	257	202	14	2	
	計	1,340	1,040	82	30	
国際学部	2019年度入学	205	155	3	9	2019、2020年度には、国際学部ことも教育学科の入学者数を含む
	2020年度入学	195	149	11	2	
	2021年度入学	108	80	4	2	
	2022年度入学	86	64	7	3	
	2023年度入学	109	86	5	1	
	計	703	534	30	17	
教育学部	2019年度入学					教育学部は2021年届出により設置
	2020年度入学					
	2021年度入学	75	73	1	1	
	2022年度入学	74	65	2	3	
	2023年度入学	59	47	4	4	
	計	208	185	7	8	
大学全体		2,251	1,759	119	55	経済学部、国際学部は、5年間分、教育学部は3年間で算出

③. 敬愛大学の既設学部の過去5年間の県別入学者の比率

学部名	年 度	3都県	千葉	東京	茨城	備 考
経済学部	2019年度入学	86.6%	80.3%	4.5%	1.7%	
	2020年度入学	81.5%	72.7%	7.3%	1.5%	
	2021年度入学	87.8%	79.6%	6.1%	2.2%	
	2022年度入学	89.5%	76.6%	7.5%	5.4%	
	2023年度入学	84.8%	78.6%	5.4%	0.8%	
	計	86.0%	77.6%	6.1%	2.2%	
国際学部	2019年度入学	81.5%	75.6%	1.5%	4.4%	
	2020年度入学	83.1%	76.4%	5.6%	1.0%	
	2021年度入学	79.6%	74.1%	3.7%	1.9%	
	2022年度入学	86.0%	74.4%	8.1%	3.5%	
	2023年度入学	84.4%	78.9%	4.6%	0.9%	
	計	82.6%	76.0%	4.3%	2.4%	
教育学部	2019年度入学					教育学部は 2021年届出に より設置
	2020年度入学					
	2021年度入学	100.0%	97.3%	1.3%	1.3%	
	2022年度入学	94.6%	87.8%	2.7%	4.1%	
	2023年度入学	93.2%	79.7%	6.8%	6.8%	
	計	96.2%	88.9%	3.4%	3.8%	
近隣3都県		85.9%	78.1%	5.3%	2.4%	経済学部、国 際学部は、5 年間分、教育 学部は3年間 で算出

【資料 8】別紙1 新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	千葉県	101.09%	98.90%	97.41%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

【資料 9】別紙1 新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	社会科学系(情報 マネジメント)	101.56%	102.73%	102.70%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

【資料 10】別紙 2 既設学科等の入学定員の充足状況 2-1

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

大学学部学科等名：経済学部

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均	
総合型選抜	募集人数	50人	50人	50人	50人	50人	50人	
	延べ人数	志願者数	150人	168人	154人	141人	139人	150人
		受験者数	149人	162人	153人	141人	138人	149人
		合格者数	132人	110人	103人	76人	81人	100人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	0人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	150人	168人	154人	141人	139人	150人
		受験者数	149人	162人	153人	141人	138人	149人
		合格者数	132人	110人	103人	76人	81人	100人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	0人	1人	0人	1人
	入学者数	128人	106人	101人	75人	81人	98人	
	学校推薦型選抜	募集人数	55人	55人	55人	55人	55人	55人
		延べ人数	志願者数	81人	111人	139人	161人	174人
受験者数			81人	111人	139人	160人	174人	133人
合格者数			80人	109人	134人	156人	171人	130人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	1人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	81人	111人	139人	161人	174人	133人
		受験者数	81人	111人	139人	160人	174人	133人
		合格者数	80人	109人	134人	156人	171人	130人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
入学者数		79人	107人	134人	156人	171人	129人	
一般選抜		募集人数	50人	50人	50人	50人	50人	50人
		延べ人数	志願者数	194人	234人	184人	134人	81人
	受験者数		177人	216人	157人	113人	77人	148人
	合格者数		59人	73人	68人	12人	37人	50人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	29人	6人
	辞退者数		1人	5人	3人	2人	0人	2人
	実人数	志願者数	183人	212人	167人	127人	61人	150人
		受験者数	166人	196人	142人	108人	58人	134人
		合格者数	53人	67人	59人	27人	37人	49人
		うち追加合格者数	0人	8人	15人	21人	29人	15人
		辞退者数	1人	5人	3人	2人	0人	2人
	入学者数	31人	37人	31人	4人	4人	21人	
	共通テスト利用入試	募集人数	50人	50人	50人	50人	60人	52人
		延べ人数	志願者数	202人	236人	135人	127人	70人
受験者数			202人	236人	135人	127人	70人	154人
合格者数			113人	76人	62人	15人	31人	59人
うち追加合格者数			2人	5人	1人	27人	23人	12人
辞退者数			1人	6人	2人	0人	0人	2人
実人数		志願者数	159人	215人	125人	115人	59人	135人
		受験者数	159人	215人	125人	115人	59人	135人
		合格者数	109人	68人	56人	38人	27人	60人
		うち追加合格者数	2人	5人	1人	27人	23人	12人
		辞退者数	1人	6人	2人	0人	0人	2人
入学者数		41人	10人	7人	3人	0人	12人	
その他の特別選抜		募集人数	20人	20人	20人	20人	10人	18人
		延べ人数	志願者数	29人	57人	33人	9人	3人
	受験者数		27人	54人	31人	9人	3人	25人
	合格者数		11人	16人	10人	1人	2人	8人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	1人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	29人	57人	33人	9人	3人	26人
		受験者数	27人	54人	31人	9人	3人	25人
		合格者数	11人	16人	10人	1人	2人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	入学者数	11人	15人	7人	1人	2人	7人	
	合計	募集人数	225人	225人	225人	225人	225人	225人
		延べ人数	志願者数	656人	806人	645人	572人	467人
受験者数			636人	779人	615人	550人	462人	608人
合格者数			395人	384人	377人	260人	322人	348人
うち追加合格者数			2人	5人	1人	27人	52人	17人
辞退者数			4人	14人	6人	3人	0人	5人
実人数		志願者数	602人	763人	618人	553人	436人	594人
		受験者数	582人	738人	590人	533人	432人	575人
		合格者数	385人	370人	362人	298人	318人	347人
		うち追加合格者数	2人	13人	16人	48人	52人	26人
		辞退者数	4人	14人	6人	3人	0人	5人
入学者数		290人	275人	280人	239人	258人	268人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	225人	225人	225人	225人	225人	225
入学定員充足率	1.29	1.22	1.24	1.06	1.15	1.20
歩留	0.75	0.72	0.74	0.69	0.70	0.72

（備考）特記事項がある場合は記載する
 経済学部の経済学科、経営学科は2年進級時に学科選択制としているため、学部のデータにより算出。

【資料 10】別紙 2 既設学科等の入学定員の充足状況 2-2

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

大学学部学科等名：国際学部 国際学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	平均	
総合型選抜	募集人数	21人	21人	21人	18人	18人	20人	
	延べ人数	志願者数	23人	38人	12人	14人	33人	24人
		受験者数	23人	37人	12人	14人	33人	24人
		合格者数	16人	28人	7人	14人	32人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	23人	38人	12人	14人	33人	24人
		受験者数	23人	37人	12人	14人	33人	24人
		合格者数	16人	28人	7人	14人	32人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	16人	28人	7人	14人	32人	19人	
	学校推薦型選抜	募集人数	22人	22人	22人	25人	25人	23人
		延べ人数	志願者数	58人	61人	64人	43人	58人
受験者数			58人	61人	64人	43人	58人	57人
合格者数			57人	59人	64人	43人	58人	56人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	58人	61人	64人	43人	58人	57人
		受験者数	58人	61人	64人	43人	58人	57人
		合格者数	57人	59人	64人	43人	58人	56人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		56人	59人	64人	43人	58人	56人	
一般選抜		募集人数	18人	18人	18人	18人	18人	18人
		延べ人数	志願者数	75人	136人	64人	38人	47人
	受験者数		70人	123人	54人	35人	45人	65人
	合格者数		36人	43人	46人	35人	41人	40人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		1人	2人	0人	2人	1人	1人
	実人数	志願者数	56人	95人	42人	18人	18人	46人
		受験者数	55人	87人	34人	18人	18人	42人
		合格者数	32人	33人	31人	18人	17人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	0人	2人	1人	1人
	入学者数	13人	10人	19人	15人	10人	13人	
	共通テスト利用入試	募集人数	17人	17人	17人	17人	17人	17人
		延べ人数	志願者数	101人	141人	77人	56人	46人
受験者数			101人	141人	77人	56人	46人	84人
合格者数			60人	47人	49人	55人	43人	51人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	1人	1人	0人	0人
実人数		志願者数	79人	91人	60人	34人	21人	57人
		受験者数	79人	91人	60人	34人	21人	57人
		合格者数	53人	33人	39人	33人	21人	36人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
入学者数		15人	10人	3人	6人	2人	7人	
その他の特別選抜		募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
		延べ人数	志願者数	31人	35人	25人	9人	13人
	受験者数		31人	33人	23人	8人	10人	21人
	合格者数		22人	19人	21人	8人	8人	16人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	1人	2人	0人	1人	1人
	実人数	志願者数	31人	35人	25人	9人	13人	23人
		受験者数	31人	33人	23人	8人	10人	21人
		合格者数	22人	19人	21人	8人	8人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	2人	0人	1人	1人
	入学者数	19人	16人	15人	8人	7人	13人	
	合計	募集人数	98人	98人	98人	98人	98人	98人
		延べ人数	志願者数	288人	411人	242人	160人	197人
受験者数			283人	395人	230人	156人	192人	251人
合格者数			191人	196人	187人	155人	182人	182人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			1人	3人	3人	3人	2人	2人
実人数		志願者数	247人	320人	203人	118人	143人	206人
		受験者数	246人	309人	193人	117人	140人	201人
		合格者数	180人	172人	162人	116人	136人	153人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	3人	3人	3人	2人	2人
入学者数		119人	123人	108人	86人	109人	109人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	98人	98人	98人	98人	98人	98
入学定員充足率	1.21	1.26	1.10	0.88	1.11	1.11
歩留率	0.66	0.72	0.67	0.74	0.80	0.70

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

【資料 10】別紙 2 既設学科等の入学定員の充足状況 2-3

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

大学学部学科等名：教育学部 こども教育学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		2019/4/1	2020/4/1	2021/4/1	2022/4/1	2023/4/1	平均	
		H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試		
総合型選抜	募集人数			10人	10人	10人	10人	
	延べ人数	志願者数			24人	21人	17人	21人
		受験者数			24人	21人	17人	21人
		合格者数			20人	18人	17人	18人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数			24人	21人	17人	21人
		受験者数			24人	21人	17人	21人
		合格者数			20人	18人	17人	18人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			0人	0人	0人	0人
	入学者数			19人	18人	17人	18人	
	学校推薦型選抜	募集人数			20人	20人	20人	20人
		延べ人数	志願者数			38人	37人	28人
受験者数					38人	37人	28人	34人
合格者数					38人	37人	28人	34人
うち追加合格者数					0人	0人	0人	0人
辞退者数					0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数			38人	37人	28人	34人
		受験者数			38人	37人	28人	34人
		合格者数			38人	37人	28人	34人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			0人	0人	0人	0人
入学者数				38人	37人	28人	34人	
一般選抜		募集人数			20人	20人	20人	20人
		延べ人数	志願者数			68人	53人	52人
	受験者数				59人	45人	44人	49人
	合格者数				45人	44人	44人	44人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人	0人
	辞退者数				2人	3人	6人	4人
	実人数	志願者数			52人	44人	36人	44人
		受験者数			46人	37人	28人	37人
		合格者数			41人	37人	28人	35人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			2人	3人	6人	4人
	入学者数			17人	14人	14人	15人	
	共通テスト利用入試	募集人数			22人	22人	22人	22人
		延べ人数	志願者数			76人	64人	51人
受験者数					76人	64人	51人	64人
合格者数					40人	62人	47人	50人
うち追加合格者数					0人	0人	0人	0人
辞退者数					1人	2人	0人	1人
実人数		志願者数			69人	54人	38人	54人
		受験者数			69人	54人	38人	54人
		合格者数			37人	52人	36人	42人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			1人	2人	0人	1人
入学者数				1人	5人	0人	2人	
その他の特別選抜		募集人数			0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数					
	受験者数							
	合格者数							
	うち追加合格者数							
	辞退者数							
	実人数	志願者数						
		受験者数						
		合格者数						
		うち追加合格者数						
		辞退者数						
	入学者数							
	合計	募集人数			72人	72人	72人	72人
		延べ人数	志願者数			206人	175人	148人
受験者数					197人	167人	140人	168人
合格者数					143人	161人	136人	147人
うち追加合格者数					0人	0人	0人	0人
辞退者数					3人	5人	6人	5人
実人数		志願者数			183人	156人	119人	153人
		受験者数			177人	149人	111人	146人
		合格者数			136人	144人	109人	130人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			3人	5人	6人	5人
入学者数				75人	74人	59人	69人	

3. 入学定員充足率

	2019/4/1	2020/4/1	2021/4/1	2022/4/1	2023/4/1	平均
	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	
入学定員			72人	72人	72人	72
入学定員充足率			1.04	1.03	0.82	0.96
歩留率			0.55	0.51	0.54	0.54

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
教育学部 こども教育学科は、令和3年度設置。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙 3-1

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：経済学部オープンキャンパス

	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	214人	522人	588人	763人	①取組概要 本学の受験希望者および保護者に対して、学部紹介、入試制度説明、模擬授業、受験対策講座、学内見学、個別相談を実施。 ※R2～R4は、オンライン実施分も含める ■R3年度入試対象 (R2開催) : 計9回開催 (3/28, 5/31, 6/21, 7/19, 7/23, 8/2, 8/26, 9/5, 9/12) ■R4年度入試対象 (R3開催) : 計7回開催 (3/27, 5/30, 6/20, 7/18, 8/1, 8/25, 9/11) ■R5年度入試対象 (R4開催) : 9回開催 (3/26, 5/29, 6/19, 7/17, 7/29, 8/7, 8/24, 8/31, 9/10) ■R6年度入試対象 (R5開催) : 10回開催 (3/25, 5/28, 6/18, 7/16, 7/30, 8/6, 8/23, 8/30, 9/9, 10/14) ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数 (A) 情報マネジメント学部希望の高3生来場者見込: 100名 (類似規模の「国際学部国際学科」のR6年度実施分を参考) (B) 入学率: 25% (類似規模の「国際学部国際学科」を参考) ●入学者見込: 25名 (A×B)
うち受験対象者数(b)	214人	505人	520人	544人	
うち受験者数(c)	122人	156人	214人	180人	
うち入学者数(d)	110人	118人	175人	176人	
(受験率 c/b)	57%	31%	41%	33%	
(入学率 d/b)	51%	23%	34%	32%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：進学ガイダンス(全学)

	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	885人	711人	1010人	2065人	●進学ガイダンスでは、志望学部未確定者が多いため、学部別ではなく「全学ベース」での集計となっている。 ①取組概要 高校、または相談会場へ向向き、高校生に対して学部紹介、入試制度説明、模擬授業、個別相談等を実施する。 ※R3～R4は、オンライン実施分も含める ■R3年度入試対象 (R2開催) 123会場、■R4年度入試対象 (R3開催) 170会場 ■R5年度入試対象 (R4開催) 183会場、■R6年度入試対象 (R5開催) 190会場 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数 (A) 情報マネジメント学部希望の高3生来場者見込: 90名 (2023年度オープンキャンパス実績における、各学部の構成比を参照する。類似規模の国際学部の構成比16%を参考に、10%を見込む) (B) 入学率: 11% (「R5年度入試向けガイダンス」参加者における入学率) ●入学者見込: 10名 (A×B)
うち受験対象者数(b)	417人	78人	431人	891人	
うち受験者数(c)	20人	4人	57人	68人	
うち入学者数(d)	12人	4人	49人	66人	
(受験率 c/b)	5%	5%	13%	8%	
(入学率 d/b)	3%	5%	11%	7%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：資料請求者(全学)

	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	11602人	11512人	11424人	19010人	●資料請求者では、志望学部未確定者が多いため、学部別ではなく「全学ベース」での集計となっている。 ①取組概要 本学ホームページや広告業者の運営する進学サイト、進学雑誌などを經由して、資料請求を行った生徒に対して、大学案内(パンフレット)やリーフレットを郵送したり手渡したりしている。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数 (A) 情報マネジメント学部希望の高3生来場者見込: 950名 (2023年度オープンキャンパス実績における、各学部の構成比を参照する。類似規模の国際学部の構成比16%を参考に、10%を見込む) (B) 入学率: 8% (「R5年度入試向け」資料請求者における入学率) ●入学者見込: 76名 (A×B)
うち受験対象者数(b)	4778人	4028人	3750人	9527人	
うち受験者数(c)	471人	464人	427人	305人	
うち入学者数(d)	321人	311人	299人	297人	
(受験率 c/b)	147%	12%	11%	3%	
(入学率 d/b)	7%	8%	8%	3%	

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：国際学部国際学科のオープンキャンパス

	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	80人	197人	226人	257人	①取組概要 本学の受験希望者および保護者に対して、学部紹介、入試制度説明、模擬授業、受験対策講座、学内見学、個別相談を実施。 ※R2~R4は、オンライン実施分も含める ■R3年度入試対象 (R2開催)：計9回開催 (3/28, 5/31, 6/21, 7/19, 7/23, 8/2, 8/26, 9/5, 9/12) ■R4年度入試対象 (R3開催)：計7回開催 (3/27, 5/30, 6/20, 7/18, 8/1, 8/25, 9/11) ■R5年度入試対象 (R4開催)：9回開催 (3/26, 5/29, 6/19, 7/17, 7/29, 8/7, 8/24, 8/31, 9/10) ■R6年度入試対象 (R5開催)：10回開催 (3/25, 5/28, 6/18, 7/16, 7/30, 8/6, 8/23, 8/30, 9/9, 10/14) ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数 (A)情報マネジメント学部希望の高3生来場者見込：100名 (類似規模の「国際学部国際学科」のR6年度実施分を参考) (B)入学率：25% (類似規模の「国際学部国際学科」を参考) ●入学者見込：25名 (A×B)
うち受験対象者数 (b)	80人	183人	192人	133人	
うち受験者数 (c)	39人	33人	67人	43人	
うち入学者数 (d)	36人	33人	67人	43人	
(受験率 c/b)	49%	18%	35%	32%	
(入学率 d/b)	45%	18%	35%	32%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：進学ガイダンス (全学)

	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	885人	711人	1010人	2065人	●進学ガイダンスでは、志望学部未確定者が多いため、学部別ではなく「全学ベース」での集計となっている。 ①取組概要 高校、または相談会場へ向かい、高校生に対して学部紹介、入試制度説明、模擬授業、個別相談等を実施する。 ※R3~R4は、オンライン実施分も含める ■R3年度入試対象 (R2開催) 123会場、■R4年度入試対象 (R3開催) 170会場 ■R5年度入試対象 (R4開催) 183会場、■R6年度入試対象 (R5開催) 190会場 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数 (A)情報マネジメント学部希望の高3生来場者見込：90名 (2023年度オープンキャンパス実績における、各学部の構成比を参照する。類似規模の国際学部の構成比16%を参考に、10%を見込む) (B)入学率：11% (「R5年度入試向けガイダンス」参加者における入学率) ●入学者見込：10名 (A×B)
うち受験対象者数 (b)	417人	78人	431人	891人	
うち受験者数 (c)	20人	4人	57人	68人	
うち入学者数 (d)	12人	4人	49人	66人	
(受験率 c/b)	5%	5%	13%	8%	
(入学率 d/b)	3%	5%	11%	7%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：資料請求者 (全学)

	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	11602人	11512人	11424人	19010人	●資料請求者では、志望学部未確定者が多いため、学部別ではなく「全学ベース」での集計となっている。 ①取組概要 本学ホームページや広告業者の運営する進学サイト、進学雑誌などを經由して、資料請求を行った生徒に対して、大学案内 (パンフレット) やリーフレットを郵送したり手渡ししたりしている。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数 (A)情報マネジメント学部希望の高3生来場者見込：950名 (2023年度オープンキャンパス実績における、各学部の構成比を参照する。類似規模の国際学部の構成比16%を参考に、10%を見込む) (B)入学率：8% (「R5年度入試向け」資料請求者における入学率) ●入学者見込：76名 (A×B)
うち受験対象者数 (b)	4778人	4028人	3750人	9527人	
うち受験者数 (c)	471人	464人	427人	305人	
うち入学者数 (d)	321人	311人	299人	297人	
(受験率 c/b)	147%	12%	11%	3%	
(入学率 d/b)	7%	8%	8%	3%	

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙 3-3

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：教育学部こども教育学科のオープンキャンパス

	R3. 4. 1	R4. 4. 1	R5. 4. 1	R6. 4. 1	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	87人	180人	184人	314人	①取組概要 本学の受験希望者および保護者に対して、学部紹介、入試制度説明、模擬授業、受験対策講座、学内見学、個別相談を実施。 ※R2～R4は、オンライン実施分も含める ■R3年度入試対象 (R2開催)：計9回開催 (3/28, 5/31, 6/21, 7/19, 7/23, 8/2, 8/26, 9/5, 9/12) ■R4年度入試対象 (R3開催)：計7回開催 (3/27, 5/30, 6/20, 7/18, 8/1, 8/25, 9/11) ■R5年度入試対象 (R4開催)：9回開催 (3/26, 5/29, 6/19, 7/17, 7/29, 8/7, 8/24, 8/31, 9/10) ■R6年度入試対象 (R5開催)：10回開催 (3/25, 5/28, 6/18, 7/16, 7/30, 8/6, 8/23, 8/30, 9/9, 10/14) ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数 (A)情報マネジメント学部希望の高3生来場者見込：150名 (類似規模の「国際学部国際学科」のR3年度実施分を参考) (B)入学率：15% (類似規模の「国際学部国際学科」を参考) ●入学者見込：23名 (A×B)
うち受験対象者数 (b)	87人	156人	143人	155人	
うち受験者数 (c)	46人	44人	38人	50人	
うち入学者数 (d)	44人	43人	38人	49人	
(受験率 c/b)	53%	28%	27%	32%	
(入学率 d/b)	51%	28%	27%	32%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：進学ガイダンス (全学)

	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	885人	711人	1010人	2065人	●進学ガイダンスでは、志望学部未確定者が多いため、学部別ではなく「全学ベース」での集計となっている。 ①取組概要 高校、または相談会場へ向向き、高校生に対して学部紹介、入試制度説明、模擬授業、個別相談等を実施する。 ※R3～R4は、オンライン実施分も含める ■R3年度入試対象 (R2開催) 123会場、■R4年度入試対象 (R3開催) 170会場 ■R5年度入試対象 (R4開催) 183会場、■R6年度入試対象 (R5開催) 190会場 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数 (A)情報マネジメント学部希望の高3生来場者見込：90名 (2023年度オープンキャンパス実績における、各学部の構成比を参照する。類似規模の国際学部の構成比16%を参考に、10%を見込む) (B)入学率：11% (「R5年度入試向けガイダンス」参加者における入学率) ●入学者見込：10名 (A×B)
うち受験対象者数 (b)	417人	78人	431人	891人	
うち受験者数 (c)	20人	4人	57人	68人	
うち入学者数 (d)	12人	4人	49人	66人	
(受験率 c/b)	5%	5%	13%	8%	
(入学率 d/b)	3%	5%	11%	7%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：資料請求者 (全学)

	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	11602人	11512人	11424人	19010人	●資料請求者では、志望学部未確定者が多いため、学部別ではなく「全学ベース」での集計となっている。 ①取組概要 本学ホームページや広告業者の運営する進学サイト、進学雑誌などを經由して、資料請求を行った生徒に対して、大学案内 (パンフレット) やリーフレットを郵送したり手渡したりしている。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数 (A)情報マネジメント学部希望の高3生来場者見込：950名 (2023年度オープンキャンパス実績における、各学部の構成比を参照する。類似規模の国際学部の構成比16%を参考に、10%を見込む) (B)入学率：8% (「R5年度入試向け」資料請求者における入学率) ●入学者見込：76名 (A×B)
うち受験対象者数 (b)	4778人	4028人	3750人	9527人	
うち受験者数 (c)	471人	464人	427人	305人	
うち入学者数 (d)	321人	311人	299人	297人	
(受験率 c/b)	147%	12%	11%	3%	
(入学率 d/b)	7%	8%	8%	3%	

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：進学ガイダンス

	R3. 4. 1	R4. 4. 1	R5. 4. 1	R6. 4. 1	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	885人	711人	1010人	2065人	●進学ガイダンスでは、志望学部未確定者が多いため、学部別ではなく「全学ベース」での集計となっている。
うち受験対象者数 (b)	417人	78人	431人	891人	①取組概要 高校、または相談会場へ出向き、高校生に対して学部紹介、入試制度説明、模擬授業、個別相談等を実施する。 ※R3～R4は、オンライン実施分も含める
うち受験者数 (c)	20人	4人	57人	68人	■R3年度入試対象 (R2開催) 123会場、■R4年度入試対象 (R3開催) 170会場 ■R5年度入試対象 (R4開催) 183会場、■R6年度入試対象 (R5開催) 190会場
うち入学者数 (d)	12人	4人	49人	66人	②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数
(受験率 c/b)	5%	5%	13%	8%	(A) 情報マネジメント学部希望の高3生来場者見込：90名 (2023年度オープンキャンパス実績における、各学部の構成比を参照する。類似規模の国際学部の構成比16%を参考に、10%を見込む) (B) 入学率：11% (「R5年度入試向けガイダンス」参加者における入学率)
(入学率 d/b)	3%	5%	11%	7%	●入学者見込：10名 (A×B)

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：資料請求者

	R3. 4. 1	R4. 4. 1	R5. 4. 1	R6. 4. 1	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	11602人	11512人	11424人	19010人	●資料請求者では、志望学部未確定者が多いため、学部別ではなく「全学ベース」での集計となっている。
うち受験対象者数 (b)	4778人	4028人	3750人	9527人	①取組概要 本学ホームページや広告業者の運営する進学サイト、進学雑誌などを經由して、資料請求を行った生徒に対して、大学案内 (パンフレット) やリーフレットを郵送したり手渡したりしている。
うち受験者数 (c)	471人	464人	427人	305人	②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数
うち入学者数 (d)	321人	311人	299人	297人	(A) 情報マネジメント学部希望の高3生来場者見込：950名 (2023年度オープンキャンパス実績における、各学部の構成比を参照する。類似規模の国際学部の構成比16%を参考に、10%を見込む) (B) 入学率：8% (「R5年度入試向け」資料請求者における入学率)
(受験率 c/b)	147%	12%	11%	3%	●入学者見込：76名 (A×B)
(入学率 d/b)	7%	8%	8%	3%	

【資料12】

高等学校訪問の具体的計画

- ① 目標設定：定員充足(50名)
- ② 担当者：募集広報に係る高校訪問を専門とするアドミッションセンター職員の複数名が中心になって活動をする。
- ③ 活動エリア：千葉県を中心に活動するが、近隣都県や教育分野に関心のある地域あるいは高等学校を選定し活動をしていく。そのため、重点高等学校、重点地域の選定を最優先に実行する。
- ④ 活動計画：4月中旬より活動を開始し、年2回以上の訪問を継続的に実施する。なお、前述の重点高等学校は意図的に訪問回数を増やし、学校間の結びつきを深める。アドミッションセンター職員は原則的に3名で対応し、そのエリア、※担当校は別途策定する。また、近年本学への受験比率が伸びている私立高校へのアプローチを重視する。中期的な施策として、アドミッション職員は、今後の少子化に向け、大学および経済学部への認知向上目的として、低学年の教員や若手の教員との関係を深めるべく、アプローチを実施。また、「旺文社」の高大接続の目的である Web コミュニケーションツールも同時に活用していく。
- ⑤ 訪問数目標設定：重点高等学校を含め延べ400校程度を目標とする。
- ⑥ その他活動計画：予備校、学習塾等にも訪問をし、「経済学部」についての募集広報活動を実施する。定員増のため、質の低下を招く恐れがある。「学習」をしっかり行っている生徒の確保も重要であることが訪問の目的である。
他大学の情報収集、経済学部等の研究も同時に行う。

※入試顧問2名には千葉県内公立学校を軸に一人40～45校程度を担当する。アドミッションセンター職員1名は私立高校を中心に千葉県内を担当し、さらに近隣都県や重点地区を担当する。予備校、学習塾も対応。

【資料 14】 高校教員向け説明会 (2024 大学説明会 実施要項)

日時	令和 6 年 5 月 24 日 (金) 14 : 30 ~ 16 : 40 (受付 14 : 00) / 16 : 40 頃 ~ 第 2 部						場所	3701 教室 (説明会・情報交換会)		
出席校	来校者	校名	教職員	中山学長、成松副学長			職員	小阪、中原、黒田、木下、星、齋藤		
	校名	経済		森島学部長、星野入試委員長		教育	伊坂学部長、畑中委員長		顧問	志鎌、西野
		国際		有馬学部長、三幣(真)入試委員長					学生	4名
プログラム	種別	時間		内容	担当		備考			
	開式	14:25		配布物確認、連絡事項	中原		【チューター】			
	挨拶	14:30~14:40	10分	学長挨拶・教育憲章について	中山学長	そのまま授業へ(敬天愛人)				
				教職員紹介	学部長、入試委員長、センター長、進行					
	第1部	14:40~15:25	45分	「2024年度入試結果と2025年度以降の入試展望」		・講演後、質疑応答		・講師紹介 小阪		
		15:25~15:35	10分	休憩 トイレ誘導:チューター						
		15:35~16:40	各10分	①学部、学科教育について	(1)経済 15:35~森島・星野 (2)国際 15:45~有馬学部長 (3)教育 15:55~伊坂学部長		パワーポイント使用			
			15分	②キャリア教育の具体例と実績	16:05~ 中山キャリアセンター長					
			15分	③入試について等	16:20~16:35 中原アドミッションセンター室長		2023 入試結果、2024 入試			
	5分	挨拶	成松 副学長							
第2部	16:40~17:30	自由移動	挨拶、名刺交換	学長、顧問、教職員		これまでのような「情報交換会」は割愛するも、「挨拶の場」として残す。				
			3701	個別相談(ブース形式)	5 ブース アドミッションセンター×2、(入試説明)、入試委員長×3(学部学科説明)					
			3号館	新棟施設内見学	チューター誘導。3号館中心		3701~1F→3701(会場)または玄関見送り			
準備・受付	種別	場所	担当	業務内容		配布資料等備考				
	準備	10:00~12:00	会場設営	3701	入試	<ul style="list-style-type: none"> ■会場(3701) →講義形式で(テーブル+椅子) ・長テーブルの不足分は、アリーナから補充 ①会場清掃:定期清掃で可 ②機器類 10:00~ ③11:00~会場設営(裏面) ・別紙会場レイアウト参照 		<配布資料> ■クリアフォルダにセット(50部) ①プログラム②教育憲章③講演レジュメ(パワポ資料)④各学部説明資料(パワポ) ※就職、入試パワポは配布なし。 ■PP 封筒にセット(50部) ①パンフ、②ガイド、③ING、④KI プレス、⑤教職リーフレット、⑥副専攻リーフレット(3種類)、⑦敬愛スポーツ、⑧OC チラシ(ウラ表紙的に) ■その他:コットンバッグ、水(常温)、グッズ(シャープペン)、クリアブック ●スタッフ資料:出席校の学籍状況、指定校一覧・6部		
	受付・誘導	14:00~14:40	誘導①	3701	小阪	・出席者の誘導、対応	駐車スペースなし。近隣の有料 P 利用の旨、事前に案内 「資料と水」のある席へ誘導する			
				1F EV 前	木下	・Zoom 操作(来場者の招待、パワポの画面共有)				
		受付	3701 前	星、学生	齋藤、学生	休憩後、16:15 までに 3701 集合	名刺忘れ対策として紙、ペン ※学生:受付終了後 16:15 までに 3701			
	16:40~	誘導②	情報交換会		3701 会場内で名刺交換、挨拶		【Zoom ウェビナー 関連】			
			ツアー	希望者	「ツアー受付」の場を設置。木下、学生4名		・機器設置及び運用テスト:5/18 10:00~(メディアセンター)			
			相談	希望者	学部ブース:星野、三幣、伊坂、中原、黒田、星		・上記配布資料(①~⑥)は、DL 形式で対応する			
			退場	齋藤	ネームプレート回収(名刺そのまま)		・Google Drive を使用。			
	待機		齋藤	アドセンにて電話対応等。無線機で連絡		→ 一斉メール通知で、上記 URL を通知して DL 案内(5/18) ・当日、開始直前まで「画面共有」でタイトル表示。				

【資料 15】 競合校との比較表

大学名	学問分野	学部	学科	入学定員	充足率	所在地	学力層	出願期間	入学手続期間	初年度納付金	キャリア科目(就職支援)	取得(受験)資格
多摩大学	商学・経済学	経営情報学部	経営情報学科	118	2023年度 103.15%	東京都	35.0 河合塾偏差値による	10月30日～ 3月4日	11月1日～ 3月15日	1,390,000	ビジネススキル基礎・実践 ライティングスキル キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 業界研究 アドバンスドライティングスキル インターンシップⅠ・Ⅱ	高等学校教諭(情報) 一種免許状 社会調査士(受験資格) など
産業能率大学	商学・経済学	情報マネジメント学部	現代マネジメント学部	330	2023年度 115.45%	東京都	45.0 河合塾偏差値による	10月6日～ 3月6日	11月1日～ 3月22日	1,328,000	キャリアを考える キャリア設計と自己開発 キャリア設計と業界研究 キャリア設計と企業研究 キャリア設計と自己表現 就業力プログラム	ITパスポート (受験資格) 基本情報技術者 (受験資格) Web検定(受験資格) 日商簿記(受験資格) など
敬愛大学	商学・経済学	情報マネジメント学部	情報マネジメント学部	50	2023年度 113.71% (基礎となる学科の 経営学科のデータ)	千葉県	37.5 河合塾による 本学経済学部の偏差 値	9月4日～ 3月7日	11月1日～ 3月21日	1,352,660	キャリアデザインを学ぶ キャリアプランニング キャリアディベロップメント 企業の魅力発見 実践的キャリア演習Ⅰ 実践的キャリア演習Ⅱ プレインターンシップ インターンシップ ポストインターンシップ	ITパスポート (受験資格) 日商簿記(受験資格) など

多摩大学 経営情報学科の養成する人材

経営情報学科では、「多摩グローバル人材」の具体像として、情報科学に関する学術と応用を教育研究し、高度の経営情報知識と、これを支える豊かな教養とを合わせ備えた創造的、実践的な問題解決能力を有する人材を育成する。

産業能率大学 現代マネジメント学科の養成する人材

現代マネジメント学科は、マネジメント力を発揮して社会の様々な分野において活躍する人材を育成することを目的としています。社会人としての基礎力を身につけ、現代のマネジメントに関する知識と技法を修得し、社会の変化に対応しうる幅広い視野と高い見識、マネジメント力と問題解決能力を養い、様々な分野においてマネジメントを実践し活躍する人材を育成します。

出典 資料は、各大学のホームページ等参照

【資料 16】 競合校の志願者数等の状況

大学名	学部名	学科名	年度	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	充足率	
多摩大学	経営情報学部	経営情報学科	2021	118 (317)	1814		1115	385	121.45%	
			2022		1586		1199	398	125.55%	
			2023		968		878	327	103.15%	
			計		4368		3192	1110		
			平均		1455人		1064人	370人	116.71%	
		事業構想学科	2021	199						
			2022							
			2023							
			計							
			平均							
入試データは学部でのデータ。学科別のデータの掲載はない。受験者のデータも記載されていない。										

大学名	学部名	学科名	年度	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	充足率
産業能率大学	情報マネジメント学部	現代マネジメント学科	2021	330	データなし				%
			2022	330	943	888	406	データなし	%
			2023	330	763	719	409	381	115.45%
			計						
			平均			人	人	人	人
過年度の入試データの掲載はない。									

出典 資料データは、各大学のホームページ等参照

【資料 17】 競合校の学生納付金一覧

(単位 円)

大学名	学部名	学科名	入学初年度納付金額 (委託徴収金を含む)			
			合計	入学金	授業料	施設・ 設備費他
敬愛大学	情報マネジメント学部	情報マネジメント学科	1,352,660	250,000	800,000	302,660
多摩大学	経営情報学部	経営情報学科	1,390,000	300,000	700,000	390,000
産業能率大学	情報マネジメント学部	現代マネジメント学科	1,328,000	318,000	772,000	238,000

出典 各大学のホームページ等参照

【資料18】

情報マネジメント学部の進学需要等に関するアンケート調査結果報告書 ー抜粋ー

【2年生】

6. 情報マネジメント学部への入学希望 ークロス集計ー

問1で高等学校卒業後の進路を「大学」と回答し、問2で志望する大学等の設置者を「私立」と回答した者で、問3で興味のある学問分野を「経営学関係（情報・経営情報等）」と回答し、かつ問4で情報マネジメント学部が開設された場合の受験希望について「第一志望として受験する」と回答した者のうち、情報マネジメント学部合格した場合「入学する」と回答した者は97人となっている。

また、問1で高等学校卒業後の進路を「大学」と回答し、問2で志望する大学等の設置者を「私立」と回答した者で、問3で興味のある学問分野を「経営学関係（情報・経営情報等）」と回答し、かつ問4で情報マネジメント学部が開設された場合の受験希望について「第二志望として受験する」と回答した者のうち、情報マネジメント学部合格した場合「入学する」と回答した者は12人となっている。

このような敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、敬愛大学の情報マネジメント学部への入学希望の高さがうかがえることから、十分な学生確保の見通しがあると考えられる。

【クロス集計】 情報マネジメント学部への入学希望／問1から問5までの条件に合致する者

No.	カテゴリ	件数／人
1	大学×私立×経営学関係×第一志望×入学する	97
2	大学×私立×経営学関係×第二志望×入学する	12
3	大学×私立×経営学関係×第三志望以降×入学する	4

*問1 クロス集計する選択肢「設置する学校の別」

*問2 クロス集計する選択肢「設置構想中の大学等設置者」

*問3 クロス集計する選択肢「設置構想中の学部等に該当する学問分野」

*問4 クロス集計する選択肢「受験する志望順位」

*問5 クロス集計する選択肢「入学する意向」

【1年生】

6. 情報マネジメント学部への入学希望 ―クロス集計―

問1で高等学校卒業後の進路を「大学」と回答し、問2で志望する大学等の設置者を「私立」と回答した者で、問3で興味のある学問分野を「経営学関係（情報・経営情報等）」と回答し、かつ問4で情報マネジメント学部が開設された場合の受験希望について「第一志望として受験する」と回答した者のうち、情報マネジメント学部合格した場合「入学する」と回答した者は99人となっている。

また、問1で高等学校卒業後の進路を「大学」と回答し、問2で志望する大学等の設置者を「私立」と回答した者で、問3で興味のある学問分野を「経営学関係（情報・経営情報等）」と回答し、かつ問4で情報マネジメント学部が開設された場合の受験希望について「第二志望として受験する」と回答した者のうち、情報マネジメント学部合格した場合「入学する」と回答した者は19人となっている。

このような敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する一部の高等学校の1年生に限定した調査結果においても、敬愛大学の情報マネジメント学部への入学希望の高さがうかがえることから、十分な学生確保の見通しがあると考えられる。

【クロス集計】 情報マネジメント学部への入学希望／問1から問5までの条件に合致する者

No.	カテゴリ	件数／人
1	大学×私立×経営学関係×第一志望×入学する	99
2	大学×私立×経営学関係×第二志望×入学する	19
3	大学×私立×経営学関係×第三志望以降×入学する	10

*問1 クロス集計する選択肢「設置する学校の別」

*問2 クロス集計する選択肢「設置構想中の大学等設置者」

*問3 クロス集計する選択肢「設置構想中の学部等に該当する学問分野」

*問4 クロス集計する選択肢「受験する志望順位」

*問5 クロス集計する選択肢「入学する意向」

【資料19】

情報マネジメント学部の進学需要等に関するアンケート調査結果報告書 ー抜粋ー

3. 情報マネジメント学部で養成する人材の必要性

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、情報マネジメント学部で養成する人材の必要性について質問したところ、回答件数 137 件の約 97.8%にあたる 134 件が「必要性を感じる」と回答している。

問3 情報マネジメント学部で養成する人材の必要性

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	必要性を感じる	134	97.8
2	必要性を感じない	3	2.2
	未回答・不明	0	0.0
	合計	137	100.0

4. 情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 137 件の約 94.9%にあたる 130 件が「採用したいと思う」と回答している。

問4 情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	採用したいと思う	130	94.9
2	採用したいと思わない	7	5.1
	未回答・不明	0	0.0
	合計	137	100.0

5. 情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用人数

問4で、情報マネジメント学部で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答した民間企業等のうち、単年度当りの卒業生の採用人数を「1人」と回答したのは16件、「2人」と回答したのは10件、「3人以上」と回答したのは21件、「人数は未定」と回答したのは83件となっている。

問5 情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	1人	16	12.3
2	2人	10	7.7
3	3人以上	21	16.2
4	人数は未定	83	63.8
	未回答・不明	0	0.0
	合計	130	100.0

6. 情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用人数 ―クロス集計―

問3で、情報マネジメント学部で養成する人材の必要性について「必要性を感じる」と回答した民間企業等で、問4で、情報マネジメント学部で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答した民間企業等のうち、問5で、単年度当りの卒業生の採用人数を「1人」と回答したのは16件、「2人」と回答したのは10件、「3人以上」と回答したのは21件、「人数は未定」と回答したのは83件となっている。

なお、「採用人数3人以上」と回答した採用人数を「3人」とし、「人数は未定」と回答した採用人数を「1人」として採用人数を合計すると182人となり、これらの採用人数からも敬愛大学の情報マネジメント学部で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある一部の民間企業等に限定した調査結果においても、情報マネジメント学部で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

【クロス集計】 情報マネジメント学部の卒業生の採用人数／問3から問5までの条件に合致するもの

No.	カテゴリ	件数／件	人数／人
1	必要性を感じる×採用したいと思う×1人	16	16
2	必要性を感じる×採用したいと思う×2人	10	20
3	必要性を感じる×採用したいと思う×3人	21	63
4	必要性を感じる×採用したいと思う×人数は未定	83	83
	合計	128	182

*問3 クロス集計する選択肢「養成する人材の必要性」

*問4 クロス集計する選択肢「卒業生の採用意向」

*問5 クロス集計する選択肢「卒業生の採用人数」

敬愛大学 情報マネジメント学部
進学需要等に関するアンケート調査
結果報告書

令和6年1月

株式会社 島津理化

目 次

I. 進学需要調査（集計結果）

【2年生】

調査対象等	1
調査結果概要	2～7
大学進学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	2
志望する大学等の設置者	3
興味のある学問分野	4
敬愛大学の情報マネジメント学部に関する質問事項	
情報マネジメント学部の受験希望	5
情報マネジメント学部への入学希望	6

II. 進学需要調査（集計結果）

【1年生】

調査対象等	8
調査結果概要	9～14
大学進学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	9
志望する大学等の設置者	10
興味のある学問分野	11
敬愛大学の情報マネジメント学部に関する質問事項	
情報マネジメント学部の受験希望	12
情報マネジメント学部への入学希望	13

III. 人材需要調査（集計結果）

調査対象等	15
調査結果概要	16～21
調査対象に関する質問事項	
所在地	16
人材需要全般に関する質問事項	
人材の採用見込み	17
敬愛大学の情報マネジメント学部に関する質問事項	
情報マネジメント学部で養成する人材の必要性	18
情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用意向	19
情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用人数	20

IV. 参考資料

進学需要調査関係

- アンケート協力依頼高等学校一覧
- アンケート調査票（高校生）
- 情報マネジメント学部 設置計画の概要

人材需要調査関係

- アンケート協力依頼企業等一覧
- アンケート調査票（民間企業等）

I . 進学需要調査（集計結果）
【2年生】

I. 進学需要調査（集計結果）

【調査対象等】

敬愛大学では、令和7年4月より情報マネジメント学部の設置を計画しており、この情報マネジメント学部の設置計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の2年生を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

- ・千葉県 34校
- ・茨城県 2校

②調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

③調査実施

令和5年10月～令和6年1月

④調査件数

回収校数： 33校

集計件数：6,800人

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<大学進学全般に関する質問事項>

1. 高等学校卒業後の進路

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後の進路について質問したところ、「大学」と回答した者が回答者数9,815人の約52.1%にあたる5,116人、「短期大学」と回答した者が回答者数9,815人の約7.1%にあたる694人、「専門職大学」と回答した者が回答者数9,815人の約4.5%にあたる445人、「専門職短期大学」と回答した者が回答者数9,815人の約1.1%にあたる106人となっている。

問1 高等学校卒業後の進路（複数選択可）

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	大学	5,116	52.1
2	短期大学	694	7.1
3	専門職大学	445	4.5
4	専門職短期大学	106	1.1
5	専門学校	2,174	22.1
6	就職	1,066	10.9
7	その他	209	2.1
	未回答・不明	5	0.1
	合計	9,815	100.0

【調査結果概要】

＜大学進学全般に関する質問事項＞

2. 志望する大学等の設置者

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の2年生に、志望する大学等の設置者について質問したところ、「私立」と回答した者が回答者数8,330人の約54.7%にあたる4,555人で最も多く、次いで「公立」と回答した者が回答者数8,330人の約23.6%にあたる1,967人、「国立」と回答した者が回答者数8,330人の約21.1%にあたる1,758人となっている。

問2 志望する大学等の設置者（複数選択可）

No.	カテゴリ	件数／人	全体／%
1	国立	1,758	21.1
2	公立	1,967	23.6
3	私立	4,555	54.7
	未回答・不明	50	0.6
	合計	8,330	100.0

【調査結果概要】

<大学進学全般に関する質問事項>

3. 興味のある学問分野

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後に学びたいと考えている興味のある学問分野について質問したところ、「経営学関係(情報・経営情報等)」と回答した者が回答者数10,252人の約14.0%にあたる1,432人で最も多く、次いで「商学・経済学関係」と回答した者が回答者数10,252人の約11.4%にあたる1,166人、「教育関係(小学校・幼稚園等)」と回答した者が回答者数10,252人の約8.4%にあたる864人となっている。

問3 興味のある学問分野(複数選択可)

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	経営学関係(情報・経営情報等)	1,432	14.0
2	商学・経済学関係	1,166	11.4
3	法学・政治学関係	660	6.4
4	社会学関係(国際学等)	844	8.2
5	文学関係(史学・哲学等)	817	8.0
6	理学関係(数学・化学等)	645	6.3
7	工学関係(機械・電気等)	746	7.3
8	農学関係(農芸化学等)	196	1.9
9	教育関係(小学校・幼稚園等)	864	8.4
10	家政関係(食物・住居等)	341	3.3
11	保健関係(医学・歯学等)	424	4.1
12	保健関係(看護・薬学等)	740	7.2
13	芸術関係(美術・音楽等)	515	5.0
14	その他	841	8.2
	未回答・不明	21	0.2
	合計	10,252	100.0

注) 問1で「1」～「4」を選択した者のみ集計

【調査結果概要】

<敬愛大学の情報マネジメント学部に関する質問事項>

4. 情報マネジメント学部の受験希望

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の2年生に、敬愛大学の情報マネジメント学部が開設された場合の受験希望について質問したところ、「第一志望として受験する」と回答した者が回答者数 5,436 人の約 2.4%にあたる 128 人、「第二志望として受験する」と回答した者が回答者数 5,436 人の約 3.9%にあたる 210 人、「第三志望以降として受験する」と回答した者が回答者数 5,436 人の約 7.1%にあたる 385 人となっている。

問4 情報マネジメント学部の受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	第一志望として受験する	128	2.4
2	第二志望として受験する	210	3.9
3	第三志望以降として受験する	385	7.1
4	受験しない	4,691	86.3
	未回答・不明	22	0.4
	合計	5,436	100.0

注) 問1で「1」～「4」を選択した者のみ集計

【調査結果概要】

<敬愛大学の情報マネジメント学部に関する質問事項>

5. 情報マネジメント学部への入学希望

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の2年生に、情報マネジメント学部を受験して合格した場合の入学希望について質問したところ、「入学する」と回答した者が回答者数723人の約19.6%にあたる142人、「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した者が回答者数723人の約73.9%にあたる534人となっている。

問5 情報マネジメント学部への入学希望

No.	カテゴリ	件数／人	全体／%
1	入学する	142	19.6
2	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	534	73.9
3	入学しない	43	5.9
	未回答・不明	4	0.6
	合計	723	100.0

注) 問4で「1」～「3」を選択した者のみ集計

【調査結果概要】

<敬愛大学の情報マネジメント学部に関する質問事項>

6. 情報マネジメント学部への入学希望 ―クロス集計―

問1で高等学校卒業後の進路を「大学」と回答し、問2で志望する大学等の設置者を「私立」と回答した者で、問3で興味のある学問分野を「経営学関係（情報・経営情報等）」と回答し、かつ問4で情報マネジメント学部が開設された場合の受験希望について「第一志望として受験する」と回答した者のうち、情報マネジメント学部合格した場合「入学する」と回答した者は97人となっている。

また、問1で高等学校卒業後の進路を「大学」と回答し、問2で志望する大学等の設置者を「私立」と回答した者で、問3で興味のある学問分野を「経営学関係（情報・経営情報等）」と回答し、かつ問4で情報マネジメント学部が開設された場合の受験希望について「第二志望として受験する」と回答した者のうち、情報マネジメント学部合格した場合「入学する」と回答した者は12人となっている。

このような敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、敬愛大学の情報マネジメント学部への入学希望の高さがうかがえることから、十分な学生確保の見通しがあると考えられる。

【クロス集計】 情報マネジメント学部への入学希望／問1から問5までの条件に合致する者

No.	カテゴリ	件数／人
1	大学×私立×経営学関係×第一志望×入学する	97
2	大学×私立×経営学関係×第二志望×入学する	12
3	大学×私立×経営学関係×第三志望以降×入学する	4

- * 問1 クロス集計する選択肢「設置する学校の別」
- * 問2 クロス集計する選択肢「設置構想中の大学等設置者」
- * 問3 クロス集計する選択肢「設置構想中の学部等に該当する学問分野」
- * 問4 クロス集計する選択肢「受験する志望順位」
- * 問5 クロス集計する選択肢「入学する意向」

Ⅱ. 進学需要調査（集計結果）

【1年生】

Ⅱ. 進学需要調査（集計結果）

【調査対象等】

敬愛大学では、令和7年4月より情報マネジメント学部の設置を計画しており、この情報マネジメント学部の設置計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の1年生を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

- ・千葉県 34校
- ・茨城県 2校

②調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

③調査実施

令和5年10月～令和6年1月

④調査件数

回収校数： 33校

集計件数：7,550人

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<大学進学全般に関する質問事項>

1. 高等学校卒業後の進路

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の1年生に、高等学校卒業後の進路について質問したところ、「大学」と回答した者が回答者数12,317人の約48.1%にあたる5,922人、「短期大学」と回答した者が回答者数12,317人の約8.2%にあたる1,004人、「専門職大学」と回答した者が回答者数12,317人の約5.8%にあたる717人、「専門職短期大学」と回答した者が回答者数12,317人の約1.5%にあたる186人となっている。

問1 高等学校卒業後の進路（複数選択可）

No.	カテゴリ	件数／人	全体／%
1	大学	5,922	48.1
2	短期大学	1,004	8.2
3	専門職大学	717	5.8
4	専門職短期大学	186	1.5
5	専門学校	2,887	23.4
6	就職	1,295	10.5
7	その他	297	2.4
	未回答・不明	9	0.1
	合計	12,317	100.0

【調査結果概要】

<大学進学全般に関する質問事項>

2. 志望する大学等の設置者

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の1年生に、志望する大学等の設置者について質問したところ、「私立」と回答した者が回答者数11,622人の約40.9%にあたる4,749人で最も多く、次いで「公立」と回答した者が回答者数11,622人の約32.3%にあたる3,756人、「国立」と回答した者が回答者数11,622人の約26.4%にあたる3,067人となっている。

問2 志望する大学等の設置者（複数選択可）

No.	カテゴリ	件数／人	全体／%
1	国立	3,067	26.4
2	公立	3,756	32.3
3	私立	4,749	40.9
	未回答・不明	50	0.4
	合計	11,622	100.0

【調査結果概要】

<大学進学全般に関する質問事項>

3. 興味のある学問分野

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の1年生に、高等学校卒業後に学びたいと考えている興味のある学問分野について質問したところ、「経営学関係(情報・経営情報等)」と回答した者が回答者数12,923人の約12.8%にあたる1,654人で最も多く、次いで「商学・経済学関係」と回答した者が回答者数12,923人の約9.5%にあたる1,223人、「教育関係(小学校・幼稚園等)」と回答した者が回答者数12,923人の約8.8%にあたる1,139人となっている。

問3 興味のある学問分野(複数選択可)

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	経営学関係(情報・経営情報等)	1,654	12.8
2	商学・経済学関係	1,223	9.5
3	法学・政治学関係	746	5.8
4	社会学関係(国際学等)	994	7.7
5	文学関係(史学・哲学等)	892	6.9
6	理学関係(数学・化学等)	882	6.8
7	工学関係(機械・電気等)	944	7.3
8	農学関係(農芸化学等)	267	2.1
9	教育関係(小学校・幼稚園等)	1,139	8.8
10	家政関係(食物・住居等)	525	4.1
11	保健関係(医学・歯学等)	592	4.6
12	保健関係(看護・薬学等)	1,024	7.9
13	芸術関係(美術・音楽等)	844	6.5
14	その他	1,175	9.1
	未回答・不明	22	0.2
	合計	12,923	100.0

注) 問1で「1」～「4」を選択した者のみ集計

【調査結果概要】

<敬愛大学の情報マネジメント学部に関する質問事項>

4. 情報マネジメント学部の受験希望

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の1年生に、敬愛大学の情報マネジメント学部が開設された場合の受験希望について質問したところ、「第一志望として受験する」と回答した者が回答者数 6,327 人の約 2.2%にあたる 138 人、「第二志望として受験する」と回答した者が回答者数 6,327 人の約 3.8%にあたる 241 人、「第三志望以降として受験する」と回答した者が回答者数 6,327 人の約 10.3%にあたる 651 人となっている。

問4 情報マネジメント学部の受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	第一志望として受験する	138	2.2
2	第二志望として受験する	241	3.8
3	第三志望以降として受験する	651	10.3
4	受験しない	5,277	83.4
	未回答・不明	20	0.3
	合計	6,327	100.0

注) 問1で「1」～「4」を選択した者のみ集計

【調査結果概要】

<敬愛大学の情報マネジメント学部に関する質問事項>

5. 情報マネジメント学部への入学希望

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の1年生に、情報マネジメント学部を受験して合格した場合の入学希望について質問したところ、「入学する」と回答した者が回答者数1,030人の約17.3%にあたる178人、「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した者が回答者数1,030人の約76.8%にあたる791人となっている。

問5 情報マネジメント学部への入学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	入学する	178	17.3
2	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	791	76.8
3	入学しない	58	5.6
	未回答・不明	3	0.3
	合計	1,030	100.0

注) 問4で「1」～「3」を選択した者のみ集計

【調査結果概要】

<敬愛大学の情報マネジメント学部に関する質問事項>

6. 情報マネジメント学部への入学希望 ―クロス集計―

問1で高等学校卒業後の進路を「大学」と回答し、問2で志望する大学等の設置者を「私立」と回答した者で、問3で興味のある学問分野を「経営学関係（情報・経営情報等）」と回答し、かつ問4で情報マネジメント学部が開設された場合の受験希望について「第一志望として受験する」と回答した者のうち、情報マネジメント学部合格した場合「入学する」と回答した者は99人となっている。

また、問1で高等学校卒業後の進路を「大学」と回答し、問2で志望する大学等の設置者を「私立」と回答した者で、問3で興味のある学問分野を「経営学関係（情報・経営情報等）」と回答し、かつ問4で情報マネジメント学部が開設された場合の受験希望について「第二志望として受験する」と回答した者のうち、情報マネジメント学部合格した場合「入学する」と回答した者は19人となっている。

このような敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する一部の高等学校の1年生に限定した調査結果においても、敬愛大学の情報マネジメント学部への入学希望の高さがうかがえることから、十分な学生確保の見通しがあると考えられる。

【クロス集計】 情報マネジメント学部への入学希望／問1から問5までの条件に合致する者

No.	カテゴリ	件数／人
1	大学×私立×経営学関係×第一志望×入学する	99
2	大学×私立×経営学関係×第二志望×入学する	19
3	大学×私立×経営学関係×第三志望以降×入学する	10

- * 問1 クロス集計する選択肢「設置する学校の別」
- * 問2 クロス集計する選択肢「設置構想中の大学等設置者」
- * 問3 クロス集計する選択肢「設置構想中の学部等に該当する学問分野」
- * 問4 クロス集計する選択肢「受験する志望順位」
- * 問5 クロス集計する選択肢「入学する意向」

Ⅲ. 人材需要調査（集計結果）

Ⅲ. 人材需要調査（集計結果）

【調査対象等】

敬愛大学では、令和7年4月より情報マネジメント学部の設置を計画しており、この情報マネジメント学部の設置計画を策定するにあたり、人材需要の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等を中心とした人材需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等

②調査方法

民間企業等への直接配布、回収

③調査実施

令和5年10月～令和5年12月

④調査件数

回答件数：137件

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<調査対象に関する質問事項>

1. 所在地

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、所在地について質問したところ、回答件数 137 件の約 47.4%にあたる 65 件が「千葉県」と回答しており、次いで、回答件数 137 件の約 37.2%にあたる 51 件が「東京都」と回答している。

問 1 所在地

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	千葉県	65	47.4
2	東京都	51	37.2
3	神奈川県	5	3.6
4	その他	16	11.7
	未回答・不明	0	0.0
	合計	137	100.0

【調査結果概要】

<人材需要全般に関する質問事項>

2. 人材の採用見込み

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、人材の採用見込みについて質問したところ、回答件数 137 件の約 79.6%にあたる 109 件が「増加すると思う」と回答している。

問2 人材の採用見込み

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	増加すると思う	109	79.6
2	増加すると思わない	28	20.4
	未回答・不明	0	0.0
	合計	137	100.0

【調査結果概要】

<敬愛大学の情報マネジメント学部に関する質問事項>

3. 情報マネジメント学部で養成する人材の必要性

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、情報マネジメント学部で養成する人材の必要性について質問したところ、回答件数 137 件の約 97.8%にあたる 134 件が「必要性を感じる」と回答している。

問3 情報マネジメント学部で養成する人材の必要性

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	必要性を感じる	134	97.8
2	必要性を感じない	3	2.2
	未回答・不明	0	0.0
	合計	137	100.0

【調査結果概要】

<敬愛大学の情報マネジメント学部に関する質問事項>

4. 情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 137 件の約 94.9%にあたる 130 件が「採用したいと思う」と回答している。

問 4 情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数／人	全体／%
1	採用したいと思う	130	94.9
2	採用したいと思わない	7	5.1
	未回答・不明	0	0.0
	合計	137	100.0

【調査結果概要】

<敬愛大学の情報マネジメント学部に関する質問事項>

5. 情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用人数

問4で、情報マネジメント学部で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答した民間企業等のうち、単年度当りの卒業生の採用人数を「1人」と回答したのは16件、「2人」と回答したのは10件、「3人以上」と回答したのは21件、「人数は未定」と回答したのは83件となっている。

問5 情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	1人	16	12.3
2	2人	10	7.7
3	3人以上	21	16.2
4	人数は未定	83	63.8
	未回答・不明	0	0.0
	合計	130	100.0

【調査結果概要】

<敬愛大学の情報マネジメント学部に関する質問事項>

6. 情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用人数 ―クロス集計―

問3で、情報マネジメント学部で養成する人材の必要性について「必要性を感じる」と回答した民間企業等で、問4で、情報マネジメント学部で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答した民間企業等のうち、問5で、単年度当りの卒業生の採用人数を「1人」と回答したのは16件、「2人」と回答したのは10件、「3人以上」と回答したのは21件、「人数は未定」と回答したのは81件となっている。

なお、「採用人数3人以上」と回答した採用人数を「3人」とし、「人数は未定」と回答した採用人数を「1人」として採用人数を合計すると180人となり、これらの採用人数からも敬愛大学の情報マネジメント学部で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある一部の民間企業等に限定した調査結果においても、情報マネジメント学部で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

【クロス集計】 情報マネジメント学部の卒業生の採用人数／問3から問5までの条件に合致するもの

No.	カテゴリ	件数／件	人数／人
1	必要性を感じる×採用したいと思う×1人	16	16
2	必要性を感じる×採用したいと思う×2人	10	20
3	必要性を感じる×採用したいと思う×3人	21	63
4	必要性を感じる×採用したいと思う×人数は未定	81	81
	合計	128	180

* 問3 クロス集計する選択肢「養成する人材の必要性」

* 問4 クロス集計する選択肢「卒業生の採用意向」

* 問5 クロス集計する選択肢「卒業生の採用人数」

IV. 参考資料

進学需要調査関係

□アンケート協力依頼高等学校一覧（千葉県34校、茨城県2校）

No.	県名	区分	高等学校名	所在地	集計件数		
					2年生	1年生	計
1	千葉県	公立	千葉県立千葉女子高等学校	千葉市稲毛区小仲台5-10-1	245	—	245
2	千葉県	公立	千葉県立京葉工業高等学校	千葉市稲毛区穴川四丁目11-32	174	188	362
3	千葉県	公立	千葉県立千葉北高等学校	千葉市稲毛区長沼町153	292	304	596
4	千葉県	公立	千葉県立若松高等学校	千葉市若葉区若松町429	288	293	581
5	千葉県	公立	千葉県立薬園台高等学校	船橋市薬円台五丁目34-1	291	301	592
6	千葉県	公立	千葉県立国府台高等学校	市川市国府台二丁目4-1	249	266	515
7	千葉県	公立	千葉県立浦安高等学校	浦安市海楽二丁目36番2号	—	165	165
8	千葉県	公立	千葉県立松戸国際高等学校	松戸市五香西5丁目6-1	149	138	287
9	千葉県	公立	千葉県立松戸南高等学校	松戸市紙敷1199	169	215	384
10	千葉県	公立	千葉県立流山おおたかの森高等学校	流山市大畔275-5	312	330	642
11	千葉県	公立	千葉県立長生高等学校	茂原市高師286	256	272	528
12	千葉県	公立	千葉県立茂原高等学校	茂原市高師1300	140	157	297
13	千葉県	公立	千葉県立大多喜高等学校	夷隅郡大多喜町大多喜481	117	124	241
14	千葉県	公立	千葉県立袖ヶ浦高等学校	袖ヶ浦市神納530	243	259	502
15	千葉県	公立	千葉県立佐倉西高等学校	佐倉市下志津263	141	175	316
16	千葉県	公立	千葉県立千城台高等学校	千葉市若葉区千城台西二丁目1-1	291	300	591
17	千葉県	公立	千葉県立津田沼高等学校	習志野市秋津五丁目9-1	293	309	602
18	千葉県	公立	千葉県立船橋芝山高等学校	船橋市芝山七丁目39-1	310	309	619
19	千葉県	公立	千葉県立松戸六実高等学校	松戸市六高台5丁目150-1	292	262	554
20	千葉県	公立	千葉県立船橋古和釜高等学校	船橋市古和釜町586	190	170	360
21	千葉県	公立	千葉県立市川南高等学校	市川市高谷1509	—	300	300
22	千葉県	公立	千葉県立土気高等学校	千葉市緑区あすみが丘東2丁目24-1	209	187	396
23	千葉県	公立	千葉県立松戸向陽高等学校	松戸市秋山682	152	—	152
24	千葉県	公立	千葉県立佐倉南高等学校	佐倉市太田1956	53	—	53
25	千葉県	公立	千葉県立市原八幡高等学校	市原市八幡1877-1	200	187	387
26	千葉県	公立	千葉県立犢橋高等学校	千葉市花見川区千種町381-1	203	210	413
27	千葉県	公立	千葉県立柏の葉高等学校	柏市柏の葉6-1	38	293	331
28	千葉県	私立	敬愛大学八日市場高等学校	匝瑳市八日市場□-390	69	57	126
29	千葉県	私立	千葉敬愛高等学校	四街道市四街道1522	471	497	968
30	千葉県	私立	千葉英和高等学校	八千代市村上709-1	—	371	371

□アンケート協力依頼高等学校一覧（千葉県34校、茨城県2校）

No.	県名	区分	高等学校名	所在地	集計件数		
					2年生	1年生	計
31	千葉県	私立	敬愛学園高等学校	千葉市稲毛区穴川一丁目5-21	390	407	797
32	千葉県	私立	横芝敬愛高等学校	山武郡横芝光町栗山4508	77	66	143
33	千葉県	私立	明聖高等学校	千葉市中央区本千葉町10-23	98	104	202
34	千葉県	私立	桜林高等学校	千葉市若葉区桜木北1-17-32	168	125	293
35	茨城県	公立	茨城県立麻生高等学校	行方市麻生1806	190	160	350
36	茨城県	公立	茨城県立波崎柳川高等学校	神栖市柳川1603-1	40	49	89
合 計					6,800	7,550	14,350

敬愛大学 情報マネジメント学部（仮称）
進学需要等に関するアンケート調査（高校生／2年生）

敬愛大学では、情報技術の発展による情報社会の進展に貢献できる人材の養成にむけて、「情報マネジメント学部 情報マネジメント学科」の設置を検討しております。このアンケート調査は、高校生の皆さんに、高等学校卒業後の進路等についてお聞きし、「情報マネジメント学部 情報マネジメント学科」の設置構想に向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個別の回答内容について公開したりすることはありません。

回答は、別紙の『情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 概要』をご覧いただいたうえで、設問の順に、該当する番号を直接回答欄にご記入ください。

【回答欄】

問1 卒業後の進路

【設問】

卒業後の進路をどのように考えていますか。（複数選択可）

【選択肢】

- 1 大学 2 短期大学 3 専門職大学
4 専門職短期大学 5 専門学校 6 就職 7 その他

--	--	--

問2 進学を希望する場合の大学等の設置者

【設問】

上記設問のうち、1～4を選択した方に質問です。

志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（複数選択可）

【選択肢】

- 1 国立 2 公立 3 私立

--	--	--

問3 興味のある学問分野

【設問】

高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（複数選択可）

【選択肢】

- 1 経営学関係（情報・経営情報等） 2 商学・経済学関係 3 法学・政治学関係
4 社会学関係（国際学等） 5 文学関係（史学・哲学等） 6 理学関係（数学・化学等）
7 工学関係（機械・電気等） 8 農学関係（農芸化学等） 9 教育関係（小学校・幼稚園等）
10 家政関係（食物・住居等） 11 保健関係（医学・歯学等） 12 保健関係（看護・薬学等）
13 芸術関係（美術・音楽等） 14 その他

--	--	--

問4 新設組織の受験希望の有無

【設問】

敬愛大学に情報マネジメント学部情報マネジメント学科が開設された場合、受験を希望しますか。

次より一つ選択してください。

【選択肢】

- 1 第一志望として受験する 2 第二志望として受験する
3 第三志望以降として受験する 4 受験しない

--

問5 新設組織に合格した場合の入学希望の有無

【設問】

上記設問で、1～3を選択した方に質問です。

敬愛大学の情報マネジメント学部情報マネジメント学科を受験して合格した場合、入学を希望しますか。

次より一つ選択してください。

【選択肢】

- 1 入学する 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
3 入学しない

--

これで、アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

敬愛大学 情報マネジメント学部（仮称）
進学需要等に関するアンケート調査（高校生／1年生）

敬愛大学では、情報技術の発展による情報社会の進展に貢献できる人材の養成にむけて、「情報マネジメント学部 情報マネジメント学科」の設置を検討しております。このアンケート調査は、高校生の皆さんに、高等学校卒業後の進路等についてお聞きし、「情報マネジメント学部 情報マネジメント学科」の設置構想に向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個別の回答内容について公開したりすることはありません。

回答は、別紙の『情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 概要』をご覧ください。また、設問の順に、該当する番号を直接回答欄にご記入ください。

問1 卒業後の進路

【回答欄】

【設問】

卒業後の進路をどのように考えていますか。（複数選択可）

【選択肢】

- 1 大学 2 短期大学 3 専門職大学
4 専門職短期大学 5 専門学校 6 就職 7 その他

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------

問2 進学を希望する場合の大学等の設置者

【設問】

上記設問のうち、1～4を選択した方に質問です。

志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（複数選択可）

【選択肢】

- 1 国立 2 公立 3 私立

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------

問3 興味のある学問分野

【設問】

高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（複数選択可）

【選択肢】

- 1 経営学関係（情報・経営情報等） 2 商学・経済学関係 3 法学・政治学関係
4 社会学関係（国際学等） 5 文学関係（史学・哲学等） 6 理学関係（数学・化学等）
7 工学関係（機械・電気等） 8 農学関係（農芸化学等） 9 教育関係（小学校・幼稚園等）
10 家政関係（食物・住居等） 11 保健関係（医学・歯学等） 12 保健関係（看護・薬学等）
13 芸術関係（美術・音楽等） 14 その他

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------

問4 新設組織の受験希望の有無

【設問】

敬愛大学に情報マネジメント学部情報マネジメント学科が開設された場合、受験を希望しますか。

次より一つ選択してください。

【選択肢】

- 1 第一志望として受験する 2 第二志望として受験する
3 第三志望以降として受験する 4 受験しない

<input type="checkbox"/>

問5 新設組織に合格した場合の入学希望の有無

【設問】

上記設問で、1～3を選択した方に質問です。

敬愛大学の情報マネジメント学部情報マネジメント学科を受験して合格した場合、入学を希望しますか。

次より一つ選択してください。

【選択肢】

- 1 入学する 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
3 入学しない

<input type="checkbox"/>

これで、アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

敬愛大学 情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 概要

□学部等の概要 ※学部等名称、学生定員、開設時期は予定

- * 学部学科：情報マネジメント学部 情報マネジメント学科
- * 学生定員：入学定員 50名
- * 開設時期：令和7年4月
- * 設置場所：千葉県千葉市稲毛区穴川
- * アクセス：JR稲毛駅東口より徒歩13分・バス5分
京成みどり台駅より徒歩15分



□教育研究上の目的

情報マネジメント学部では、組織として教育研究対象とする中心的な学問分野を「経営情報学分野」として、「幅広い教養基盤に支えられた豊かな人間性や社会性と高い職業観、生涯にわたり自発的な学習を継続するための態度を養うとともに、経営学分野に関する基礎的な知識の習得のもとに、ITスキルや統計解析などデータサイエンスの知識や技能を活用し、あらゆる社会現象をマネジメントの視点で捉え創造的かつ実践的な能力を育てる」ことを教育上の目的としています。

□養成する人材

情報マネジメント学部では、経営情報学分野に関する教育研究を通して、「現代社会に関する幅広い知識の理解と自己表現や情報活用に関する能力及び社会の一員としての望ましい心構えや生涯学習力の習得とともに、事業体の運営や管理に関する知識に加えて、情報処理の原理を科学的に理解し、経営内外の関連データを活用することで、社会全般の経済的厚生発展にむけて創造的に貢献できる人材」を養成することとしています。

□想定される卒業後の進路

卒業後の進路としては、企業や自治体など営利・非営利の事業体に所属し、経営活動の管理・運営に携わり、経営企画や事業開発などの経営戦略の策定においてデータや情報に基づく適切な評価や判断を行うとともに、経営改革や経営課題の発見と解決にむけて、データ分析の手法を活用することができる人材として活躍することが想定されます。

□入学者の受入方針

情報マネジメント学部における入学者選抜の基本的な受入方針は、以下の通りとしています。

- ・ 経営情報学分野に対する興味や関心と学部教育に対する高い学習意欲を有している。
- ・ 高等学校で履修した主要科目について、教科書レベルの基本的な知識を有している。
- ・ 自分の考えを適切に表現することができ、他者に対して的確に伝えることができる。

□学費 ※関東圏の私立大学の初年度納入金額との比較

- * 敬愛大学 情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 (予定)
1,352,660円(入学金 250,000円 授業料等その他 1,102,660円)
- * 多摩大学 経営情報学部 経営情報学科 (大学のホームページより)
1,390,000円(入学金 300,000円 授業料等その他 1,090,000円)
- * 産業能率大学 情報マネジメント学部 現代マネジメント学科 (大学のホームページより)
1,328,000円(入学金 318,000円 授業料等その他 1,010,000円)

人材需要調査関係

□アンケート協力依頼民間企業等一覧（回答件数137件）

No.	企業名等	No.	企業名等
1	株式会社ヤマナカコーキン	41	トランコム株式会社
2	日本空港サービス株式会社	42	岩田産業株式会社
3	株式会社常盤メディカルサービス	43	米屋株式会社
4	株式会社アーキテクト・ディベロッパー	44	渡辺パイプ株式会社
5	千葉興業銀行	45	大阪富士工業株式会社
6	京成自動車工業	46	千葉興業銀行
7	トヨタカローラ千葉株式会社	47	田中商事株式会社
8	株式会社扇港電機	48	株式会社ストラクス
9	ハイテクシステム株式会社	49	コスモ企業株式会社
10	千葉窯業株式会社	50	西尾レントオール株式会社
11	国際通信企画株式会社	51	東亜外業株式会社
12	三井E&Sシステム技研株式会社	52	ユナイト株式会社
13	株式会社コナカ	53	株式会社第一コンピュータサービス
14	株式会社大塚商会	54	福井電機株式会社
15	福山通運株式会社	55	株式会社スエヒロ
16	株式会社くすりの福太郎	56	日本賃貸保証株式会社
17	アイトス株式会社	57	株式会社ヒロハマ
18	株式会社マーキュリー	58	トプレック株式会社
19	株式会社千豊(千葉トヨタグループ)	59	スタッケアサービス株式会社
20	日栄インテック株式会社	60	タイヘイ株式会社
21	株式会社共立メンテナンス	61	社会福祉法人生活クラブ(風の村)
22	千葉トヨペット株式会社	62	株式会社アプリケーションプロダクト
23	名鉄観光サービス株式会社	63	ニチガス(日本瓦斯)
24	千葉製粉株式会社	64	TOTOバスクリエイト株式会社
25	ネットトヨタ千葉株式会社	65	亀有信用金庫
26	株式会社スリーライト	66	オーケー株式会社
27	株式会社新栄	67	株式会社ワールド
28	株式会社ネクステージ	68	株式会社ナリコー
29	株式会社DTS	69	株式会社HMKロジサービス
30	株式会社スズキ自販千葉	70	株式会社スズキ自販京葉
31	日本システム技術株式会社	71	ネットトヨタ千葉株式会社
32	株式会社せんどう	72	ヒルトン成田
33	ウエルシア薬局株式会社	73	日神不動産株式会社
34	株式会社JALスカイ	74	住友林業情報システム株式会社
35	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構千葉支部	75	株式会社学情
36	株式会社イシド	76	株式会社赤門
37	株式会社オープンアップITエンジニア	77	市川市農業協同組合
38	富士電機ITソリューション株式会社	78	総合警備保障株式会社(ALSOK)
39	一般社団法人千葉県経営者協会	79	株式会社マイナビ
40	株式会社ティーエスケー	80	日本企画株式会社

□アンケート協力依頼民間企業等一覧（回答件数137件）

No.	企業名等	No.	企業名等
81	マツモトキヨシグループ	121	株式会社タイヨー
82	株式会社サイプレス・ソリューションズ	122	アシザワ・ファインテック株式会社
83	日本生命保険相互会社	123	渡辺パイプ株式会社
84	株式会社サイサン	124	株式会社スズキ自販千葉
85	サコス株式会社	125	株式会社内山アドバンス
86	株式会社富士薬品	126	株式会社江東微生物研究所
87	株式会社NSD	127	城北信用金庫
88	ビー・トランセホールディングス株式会社	128	株式会社エアポートカーゴサービス
89	株式会社サンリツ	129	ちばぎん証券株式会社
90	株式会社三和テレム	130	富士電機ITソリューション株式会社
91	千葉共同サイロ株式会社	131	富士ソフト株式会社
92	マツモト産業株式会社	132	銚子信用金庫
93	株式会社三協リアル	133	生活協同組合コープみらい
94	株式会社ホンダカーズ東葛	134	株式会社レカムサービス
95	株式会社サイサン	135	NCA Japan株式会社
96	新日本設備株式会社	136	株式会社ブロンコビリー
97	株式会社アーバン	137	警視庁
98	株式会社CMGホールディングス		
99	株式会社成田デンタル		
100	株式会社SDネクスト		
101	富士興業株式会社		
102	西鉄エアサービス株式会社		
103	トヨタモビリティパーツ株式会社 千葉支社		
104	株式会社広域高速ネット二九六		
105	株式会社サンドラッグ		
106	株式会社アサンテ		
107	株式会社ヨコハマタイヤジャパン		
108	トヨタモビリティ東京株式会社		
109	株式会社ナリタヤ		
110	東京地下鉄株式会社		
111	株式会社小出ロール鐵工所		
112	マツダ中販株式会社		
113	株式会社ヤマダホールディングス		
114	西鉄エアサービス(株)		
115	マロウドインターナショナルホテル成田		
116	株式会社パレスホテル		
117	ダイハツ千葉販売株式会社		
118	山万株式会社		
119	ホテル日航成田 / 有限会社成田ホテルマネジメント		
120	株式会社近鉄コスモス		

敬愛大学 情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 人材需要に関するアンケート調査

敬愛大学では、情報技術の発展による情報社会の進展に貢献できる人材の養成に向けて、「情報マネジメント学部 情報マネジメント学科」の設置を検討しております。このアンケート調査は、人事・採用ご担当の皆様からのご意見をお聞きし、「情報マネジメント学部 情報マネジメント学科」の設置に向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用いることとしており、個別の回答内容について公開したりすることはありません。

回答は、別紙の『敬愛大学 情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 概要』をご覧ください。設問の順に選択してください。

* 必須

1. 貴社の所在地について、お尋ねいたします。 *

- 千葉県
- 東京都
- 神奈川県
- その他

2. 今後の貴社における人材の採用見込について、お尋ねいたします。次の中から一つだけ選んで、ご回答ください。 *

- 増加すると思う
- 増加すると思わない

3. 敬愛大学の情報マネジメント学部で養成する人材について、どのようにお考えになりますか。次の中から一つだけ選んで、ご回答ください。 *

- 必要性を感じる
- 必要性を感じない

4. 敬愛大学の情報マネジメント学部で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。次の中から一つだけ選んで、ご回答ください。 *

卒業生を採用したいと思う

採用したいと思わない

5. 質問4. で「卒業生を採用したいと思う」と回答された方のみ、お答えください。敬愛大学の情報マネジメント学部で学んだ卒業生を採用する場合、単年度あたりの採用見込み人数について、どのようにお考えになりますか。次の中から一つだけ選んで、ご回答ください。

1人

2人

3人以上

人数は未定

6. 敬愛大学に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

回答を入力してください

7. 貴社名をご記入ください。 *

回答を入力してください

8. ご回答者のお名前をご記入ください。 *

ご多忙中、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

回答を入力してください

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	ナカヤマ ユキオ 中山 幸夫 <令和6年4月>		文学修士		敬愛大学学長 (令和3年4月～令和6年3月)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。